

經濟大意目錄

第一章 總論

經濟學ノ釋義

說明

經濟學ノ目的

經濟學ノ本分即チ「フオンクシヨ」

經濟學研究ノ困難

經濟學ノ受クル攻讐

經濟學ト他學トノ關係

交換

富

第二章 生産

生産ノ釋義

一一三
一一一
一〇八
一〇六
一〇三
一一一
一一五
一一九
一二三

77/08.91

生産ニ要スル三要件

勞力

勞力ノ種類

生産勞力不生産勞力

勞力ノ目的

分業

勞力分類

分業及勞力分類ノ區域

高尚ナル事業ノ分業

日當リ及箇數當リ

資本ノ釋義

資本ノ種類

固定資本及流動資本

資本ノ三區分ハ營業ノ性質ニ依リ其比例ヲ異ニス

二四

二四

二四

二六

二八

二九

二九

三〇

三三

三三

三四

三六

三六

三八

八

資本ヲ得ルノ困難

資本ノ效力

土地

土地ノ生産力

收穫遞減法則

高度及寬度ノ耕作

大仕掛ノ耕作小仕掛ノ耕作

結論

第三章 分配

分配ノ要及其通路

營業所得

世運ノ進歩ト共ニ危險ヲ増ス

世ノ進歩ト共ニ營業所得ノ歩合ヲ減ス

營業所得歩合ノ多少ヲ決スル理由

九

四四

四六

四七

四九

五三

五八

六〇

六一

六七

六八

六九

七一

七三

營業所得ト他ノ所得トノ差違	七六
勞銀ノ釋義	七七
勞銀基金	七七
勞銀平均増減ノ原因	七八
人口増減ノ勞銀歩合ニ顯ハス效驗	八一
勞力者ハ勞銀歩合ノ増加ノ利益ヲ維持スルノ力ニ乏シキコト	八三
人口増加シ勞銀歩合ヲ減少スルノ傾向	八六
資本増加ノ割合ニ勞銀基金ヲ増加セサルコト	八八
人口増加抑制ノ勞力社會ニ於ケル效驗	九〇
器械進歩ノ勞銀ニ於ケル效驗	九五
勞力者生計ノ困難	九八
職工同盟並ニ強請	一〇〇
職工同盟ノ弊害並ニ其利益	一〇四
共同法	一〇六

四

十

共同法ニ對スル駁論	一〇九
勞力者中ノ共同法	一一二
勞力者救済ニ關スル次第等ノ方法	一一六
社會主義	一二二
勞銀ノ高キハ營業者ノ不利ニアラス	一二五
各個勞力者ノ勞銀ノ多少ヲ決スル原因	一二七
貸付料ノ釋義	一三一
小作料	一三二
競争小作料	一三三
小作料ハ世運ノ進歩ト共ニ増加ス	一三六
競争小作法ノ不便並ニ之ヲ避クル方法	一三八
年期小作法	一四〇
習慣小作法	一四一
持地耕作法	一四二

經濟大叢目錄

五

十一

信用ノ釋義	一四三
信用ノ性質	一四四
信用ノ本分	一四六
信用ノ効驗	一四八
信用ノ危險	一四九
一身上ニ對スル信用抵當ニ對スル信用	一五〇
利子ノ釋義及其歩合ヲ決スル原因	一五一
同時期ニ於テ利子歩合ニ差異アル事	一五二
價格ト市價ノ區別	一五三
一般價格ハ昇降ナク増減アリ	一五三
市價ノ昇降	一五五
價格ヲ生スル源泉	一五六
價格ノ多少ヲ決スルノ原因	一五八
物品ノ性質ニ由リ價格變動ノ景況ヲ異ニス	一五八

分配ノ業	一六四
地方貿易	一六五
内國貿易	一六五
外國貿易及其起因	一六七
前項所論ノ實例	一七〇
前陳ノ理由ハ外國貿易ニ存シテ内國貿易ニ存セサル事	一七四
國際ニ於テ兩品ノ生産難易ノ比例ニ差違ナケレハ貿易行ハレサル事	一七六
外國貿易上ニ要スル注意	一七八
自由貿易及保護方策	一八〇
保護ヲシテ其目的ヲ全カラシメント欲セハ全ク天然ノ利ヲ放棄セサルハカラス	一八二
保護ハ之ヲ受クル者ニ特利ヲ與ヘス被保護品	

ノ粗生品ヲ生産スル土地ノ地主ヲ利益ス

一八四

保護ハ其主唱者ノ論スルカ如ク國中營業ノ數

一八八

ヲ増加セス資本勞力使用ノ方向ヲ決ス

一九一

世運ノ進歩ニ營業ノ數ヲ増加スルニ從ヒ保護

一九四

ノ不便ヲ増加スル事

一九六

保護ハ内國品ノ輸出ヲ妨ケ外國競争者ヲ獎勵ス

一九八

保護ハ外國競争者ヲシテ我市場ヲ蹂躪セシメ

二〇〇

サンノ利益アリトノ説ハ非ナリ

二〇三

英國ニ於テ保護破レ米國ニ於テ未タ破レサル

二〇三

十四

ノ原由

自由貿易黨ノ誤謬

第四章 消費

消費ノ釋義並ニ其生産分配トノ關係

消費ノ分類

十五

消費ト生産トノ權衡

二〇七

一個人ノ場合ニ於テハ消費ヲ謹ミ生産ト貯蓄

二〇九

ヲ貴フヘキ事

二一一

吝嗇ト貯蓄トノ別

二一二

經濟大意目錄畢

經濟大意目錄

經濟大意

法學博士 田尻稻次郎 講述



總論

釋義

經濟學ハ人間團結シテ一社會ヲ爲スニ當リ其有スル所ノ關係ヲ物件上ヨリ論
スル所ノ學問ナリ又簡單ニ之ヲ陳述スレハ經濟學ハ經濟國民ノ原理ヲ物件上
ヨリ説ク所ノ學問ナリ

明義

元來釋義ハ簡明ヲ旨トスルモノナルニ由リ意餘リアリテ言足ラサルノ患ナキ
ヲ得ス故ニ今之カ説明ヲ下スハ蓋シ無用ノ業ニアラサルヘシ請フ少シク之ヲ
辯セン

太古草昧ノ世人民山野水邊ニ散居スルニ當リテヤ社會ノ組織未タ全カラス人

人各自ニ禽獸魚鼈ヲ獲若クハ草根木實ヲ採リテ之ヲ食ヒ未タ以テ各自ノ長所ト土地自然ノ物産トヲ交換シ業ヲ分チ有無相通シ互ニ勞ヲ省キ所得ヲ増加スルノ道開ケス偶之アルモ僅ニ男女老幼其業ヲ異ニスルニ過キスシテ人皆箇々別々ニ此世ニ生存シ其未タ社會ノ體裁ヲ完成セサル人民ノ如キハ固ヨリ經濟學範圍外ノモノトス然レトモ既ニ一度社會ノ團結シテ漸々其發達ヲ經ルニ至ラハ勢ヒ交換ノ要ヲ生シ互ニ長短相補ヒ有無相通スル事トナルハ自然ノ然ラシムル所ナレハ苟モ其發達ニ一度ヲ加フレハ交換ノ要亦一度ヲ増加スヘシ故ニ釋義中故ラニ人民團結シテ一社會ヲ爲スノ句ヲ用ヒ以テ太古ニ於テハ經濟學ノ要殆ント絶無ナリシコト及社會外ノ人ニハ縱令自ヲ其人一箇ノ所得ヲ増加シテ之カ幸福ヲ増進スルノ方法ヲ存スルナキニアラサルヘシト雖モ未タ吾人ノ認メテ以テ經濟學ト爲ス所ノモノアラサル所以ヲ示シタルナリ然レトモ世已ニ人民アレハ衣食住ノ需用ナキヲ得ス其人民既ニ社會ヲ組織スルニ於テハ此需用ヲ供給スルノ方法ナキヲ得ス而シテ其之ヲ供給シ之ヲ需要スルノ際ニハ必スヤ人民相互ノ關係ヲ生セサルヲ得ス物件上ノ關係トハ其レ

二

二

之ヲ云フナリ今經濟學ヲ以テ人間ノ關係ヲ論スルモノト爲スト雖モ人間ニハ社會上、道德上、法律上其他種々ノ關係アリ故ニ釋義中故ラニ物件上ヨリ論スルトノ句ヲ用ヒ以テ經濟學ノ範圍ヲ定メ道德法律等ノ事ハ敢テ其論スル所ニアラスシテ經濟學ハ只管人間衣食住ノ需要供給ニ付キテ生スル所ノ關係ヲ論スルモノナルコトヲ示シタルナリ

三

經濟學ノ目的

經濟學ノ論スル所凡ソ此ノ如シ請フ其目的ヲ論究セン
經濟學ノ目的ハ最少ノ勞費ヲ以テ最大ノ結果ヲ得ルニアリ苟モ此目的ヲ誤ラサレハ宇内ノ事物盡ク經濟ノ本旨ニ適セサルモノナシ唯之ヲ得ルノ方便ニ至リテハ實地ノ景況ニ由リ千差萬別大ニ議論ナキヲ得ス夫レ目的ハ一定不動之ヲ不朽ニ傳フヘシ方便ニ至リテハ則チ然ラス自然ノ優劣資力ノ厚薄、人口ノ多寡、民度ノ高低等ニ因リ東西其便チ異ニシ南北其緩急チ同クセス然ルニ世上往々方便ヲ目的ト誤リ一時ノ方策ヲ以テ永世ノ目的トスルモノアルカ爲メ大ニ世運ノ進歩ヲ障害スルコト稀ナリトセス彼ノ自由貿易又ハ保護方策ヲ以テ各旗幟ヲ樹ツルノ黨派ノ如キ即チ是レナリ自由貿易ノ說ヲ唱フルモノハ事物ノ

發達ヲ自然ニ任シ敢テ人爲ノ獎勵干渉ヲ用ヒス甚シキニ至リテハ外國貿易ノ如キモ之カ監督ヲ須ヒス關稅ノ如キモ之ヲ徵收スルヲ不可トシ其事ノ政治財政警察上ニ必要ナル點ニ於テハ殆ント之ヲ度外視シテ内外ノ貿易ヲ自由自在勝手次第ニセハ國家ノ富強期シテ待ツヘシトシ唯之ヲ自由ニスルヲ以テ目的トセリ又保護方策ヲ唱フルモノハ土地物産ノ自然ノ優劣人口ノ多寡人民固有ノ性質資本ノ多少等ヲ辨セス苟モ内國中ニ於テ生産製造シ得ヘキモノハ之ヲ外國ニ仰カスシテ盡ク之ヲ國中ニ得ントシ之カ爲メ政府ノ權道ヲ借リテ有利事業ノ利ヲ剝キ濫リニ不利ノ事業ヲ獎勵シ以テ彼ノ人口資本共ニ増加スルニ至ラハ國中最上ノ財源ニノミ依賴スルコト能ハスシテ次等ノ財源ニ及フノ理ヲ解セス時未タ至ラサルニ弱者ヲ惠ムニ及々トシ天賦ノ利益ヲ辭シテ人爲ノ不便ヲ釀成スルコトアルモ敢テ自ラ之ヲ悟ラス唯弱者ヲ保護セハ天下ノ事足レリトス嗚呼此等ノ兩説ハ共ニ皆偏執論者タルヲ免レスシテ固ヨリ取ルニ足ラサルナリ夫レ經濟學ノ目的ハ自由ニアラス保護ニアラス最少ノ勞費ヲ以テ最大ノ結果ヲ得ルニ在リ之ヲ自由ニシ之ヲ保護スルカ如キハ固ヨリ一時ノ方

策ニ外ナラス焉之ヲ永世ノ目的トスルヲ得ン故ニ若シ之ヲ自由ニシテ此目的ヲ達スルノ實ヲ得ハ宜シク之ヲ自由ニスヘク又之ヲ保護シテ苟モ此目的ヲ達スルコトヲ得ルノ確證アレハ須ラク之ヲ保護スヘシ實地ノ景況ハ千差萬別ナレハ固ヨリ初メヨリシテ之ヲ豫期スルコトヲ得サルナリ國家ノ經濟ヲ論スルモノ小心翼々カメテ事物ノ關係ヲ詳ニシ以テ彼ノ方法ハ現今ノ方法ト比較シ果シテ同額ノ資本勞力ニテ多量若クハ善良ノ物品ヲ生産又ハ製造シ得ルノ實アルヤ此方法ハ彼ノ方法ト比較シテ等シク亦同額ノ資本勞力ニテ事業上ニ幾多ノ進歩ヲ來スヘキヤ又ハ更ニ小額ノ資本勞力ヲ以テ同様ノ事業ヲ爲シ若クハ多量ノ物品ヲ製造シ得ヘキヤ又新事業ヲ起セハ其事業ハ果シテ在來ノ事業ト同様又ハ之ニ優ルノ利益アルヤ等ノ要點ヲ研究シ然ル後其取舍ヲ決スヘシ凡ソ經濟上ノ事業ヲ爲スニ於テ標準トスル所ハ即チ右ニ陳述スルカ如シ彼ノ漫ニ之ヲ自由ニシ漫ニ之ヲ保護スルカ如キハ大ニ經濟ノ趣旨ニ背戾スルモノト謂フヘキナリ

經濟學ノ目的ハ已ニ陳述シタルカ如ク勞ヲ減シテ功ヲ増スニアリ彼ノ保護論

者ノ如ク徒ラニ勞費ヲ増加スルニアラサルナリ故ニ若シ宇内ニ虛無ヨリ有物
ヲ生スルノ術アラハ經濟學ノ目的茲ニ至リテ極レリト謂フヘシ然レトモ斯ノ
如キハ固ヨリ數理ノ許ササル所ナレハ有物ヲ生スルニハ必ス有物ヨリセサル
ヘカラス是レ經濟ノ事業ヲ舉ケント欲セハ必ス先ツ勞費ヲ侵サ、ルヘカラス
ル所以ナリ今此勞費ヲ爲スニ當リ先ツ事物ノ原因効驗ノ關係ヲ示シ之ニ依リ
テ禍ヲ未然ニ防キ便益ヲ將來ニ得ルノ原理ヲ講シ又其方法ヲ示スヲ以テ經濟
學ノ本分トス故ニ經濟ハ某事業ハ其地ニ適セス今日ノ人口資本ノ景況ニ應セ
ス某事件ハ善ハ則チ善ナリト雖モ時未タ至ラス是レ彼レヨリ急ナレハ先ツ是
レヨリシテ彼レニ及ホスヘシ等ノ理由ヲ示スニ止マリ固ヨリ法律ノ如ク人爲
ヲ制裁スルノ力ヲ有セサルニ付キ苟モ貿易信用等ノ經濟上ノ事業ヲ舉ケン
ト欲セハ必スヤ法律ノ力ヲ借ラサルヲ得ス又經濟ニ關スル善良ノ法ヲ得ント欲
セハ法律モ亦經濟學ノ力ヲ借ラサルヲ得サルナリ請フ一例ヲ引キテ二者其本
分ヲ異ニスルヲ示サン

曾テ十八世紀ノ末葉彼ノ有名ナルピト氏ノ英國ニ相タルニ當リ英葡兩國ノ通

商條約ヲ改正シタルコトアリシカ當時經濟ノ學未タ今日ノ如ク盛大ナラスピ
ト氏ノ聰明ナルモ尙ホ流行ノ交互相惠即チ「リシアロシチ」ノ説ヲ信シ葡萄牙
ヲシテ英國製造品ノ輸入税ヲ減セシメ英國ニテハ其報酬トシテ葡萄牙産ノ葡
萄酒税ヲ減少シタリ然ルニ當時未タ最惠國云云ノ句是レハ條約ヲ締盟スル時
甲國カ乙國ニ對シ貴國ニ對シテ條約國中最モ惠ヲ與ヘタル國ト同様ノ取扱ヲ
爲スヘシトノ意ヲ其條約中ニ加フルヲ云フヲ條約ノ條項中ニ挿入スルノ風俗
起ラサリシカハ佛國ヨリ輸入スル葡萄酒ニハ依然在來ノ重税ヲ課セシヲ以テ
英人爭ヒテ輕税ノ葡萄牙産葡萄酒ヲ飲用セリ然ルニ葡萄牙産ノ葡萄酒ハ佛國
産ノ葡萄酒ヨリハ遙ニ濃厚ナルニ因リ之カ爲メ英國人民中一種ノ疾病即チ酒
風症洋名ハ「ガウト」ト云ヒ足部ニ非常ノ痲衝ヲ起ス病ナルモノヲ起スニ至レリ
若シ果シテ此弊ノ起ルヲ見レハ法律ハ之ニ處スルニ必ス先ツ葡萄牙産葡萄酒
ノ輸入販賣及飲用ヲ檢束シ又ハ之ヲ禁制スルノ方法ヲ施シ且ツ條約ノ改正ニ
著手シタル上佛國産ノ葡萄酒輸入販賣飲用ヲ獎勵スル法ヲ設クヘシ然ルニ經
濟ノ之ニ處スルハ此ニ出テスシテ濃厚ナル葡萄酒ノ飲用ハ大ニ國家ノ生産力

ヲ減スルノ效驗アルノ原由ヲ説キ以テ淡泊ナル飲料ヲ用フルノ利益ヲ説クニ止マルヘシ由是觀之法律ハ外形ノ如何ヲ制シ經濟ハ内部關係ノ緣因如何ヲ示スヲ以テ其本分トスルナリ

凡ソ政治上社會上ニ關スル學問ノ研究ハ理化學ノ如ク實際ノ適例ヲ引キテ其所論ヲ證スルコト能ハス多少想像推理ノ間ニ逍遙セサルヲ得サルノ不便アリ經濟學ヲ研究スルモノ亦此不便ヲ免レサルナリ彼ノ理化學ニ於テ空氣ノ壓力物質ノ成立等ヲ論スルヤ只口頭ノ論理ノミヲ以テセハ蓋シ智者ト雖モ之ヲ解スルニ苦ムヘシ然レトモ若シ一度排氣鐘若クハ分析ノ試驗ヲ施ストキハ事跡判明復タ多辯ヲ要セスシテ凡庸ノ人モ尙ホ能ク白ラ之ヲ悟ラン然ルニ今ヤ經濟學ヲ論スルニ當リテハ則チ此ノ如クナルコト能ハスシテ其論スル所多クハ天下億兆ノ休戚ニ關スル最モ重大ノ事件ナレハ固ヨリ之ヲ實地ノ試驗ニ付スルコトヲ得ス只推理ヲ以テ其然ル所以ヲ論スルニ止マルナリ例ヘハ經濟學ノ物價ヲ論スルヤ必ス物價ノ高低ハ需要供給ノ景況ニ據ルモノトシ懇懇其理由ノ在ル所ヲ説明スヘシト雖モ之ヲ實地ニ證セント欲シ天下ニ合シテ今年ノ田

作ハ之ヲ例年ノ半額ニ減スヘシト云フカ如キハ到底得テ爲スヘカラサル事トス故ニ其説ク所理化學ノ如ク適切ナルヲ得ス且ツ實地ノ景況ハ千差萬別ナルヲ以テ單純ノ道理常ニ其成蹟ヲ全クスルコトヲ得サルナリ例ヘハ人口繁殖シ資本増加セハ米穀其他ノ粗品ハ必ス其價格ヲ増加スルトハ經濟學ノ論スル所ニシテ又最モ親易キノ道理ナリ然ルニ實際ニ於テハ往々却テ大ニ之カ反對ニ出ツルモノアリ彼ノ英國ノ如キハ其人口資本ノ増加之ヲ千八百四十六年穀令(コーンロー)廢止以前ニ比スレハ果シテ其幾許ナルヲ知ラス然レトモ穀類ノ價格之ヲ當時ニ比シテ今日却テ廉價ナルノ實アリ斯ノ如ク道理ノ説ク所ト實際ノ成蹟ト往々符合セサルモノアルニ由リ世人ヲシテ道理ノ頼ムニ足ラサルノ想アラシメ之カ爲メ眞理ノ發達ヲ障礙スルコト渺カラスト雖モ此等ハ決シテ道理ノ罪ニアラス單純ノ道理ヲシテ實地ニ其成蹟ヲ全クスルコトヲ得サラシムル他ノ道理アルニ是レ由ル即チ英國ノ穀類價格ノ景況道理ト符合セサルモノアルハ穀令廢止以來英國人民大ニ其資本ヲ増加シ且ツ穀類ノ輸入自由ナルニ由リ北米合衆國匈牙利等ヨリ大ニ之ヲ輸入シ來ルニ付キ昔日穀令ノ保護ニ

據リ僅ニ耕作ニ得タル劣等ノ土地ニ穀類ヲ耕サ、ルヲ得ル事トナリタルニ由ルモノト謂フヘシ故ニ翻テ生肉野菜等ノ如キ容易ニ輸入シ能ハサルモノ、價格ヲ見ヨ爾來牧畜耕作ノ業カ昔日穀類ヲ耕作シタル土地ニ侵入シ來リタルカ爲メ生肉野菜等ハ固ヨリ其供給ヲ増加シタルニ相違ナシト雖モ到底今日ノ人口ニ比シテ昔日ノ如ク供給寛ナルコトヲ得サレハ其價格殆ト昔日ニ倍蓰スルノ勢ヲ成セリ實ニ是レ眞理ノ在ル所ハ萬世ヲ經テ動カスヘカラス故ニ其事ノ實地ニ成績ヲ全クスルコトヲ得サルカ如キハ他ニ繞密ノ關係アルニ由ル何ソ之ヲ以テ實地ト道理ト符合セスト云フコトヲ得ンヤ然レトモ繞密ノ原因ヲ探究スルハ世人ノ難シトスル所嗚呼經濟學ヲ研究スルノ初メニ當リ種種ノ困難ニ遭遇スルヤ亦以テ怪ムニ足ラサルナリ畢竟スルニ此等ノ困難ハ研究ノ足ラサルニ出ツルモノナレハ決シテ之ヲ以テ屈撓事ヲ不斷ニ付スヘカラス進ミテ研究ヲ積ミ眞理ノ在ル所ヲ探究セハ皎皎タル晴天ノ白日亦何ソ之ヲ見ルヲ難シトセンヤ

經濟學ハ常ニ人間物件上ノ關係ヲ論シ談高尚ナル道德ニ涉ラス言微妙ナル人

經濟學ノ

受クル攻

情ノ域ニ入ラス貧者ヲ見レハ即チ曰ク是レ汝カ怠惰ノ罪ナリ汝宜シク努力セヨ又不幸困難ニ陥ル者ヲ見ルモ君ハ是レ不幸ノ士我ニ若干ノ金員アリ之ヲ君ニ呈セン宜シク之ヲ以テ君カ嗜好ニ充テ憂ヲ慰ムヘシト云ハス不幸實ニ感ムヘシト雖モ已ニ不幸ニ陥リタル上ハ已ムヲ得ス宜シク一層ノ勉勵ヲ加ヘ勤儉ノ道ヲ守リ以テ此不幸ヲ免ルヘシト云ハンは是ニ於テカ世人說ヲ爲シテ曰ク經濟學ハ不道德、不人情ノ學ナリ只利便ヲ說クニ汲汲トシテ世ニ物件上ノ外又德義、人情等ノ高尚ナルモノアルヲ知ラスト然リト雖モ是レ唯一ヲ知リテニ知ラサルノ說ト謂フヘシ經濟學ノ物件上ノ關係ヲ說クハ其範圍ヲ守ルモノナリ其利便ヲ說クニ汲汲タルハ其本分ヲ盡スモノナリ何ソ道德ニ反シ人情ヲ捨ルノ事アラン只道德ヲシテ瘦我慢ノ弊ニ陥ラシメス人情ヲ濫用シテ怠惰ヲ勸メ以テ勤勉ノ道ヲ壅塞スルノ弊ヲ防ガント欲スルニアリ道德、人情固ヨリ經濟ト併立セサルヲ得サルナリ夫レ經濟ノ實施上最モ尊ムヘキハ信用ナリ德義厚カラサレハ何ヲ以テカ信用ヲ保ツヲ得ン人情ハ社會組織ノ大綱ナリ而シテ經濟學ハ人間社會物件ノ關係ヲ論スルモノナレハ焉ソ此大綱ノ外ニ立ツヲ得ンヤ

人間ノ事悉ク皆人情ノ近キニ就キテ之ヲ爲スヲ易シトス經濟ハ固ヨリ難キヲ捨テ、易キニ就クヲ以テ其本旨トスレハ經濟焉ソ人情ニ背馳シテ事ノ難キヲ撰ハンヤ今經濟ハ人間ノ衣食ヲ足ラスノ方法ヲ説クヲ以テ其任トス古人云ハスヤ衣食足りテ後禮節ヲ知ルト然ラハ則チ道德、人情、經濟ノ三者ハ互ニ親密ノ關係ヲ有シ輔車相待チ唇齒相依ルノ勢ヲ呈スルナリ豈經濟學ヲ目シテ不道德、不人情ト云フヲ得ンヤ

經濟學ノ道德人情ト須臾モ相離ル、能ハサルコト右ノ如シ又法律ト内外ノ關係ヲ有スルモノタルコトハ已ニ之ヲ論セリ凡ソ物孤立シテ能ク其目的ヲ得、獨歩シテ發達ノ極度ニ達シ能ク社會ヲ益スルモノ蓋シ稀ナリ事物ノ進歩ハ必スヤ牽連調和互ニ相輔クル所ナキヲ得ス文學、理學、哲學、歴史、美術、道德、人情、法律、統計、政治、財政等諸般ノ學皆多少經濟學ト相關係スルモノナラサルハナシ而シテ經濟學モ亦此等諸學ノ進歩ヲ輔翼スルモノトス夫レ文學ノ進歩ナクンハ眞理ノ發見妙計名策アリト雖モ能ク之ヲ世ニ傳フルコト能ハス理化學ナクンハ造化ノ機密ヲ看破シ人工ヲ以テ天工ヲ奪ヒ、難キヲ捨テ易キニ就キ、無用ヲ取リテ

有用トシ所謂最小ノ勞費ヲ以テ最大ノ結果ヲ得ルノ術ヲ求ムルコト能ハス哲學ナクンハ事物ノ關係ヲ失シ事物分明ナラスシテ百折不撓ノ氣象ヲ養フ能ハス苟モ此氣象ナクンハ經濟ノ事業決シテ擧カラサルナリ歴史ナクンハ時勢ノ變遷ヲ察シ以テ事ノ順序ヲ正ス能ハス美術ノ思想ナクンハ質、文ニ勝チ以テ人ノ嗜好ニ投シテ市場ヲ制スルノ力ヲ養フコト能ハサルヘシ統計備ラス政治整ハス財政亂ル、ニ於テハ何ヲ以テカ能ク經濟ノ事業ヲ隆盛ナラシムルヲ得ン又經濟ノ道開ケス、難キヲ先キニシ易キヲ後ニシ、不便ヲ取リテ便利ヲ捨ツルカ如キコトアラハ文學ノ進歩、政治ノ良制、財政ノ妙策決シテ之ヲ望ムコト能ハサルナリ由是觀之經濟學ハ他ノ諸學ト其進歩ヲ共ニシ互ニ相牽連調和シテ甫メテ之カ發達ヲ得之カ目的ヲ達スルモノト謂フヘシ請フ今一例ヲ引キテ事物ノ發達ハ決シテ孤立シ能ハサル所以ヲ證セン

昔時米人フオルトン氏ノ汽船ヲ發明スルヤ船已ニ成リ器械已ニ整フ故ニ理學ヲ以テ之ヲ推ストキハ方今ノ鐵艦巨艦ト雖モ得テ之ヲ當時ニ製造スヘカラサルノ理ナキカ如シト雖モ實際ニ於テ未タ此事アリタルヲ聞カズ其能ク巨大ノ氣

船ヲ製造スルコトヲ得ルニ至リタルハ僅ニ近年ニ在リ是レ頗ル怪ムヘキニ似テ決シテ怪ムニ足ラス其ノ故他ナシ造船業ノ進歩已ニ斯ノ如クナルニ於テハ固ヨリ人之ヲ思ハサリシニアラスト雖モ只當時製鐵ノ業未タ今日ノ如ク盛ナラサリシヲ以テ巨舶ヲ運轉スルニ足ルヘキ巨大ナル器械ヲ製造シ能ハサリシニ職由ス蓋シ製鐵業ノ未タ盛ナラサリシ當時ニ於テハ造船業ノ進歩已ニ斯ノ如クナリシニモ拘ハラヌ未タ以テ之ヲ實地ニ利用スル能ハサリシコトナレトモ蒸氣槌ノ設置ヲ得テ其困難全ク破レ甫メテ今日ノ如ク巨大ナル汽船ヲ製造スルコトヲ得ルニ至リタルナリ今ヤ經濟學ノ進歩モ亦之ニ類スルモノアルヲ見ル彼ノアダムスミス氏ノ始メテ富國論ヲ著スヤ痛ク貿易干涉ノ事ヲ非難シ貿易ハ須ラク之ヲ自由ニスヘント説ケリ然レトモ當時諸般ノ學未タ今日ノ盛況ヲ呈スルニ至ラサリシカハ氏ヲシテ其望ム所ノモノハ到底之ヲ英人ニ望ムヘカラストノ歎聲ヲ發セシメタリ然ルニ氏ノ世ヲ辭セシヨリ未タ百年ヲ出テサルニ及ヒテ英國ノ貿易ハ曾テ氏カ望ミシヨリ一層ノ自由ヲ得數層ノ發達ヲ加ヘタリ是レ他ナシアダムスミス氏ノ時勢ニ望ムヘカラサリシ事モ星移リ物

交換

Exchange

替リテ前陳諸般ノ學大ニ進歩シ經濟ノ學モ亦共ニ進歩スルコトヲ得タルニ外ナラサルナリ經濟學ノ釋解目的本分等ノ事ハ已ニ之ヲ論シタレハ是レヨリ今一步ヲ進メテ經濟學ニ於テ最モ重要トスル所ノ交換及富ノ事ヲ論究スヘシ請フ先ツ交換ヨリ之ヲ説カン

交換トハ互ニ有無相通シ長短相補ヒ自己ノ最モ要セサル所ノモノヲ以テ最モ要スル所ノモノヲ得其最モ易シトスル所ノモノヲ以テ最モ難シトスル所ノモノヲ得ルノ方法ヲ云フニ在リ故ニ之ヲ小ニシテハ一家中若クハ一社會中互ニ相輔クルノ狀ト爲リ之ヲ大ニシテハ一國若クハ國際ノ貿易ト爲ルナリ請フ之ヲ辯セン

人類ノ生ヲ爲スヤ初メハ棍棒若クハ弓箭ヲ取リテ山林ニ入り禽獸ヲ斃シテ其皮ヲ剝キテ之ヲ衣トシ其肉ヲ屠リテ之ヲ食トス此時ニ當リテヤ一人獸ヲ斃セハ相寄りテ其肉ヲ食ヒ其血ヲ吸ヒ鼓腹互ニ歡樂ヲ盡スヤ常トシ未タ其肉ヲ盤ニシ其皮ヲ滑ニシ以テ之ヲ貯フルノ術ヲ知ラス故ニ當時ニアリテハ交換ノ術ハ殆ト絶無ニシテ僅有ナルモノト謂フヘシ然レトモ人口漸ク増加シ禽獸其數

ヲ減スルニ隨ヒ衣食給セス人人相搏ツモ尙ホ且ツ足ラサラントスルノ勢ヲ爲
 スニ至リ終ニ衣食ノ缺乏ニ驅逐セラレテ始メテ獸類ヲ牧スルノ術ヲ發明シ之
 ニ依リテ凍餓ノ憂ヲ免ル、事トナレリ是レ捕獵ノ時代ヨリ牧畜ノ時代ニ進ミ
 タルナリ此時ニ當リテハ已ニ家畜ノ所有起ルヲ以テ互ニ大小異類ノ家畜ヲ交
 換シ又ハ家畜ト他物ト交換スルノ要ヲ生スヘシ斯ノ如クニシテ能ク一時衣食
 ノ缺乏ヲ免ル、ト雖モ牧畜ノ業ハ之ヲ耕耘ニ比シテ土地ヲ要スルコト頗ル多
 ケレハ人口増加スルニ從ヒテ衣食復タ給セス終ニ耕耘ノ業ニ移リ始メテ其生
 ヲ安ンスルコトヲ得ルナリ而シテ其一度耕耘ノ業ニ移ルヤ土地ノ所有ヲ生シ
 又農具牛馬收穫物等各自特有ノ財產ヲ生スヘク且ツ已ニ之ヲ共用セサルヲ以
 テ交換ノ要益起ルヘク而シテ人間ノ需用増進スルニ從ヒ農産物及粗品ニ人工
 ヲ加ヘ以テ此需用ヲ満足セシムヘキ生産及製造ノ起業ヲサルヲ得ス又此等ノ
 業ヨリ生シタル物品ヲ分配スヘキ商業起ラサルヲ得ス是ニ於テ進歩一層ノ度
 ヲ加フレハ交換ノ要亦一層ヲ増シ終ニ進ミテ一國中ノ貿易ト成リ更ニ進ミテ
 國際ノ貿易ト成ルモノト謂フヘシ而シテ此交換ノ事タル相互ノ利益ヲクンハ

決シテ之ヲ永久ニ傳フルヲ得サルヘシ然ルニ世往々此理ヲ解セスシテ貿易ヲ
 以テ一方ノ所得ハ一方ノ損耗ナリト論スルモノアリ是レ大ナル謬見ナレハ一
 言以テ之ヲ辯セサルヲ得ス

抑交換トハ釋義ニ於テ陳述シタルカ如ク有無相通シ長短相補フモノナレハ固
 ヲリ損失ヲ以テ其目的トスルモノニアラサルナリ然ルニ今甲乙互ニ貿易シ甲
 ハ常ニ利シ乙ハ常ニ損スルカ如キコトアレハ甲乙ノ間貿易忽チ消滅スルハ最
 モ親易キノ理ナリトス元來物品ノ生産製造ハ土地ノ外勢氣候山川動植物等ノ
 景況ヲ云フト人民ノ性質人口資本ノ多寡等トニ因リ東西其便ヲ異ニシ南北其
 利ヲ一ニセス故ニ東ノ難シトスルモノハ西之ヲ易シトシ南人ニ餘リアルモノ
 ト雖モ北人之ヲ缺クハ是レ天下ノ常勢ナリ果シテ然ラハ東西南北互ニ有無相
 通シ長短相補フハ雙方ノ便利ナル固ヨリ論ヲ俟タサルナリ試ニ英米兩國ノ貿
 易ヲ以テ之ヲ論セン英國ハ宇内ノ富國其資本ニ富ムコト固ヨリ四海第一トス
 而シテ人口亦稠密ナリ又米國ハ沃野千里加フルニ水路國中ヲ縱横シテ天然ノ
 農利ニ富ムハ復タ地球上多ク見サル所ナリ故ニ英ハ工産ニ便ニシテ米ハ農産

ニ便ナリトス是ヲ以テ米國非常ノ保護稅ヲ行ヒ以テ英國ノ產物ヲ苦ムルニモ拘ハラス兩國互ニ工產ト農產トヲ交換シ各相利スルハ人ノ皆知ル所ナリ然ルニ若シ此内孰レカ一方ヲシテ常ニ損失ヲ蒙ムルモノタラシムレハ英米兩國間ノ貿易ハ決シテ永ク成立スルコトヲ得サルナリ尤モ甲乙ノ間孰レカ一方ニ於テ商機ヲ過リ一時一方ノ損失ヲ醸スカ如キコトナキニアラスト雖モ是レ貿易ノ變事ト謂フヘクシテ常勢ト謂フヘカラサルハ勿論ナリ若シ變事ヲ以テ常勢ト爲スカ如キコトアルニ於テハ是レ謬見ノミ固ヨリ堂ニ上ルノ說ニアラサルナリ

又適切ノ一小例ヲ引キテ交換ハ相互ノ利益タル所以ヲ示サン例ヘハ茲ニ一學生アリ始メテ英學ニ志シ一書店ニ至リ店主ニ問フテ曰ク「ユニオン」第一「リドル」アリヤ店主恭然トシテ對ヘテ曰クアリ貴客之ヲ要スルヤ學生曰ク余一部ヲ要ス其價幾何ナルヤ店主曰ク五十錢ナリ學生懷ヲ探ルニ懷敢テ暖ナルニアラサレトモ五十錢ヲ出シテ之ヲ購フ店主五十錢ヲ受取り謝シテ曰ク有難フ學生「リドル」ヲ得欣然トシテ去レリト假定セヨ是レ學生ノ爲メニハ「リドル」ハ五

二五

十錢ヨリモ其用多ク又書店ノ主人ノ爲メニハ五十錢ハ「リドル」一部ヨリ其用多キニアラサレハ即チ此ノ如クナルコトヲ得サルナリ果シテ然ラハ交換ハ釋義ニ於テ陳述シタルカ如ク雙方ノ便ナルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ凡ソ有形無形ヲ問ハス他物ト交換シ得ヘキモノハ之ヲ富ト云フ而シテ此富ヲ別チテ有形無形ノ二種トス有形ノ富トハ什器商品等ノ如ク苟モ形ヲ存シテ他物ト交換シ得ルモノヲ云ヒ無形ノ富トハ才智藝能權利等ノ如ク固ヨリ形ヲ有スルニアラサレトモ之ヲ用ヒテ他ノ物品ヲ得ルノ力アルモノヲ云フ例ヘハ教師ノ藝能、年金者ノ權利ノ如シ之ヲ有スレハ恰モ什器商品ノ如キ有形物ヲ所有シ之ヲ賣却シテ收入ヲ得ルカ如ク之ヲ使用シテ收入ヲ得ヘキナリ夫レ富ハ此ノ如ク交換力ニ基イスルカ故ニ昔日ハ全ク交換力ヲ有セスシテ富ニアラサリシモノモ世ノ進歩ニ從ヒ富ト爲ルモノアリ又昔日大ニ交換力ヲ有シ富ノ一部タリシモノモ人智ノ進歩嗜好ノ變更ニ隨ヒ其交換力ヲ減シ全ク無用ノ長物ト爲ルモノアリ又其用ノ大部分ヲ失フモノモアリトス彼ノ石炭、石油、護謨等ノ如キハ昔日全ク其用ヲ知ラス偶、其物アルニ於テハ却テ邪魔物トシテ之ヲ棄却セ

サルヲ得サリシナレトモ理化學ノ漸ク進歩スルニ從ヒ此等ノ物品モ殆ント必要缺クヘカラスナルモノトナリ之ヲ有スルモノ、爲メニハ巨大ノ財源トナレリ然レトモ上人高僧等ノ遺物昔時社寺ヨリ賣出シタル守札ノ類ハ中世ノ歐洲ノ如ク宗教ニ沈溺シタル時期ニ於テハ非常ノ價格ヲ有セシモノナリト雖モ人智漸ク開クルニ隨ヒ此等ノモノハ其苟モ美術上歷史上ノ參考ニ供スヘキモノナ除クノ外、人ノ之ヲ願ミルモノアラサルニ至レリ又流行物ノ交換力ノ如キハ年月ト共ニ大ニ變更スルモノナリ彼ノ萬年青蘭兔其他衣服美術品等ノ流行ニ係ルモノ、交換力ノ時ト共ニ變動スルハ人ノ皆知ル所ナリ

富ハ交換力ニ基イシ時勢ノ變動ニ隨ヒ變更スルコト此ノ如シト雖モ苟モ交換力ヲ有スルモノハ皆富ニシテ天下ニ人間ノ需用ニ應スルモノ増加セハ是レ之カ富ノ増加ト謂ハサルヲ得ス然ルニ中世全ク富ノ性質ヲ誤リ金銀ヲ以テ唯一ノ富トシ只之ヲ得ルヲ以テ國家ノ富ヲ増加スルモノトスルノ黨派ヲ生セリ之ヲ主錢主義黨ト云フ英語ニ「モルカンチリス」ト稱スルモノ即チ是レナリ又此主義ヲ英語ニ「モルカンチル」システム」ト云フ凡ソ金銀ハ一般ノ購買力即チ交

四

換力ヲ有シ居ルヲ以テ富ノ一部分タルニハ相違ナシト雖モ元來金銀ハ煮テ食フヘカラス織テ衣ルヲ得ス只能ク他物ト交換スルヲ得ルノミナレハ之ヲ以テ交換ノ器具即チ貨幣ヲ製スルニハ便トスレトモ特ニ之ヲ以テ唯一ノ富トスルコトヲ得サルナリ茲ニ一奇話アリ請フ左ニ之ヲ掲載シテ主錢主義ノ妄ヲ辯セ

五

昔時大阪ニ大洪水アリ甲乙二人共ニ一大木ニ攀チテ之ヲ避ク水去ラサルコト殆ト二十四時間、甲ハ握飯三箇ヲ所持シ乙ハ萬金ヲ携フ須臾ニシテ甲乙共ニ飢チ感シ甲ハ先ツ握飯一箇ヲ出シテ其一半ヲ食ヒ以テ氣力ヲ養ヒ靜ニ水ノ退クヲ待ツ乙ハ之ヲ見テ飢ニ堪ヘス甲ニ向ヒテ汝ノ握飯一箇ヲ我ニ與ヘヨ我能ク汝ニ十金ヲ與ヘント言ヒシカハ甲答ヘテ曰ク水退クコト正ニ幾日ナ期スルヤ知ルヘカラス然ルニ今我レ十金ノ爲メニ握飯一箇ヲ汝ニ與ヘハ我ハ汝ト共ニ餓死セン故ニ我之ヲ汝ニ與フルヲ得スト故ニ乙ハ更ニ百金ヲ投セントス甲尙ホ肯ンセス次ニ乙千金ヲ投セント請フ甲少シク心動クト雖モ乙ノ窮ヲ知リテ尙ホ之ヲ聽カス乙益氣力ヲ失ヒ將ニ餓死ノ域ニ迫ラントス茲ニ至リテ終ニ萬

金ヲ抛チ漸クニシテ握飯一箇ヲ得タリト云ヘリ是レ固ヨリ一夕ノ小話ニ過キ
スト雖モ以テ金銀ノ特ニ唯一ノ富トスルニ足ラサルコトヲ表スヘク又主錢主
義黨ノ好ムカ如ク只金銀ヲ得ルヲ以テ國家ノ富ヲ増スモノトシ國中ノ貨物ハ
舉ケテ之ヲ輸出シ唯金錢ノミヲ國中ニ堆積スルカ如キコトアラハ終ニ前陳ノ
乙某ノ如キ憐ムヘキ境遇ニ陥ルノ恐ナキヲ得サルノ實ヲ示スノ好話柄ト謂フ
ヘシ然レトモ幸ニシテ外國貿易ノ隆盛ナル今日ニ於テハ主錢主義黨ノ好ムカ
如キ事ヲ實地ニ目撃スルコト能ハサルナリ何トナレハ苟モ其國ニ貨物減少シ
金銀漸ク増加スルニ於テハ忽チ金銀ノ交換力ヲ減シテ其結果ハ物價騰貴ト爲
リ之カ爲メ國中ノ金銀ヲ以テ外品ヲ購入スルノ資ニ供スルヲ便トシ忽チ物品
輸入ノ増加ヲ來スヨリシテ金銀流出ノ道ヲ開クコトヲ得ヘケレハナリ

第二章 生産

世ノ經濟學ヲ講スルモノ概テ其論ヲ大別シテ生産分配消費ノ三部トス元來生
産ハ消費ヲ以テ目的トシ翻テ消費ノ源泉ト爲リ分配ハ貨物ヲ最モ需要アル所
ニ致シテ消費ヲ助ケ同時ニ生産ノ發達ヲ促シ以テ需要供給ヲ媒助スルモノナ
レハ此區分ハ大ニ其當ヲ得タルモノト謂フヘシ故ニ余モ亦此區分ニ從ヒ先ツ
此章ニ於テ生産ノ事ヲ論究セン

生産トハ新ニ貨物ヲ産出シ(農夫ノ耕耘ノ術ヲ施シ五穀野菜等ヲ産出スル等ノ
事)新ニ在來ノ物品ヲ利用スルノ道ヲ發明シ(石炭石油若クハ藥草ノ如キ天產物
ヲ使用スルノ方法ヲ發明シ無用ヲ變シテ有用ト爲スノ類)在來ノ物品ニ人工ヲ
加ヘテ其形ヲ換ヘ其用ヲ創造シ又ハ増加シ(木皮ヲ以テ紙ヲ製シ土砂ヲ以テ硝
子ヲ製シ綿ヲ以テ木綿ヲ織ル等總テ製造ノ事業)地球上已ニ成立セルモノ、全
體ヨリ人間ノ需用ヲ満足スルノ方法ナリ右ハ日耳曼ノ經濟學博士ロスシエル
氏ノ說ニ從ヒ之ニ註釋ヲ加ヘシモノナリ

義
生産ノ釋

生産ニ要スル三要

生産ニ必要缺クヘカラサルモノ三ツアリ曰ク勞力曰ク資本曰ク土地是レナリ此三者相待チテ以テ生産上鼎足ノ勢ヲ爲ス蓋シ勞力アリト雖モ資本ナクンハ生産未タ了セサルニ當リ以テ其勞力ヲ支ユルコト能ハス又資本アリト雖モ土地勞力ナクンハ終ニ之ヲ利用スルコト能ハサルナリ請フ順ヲ逐ヒ先ツ勞力ヨリ之ヲ論セン

勞力

凡ソ大小トナク一事業ヲ爲スニハ必ス多少ノ腦力若クハ體力ヲ要セサルナシ即チ書ヲ讀マント欲セハ必ス腦力ヲ用ヒサルヲ得ス畑ヲ掘リ薪ヲ割ラント欲セハ必ス手足ノ勞ヲ要スヘシ此ノ如ク腦力體力ヲ使用スル事ヲ經濟上名ツケテ勞力ト謂フナリ

勞力ノ種類

此勞力ヲ分チテ七種トス一ニ曰ク發見發明發見トハ其物已ニ世ニ存在スルト雖モ人未タ之ヲ知ラサルニ當リ始メテ之ヲ見出スヲ云フ彼ノコロムブス人米洲ヲ見出シフランクリンカ電氣ノ大空ニ充滿セルヲ見出セシカ如キ即チ是レナリ發明トハ人ノ未タ爲サ、ル所ノモノヲ爲シ其尙ホ造リ出サ、ル所ノモノヲ造リ出スヲ云フ弘法大師カいるはノ假名字ヲ造リワツトカ蒸氣機關ヲ造リ

出セシカ如キ即チ是レナリ蓋シ發見發明ハ勞力中最モ貴重ナルモノニシテ其世ヲ利スル亦恐クハ此二者ノ右ニ出ルモノナカルヘシ二ニ曰ク採集業即チ伐木、礦業、漁獵ノ如キ自然ノ天產物ヲ採ルヲ云フ三ニ曰ク粗生品ノ生産即チ農業、林業、採集業ノ伐木ハ只天然ノ木ヲ伐ルヲ云ヒ林業ハ樹木ヲ培植シ茸類木實等ノ如キ森林ノ副產物ヲ收穫スル等ノ事ヲ爲シ只伐木ヲ爲スノミニアラスノ如ク製造品ノ元質ト爲ルヘキモノヲ生出スルヲ云フ養蠶、牧畜ノ如キモ亦此業ニ屬ス四ニ曰ク製造即チ聖泥ヲ以テ陶器ヲ製シ木金ヲ以テ器具器械等ヲ製スルカ如ク在來ノ物品ノ形ヲ變スルヲ云フ五ニ曰ク土木即チ道路、開鑿等ノ事ヲ云フ六ニ曰ク分配即チ商賈ノ諸方ニ物品ヲ運搬シ互ニ有無相通シ長短相補フヲ云フ輸入者、製造者、農業者等ヨリ卸賣商ニ賣却シ卸賣商ヨリ小賣商ニ、小賣商ヨリ消費者ニ賣渡ス等皆分配ノ業トス土地、家屋等ノ貸付人、金貸營業人等モ亦此類ニ屬ス七ニ曰ク人ノ爲メニ業ヲ爲スコト即チ役人、僧徒、教師、醫師、代言人、僕婢等ノ如キ者ノ勞働ヲ云フ

右ハロスシエル氏ノ經濟論ニ據リ只土木ノ一項ヲ加ヘタルノミ凡ソ此等七種

生産勞力
不生産勞力

ノ勞力ハ互ニ相待チ以テ生産ノ業ヲ助クルモノナリ蓋シ農アリト雖モ工ナク
ンハ農産ニ人工ヲ加ヘテ其用ヲ増シ以テ人間高度ノ需要ニ應スルコト能ハス
又工アリト雖モ商ナクンハ農工ノ物産ヲ其需用地ニ致スコト能ハサルナリ何
セン其結果ヤ必ス南隣ハ飽食煖衣シテ北隣ニハ饑餓凍餒ノ慘狀ヲ呈スルカ如
キ弊ヲ見ルニ至ルヘシ左レハ此等七種ノ勞力互ニ相待チテ甫メテ國家ノ安寧
ヲ維持シ道德教育ヲ盛ニシ國民ノ健康ヲ保全シ不幸ノ民ヲ救フ等ノ事得テ爲
スヘシ若シ否ラサレハ又何ヲ以テカ農工商百般ノ業ヲ盛ニスルコトヲ得ン
勞力ノ互ニ相助クル斯ノ如シ然ルニ學者中往々勞力ヲ大別シテ之ヲ生産勞力
ト不生産勞力トニ二分シ彼ノ農工ノ如キ直接ニ物品ヲ生出シ又ハ製造スルモ
ノヲ以テ生産勞力トシ役人教師醫師ノ如キ間接ニ生産ヲ助クルモノヲ以テ不
生産勞力トスル者尠シトセス然レトモ是唯其勞力ノ一國營業上ニ直接間接ノ
關係アルヲ示スニ過キスシテ役人教師等ノ勞力ヲ以テ固ヨリ無用トスルニハ
アラサルナリ即チ役人ハ國家ノ安寧ヲ維持シ以テ直接ニ生産者ノ身體財産ヲ
安固ナラシムルヲ務トシ教師ハ少年子弟ノ知識ヲ啓キ以テ營業上新法妙案ノ

二

三

發明ヲ助ケ又徳義ヲ高クシテ以テ相互ノ信用ヲ厚クシ其營業上ニ効用アル實
ニ大ナリト謂フヘク醫師ハ又直接ニ生産者ノ健康ヲ保全シ以テ平生其病ノ日
數ヲ減スルコトヲ得テ勞力ノ效驗ヲ増加スルコトノ大ナルハ世人ノ熟知スル
所ナリ然レトモ此等ノ如キ間接生産者ノ數カ一般ノ人口ト不比例ニ多キトキ
ハ之ヲ以テ決シテ國家ノ利益ト稱スヘカラス畢竟世ニ此等ノ勞力ヲ要スルハ
人間ニ免レサル不完全ノ事アルニ由ルモノナレハ吾人ハ力メテ人間最高度ノ
地位ニ進ミ以テ斯カル間接生産者ノ數ヲ減少セサルヘカラス蓋シ人智進マサ
レハ惑心多ク隨テ多クノ僧徒ヲ要スヘク健康高カラサレハ醫師ノ數ヲ増加セ
サルヲ得ス惡人多ケレハ多數ノ法官代言人等ヲ要スヘシ故ニ若シ國民ヲシテ
性質ノ純良ト身體ノ健康トヲ兼有セシノハ大ニ間接生産者ノ數ヲ減スルコト
ヲ得テ此等ノ人ハ其高尚ナル教育ト聰明ナル智力トヲ以テ直接ニ農工商ノ業
ニ從事スルコトヲ得ヘク是ニ於テカ大ニ國家ノ富強ヲ發達スルヲ得ヘシ夫レ
教師醫師等ノ如キ高尚ナル事業ヲ爲ス者ハ寧ロ直接生産者ニ勝ルノ功アレハ
之ヲ以テ生産上無用視スルコトヲ得サルニハ相違ナシト雖モ今日此等ノ世ニ

的勞力ノ目

缺クヘカラサル所以ノモノハ畢竟スルニ人民ノ智力ト健康トカ未タ高度ニ達セサルニ基イスルモノ多シトス故ニ吾人ハ成ルヘク其原因ヲ矯メ以テ直接生産者ノ數ヲ人口ニ比例シテ増加スルコトヲ力メサルヘカラサルナリ

勞力ノ目的ハ力メテ徒勞ヲ避ケテ其效驗ヲ増加スルニ在リ故ニ勞力ハ之ヲ有效要急ノ事業ニ用フルヲ要シ無效不急ノ事ニ用フヘカラス彼ノ保護方策黨カ時未タ到ラス漁利未タ盡キサルニ農業ヲ起サントシ人口足ラス土地餘アリテ農利未タ充分ニ之ヲ収メサルニ既ニ工業ヲ起サントシ又煙草ニ適スルノ地ニ強テ桑ヲ植ヘ麥ニ適スルノ土地ニ茶樹ノ培養ヲ奨勵シ以テ番茶一斤ヲ得ルニ三弗ヲ費シ而モ且ツ經營數年終ニ業成ラスシテ之ヲ空シク枯死セシメタルカ如キハ皆是レ米國ノ實例ナリ勞力ヲ無效不急ノ業ニ費シタルノ最モ甚シキモノト謂フヘクシテ其經濟ノ旨趣ニ背戾スルコト實ニ大ナルモノナリ嗚呼勞力ノ使用上其方針ヲ選ハサルヘカラサル所以ノ者亦一ニ此ニ在リ元來勞力ノ效驗ヲ増加セント欲セハ其之ヲ用ヒントスルノ業ヲ選ムコトノ緊要タルハ固ヨリ言フ迄モナキコト乍ラ其選擇ノ如何ハ時勢ノ狀況ニ因リ千差萬別或ハ經濟

四

五

分業

上財政上ノ思想ヲ後ニシ兵事上政治上ノ急務ヲ先キニセサルヲ得サルコトアリ或ハ一般ノ社會進歩ノ爲メ計算上ノ利益ヲ犧牲ニ供セサルヲ得サルコトアリ以テ豫メ之ヲ座上ニ論定スルコト能ハサルハ勿論ナレトモ凡ソ何レノ場合ヲ問ハス大ニ勞力ノ效驗ヲ増加シ得ルノ方法ニ様アリ第一ヲ分業トシ第二ヲ勞力分類トス請フ少シク之ヲ辯セン

分業トハ各就業者ヲシテ各其分ヲ守ラシメ心身共ニ其事ヲ專ラナラシムルノ方法ナリ果シテ心身共ニ其業ニ專ラナルコトヲ得ハ人各其術ニ精巧ナルヲ得ル期シテ待ツヘシ而シテ尙モ其術ニ精巧ナルコトヲ得ハ善良ナル貨物ヲ廉價ニ製造スルコトヲ得ルヤ必セリ聞ク彼ノ留針ノ製造ニ於テハ同時ニ十人ノ勞力ヲ用ヒテ分業スレハ以テ一日五萬箇ヲ製造スヘク分業セサレハ以テ僅ニ二萬箇ヲ製造シ得ルニ過キスト云フ嗚呼分業ノ利モ亦實ニ大ナル哉

勞力分類

分業ノ發達シタルモノヲ勞力分類ノ法トス元來分業ノ利益タル前陳ノ如ク夫レ大ナリト雖モ單ニ分業ト云ヘハ男女老幼強弱ヲ問ハス甲勞力者ハ一業務ニ從事シ乙勞力者ハ他ノ一業務ヲ爲セハ以テ其意ニ背カサルヘシ然レトモ斯ノ

如クシテハ男女老幼強弱各其固有ノ性質ト長短トニ從ヒ業ヲ分ツテ得ス或ハ
 勞力ノ徒費ヲ免レサルコトアルヘシ今此等ノ性質ト長短ノ存スル所トニ從ヒ
 業ヲ分ツテ勞力分類ト云フ例ヘハ留針ノ製造ニ於テ針金ヲ製造スルニハ非常
 ノ腕力ヲ要スルヲ以テ之カ爲メニハ壯年ノ力量アルモノヲ用ヒサルヘカラス
 尤モ其針金ヲ適當ノ長サニ切ルカ如キハ腕力ヲ要セス又非常ノ熟練ヲモ要セ
 サルカ故ニ老幼ト雖モ尙ホ之ヲ能クスルヲ以テ壯年ノ力量者又ハ高價ノ勞銀
 ヲ要スル熟練家ヲ用フルニ及ハス然レトモ針ノ先キヲ尖ラシ又之ニ頭ヲ付ク
 ルノ業ハ熟練家ニアラスンハ得テ之ヲ爲スヘカヲサルヲ以テ之カ爲メニハ熟
 練家ヲ用ヒ留針指シノ紙ニ穴ヲ穿チ又ハ之ヲ人ル、箱ヲ張ルニハ壯年男子ヨ
 リモ却テ勞銀ノ廉ナル婦女子カ之ヲ能クスルヲ以テ茲ニハ婦女子ヲ用フルヲ
 良シトスルカ如キ由是視之男女老幼強弱熟練不熟練ニ因リ各其業ヲ分ツノ利
 益決シテ少小ニアラス勞力分類ノ法ハ亦分業ノ最モ發達シタルモノト謂フヘ
 キナリ

分業及勞力分類ノ區域

分業及勞力分類ノ利益大ナルコト凡ソ此ノ如クナリト雖モ一ハ以テ市場ノ需

要ニ制セラレ一ハ以テ營業ノ性質ニ因リ一ハ以テ社會一般ノ利益ノ爲メ極端
 ニ之ヲ推スコト能ハサルモノアリ抑生産ノ目的ハ消費ニ在リテ固ヨリ損失ニ
 アラサルナリ然ルニ世運未タ開ケス需用尙ホ多カラサルノ社會ニ於テ大ニ分
 業ヲ施行スルカ如キコトアレハ之カ爲メニ貨物ノ生産多キニ過キ供給需要ニ
 超過シテ營業者ノ損失ヲ來スヘシ然レトモ若シ此分業及勞力分類ノ法ニシテ
 悉ク各營業ニ行ハレ百般ノ營業者皆同比例ヲ以テ其供給ヲ増加シ互ニ購買力
 ヲ増加シテ相互ノ供給ヲ相互ニ需要シ盡スカ如キコトアレハ決シテ損失ヲ來
 スノ恐ナカルヘシト雖モ斯ノ如キハ假令同業者中タリトモ決シテ實地ニ望ム
 ヘキコトニアラス況ンヤ百般ノ事業ニ於テオヤ又農業ノ如キハ決シテ工業ノ
 如ク十分ニ分業ヲ行フコト能ハサルモノトス例ヘハ田作ノ種蒔ニ熟シ之ヲ以
 テ專業トスル者アレハトテ晚春初夏ノ候種蒔ノ季節ヲ除クノ外春夏秋冬トモ
 爲スヘキノ業ナキヲ奈何セン左レハトテ若シ種蒔ノ季節中ニ於テ此種蒔専門
 家ニ其以テ一年ヲ支ヘルニ足ル丈ケノ給料ヲ與フル事トセハ徒ニ農業ノ勞銀
 ナ高クシ偶以テ農産ノ發達ヲ妨クルニ過キス故ニ總テ季節時期ニ據リ勞働ヲ

異ニスル業ハ彼ノ年中一人ノ勞力者引續キテ同一ノ業務ヲ爲シ得ル製造業ノ如ク分業ヲ爲スコト能ハサルナリ夫レ農ハ季節ニ依リ又時期ニ依リテ大ニ其業務ヲ異ニセサルヲ得スシテ晝ハ耕耘ノ業ニ從事シ夜ハ繩草鞋等ヲ製シ側ラ牛馬ヲ飼ヒ農間ニアリテハ或ハ山ニ樵リ蕪ヲ市ニ鬻クカ如ク一身ヲ以テ種々異様ノ業ヲ爲サルヲ得サルハ世人ノ普ク知ル所ナレハ分業ハ均一ニ之ヲ百般ノ事業ニ及ホスコトヲ得サルヤ又多辯ヲ要セサルナリ且ツ若シ分業ヲ極度ニ推ストキハ人間ヲ殆ト器械同様ニ爲シ又其健康ヲ害スルコトナシトセス例ヘハ茲ニ一人アリ幼少ヨリ活版屋ニ備ハレ年五十二至ル迄活字拾ヒニ從事シ他ニ一事ヲ爲サハリシトセンカ此者固ヨリ其業ニハ非常ノ熟練ヲ得ルニ相違ナカルヘシト雖モ人間ノ事トシ云ヘハ活字拾ヒノ業ヲ除クノ外殆ト一事ヲ知ルコト能ハサルニ至ルヘシ斯ノ如キノ人物ニシテ社會ニ多キトキハ決シテ好マシキコトニアラサルナリ又茲ニ一人アリ市街ノ下水掃除ヲ專業トシ數年之ニ從事セリトセンカ此者亦下水掃除ニ非常ノ熟練ヲ得ルニ相違ナカルヘシト雖モ元來掃除業ノ如キハ固ヨリ精巧勞力ニアラサルヲ以

高尚ナル
事業ノ分

テ之ニ非常ノ熟練ヲ要セサルヤ必セリ故ニ此者ヲシテ永ク此不健康ナル事業ヲ爲サシメンヨリ時々違フタル人足ヲ備フ方便利ナルヘシ何トナレハ下水掃除ノ業タル一時之ニ從事スルモ敢テ健康ヲ害スル程ノ事ニアラスト雖モ一生涯毎日之ニ從事スルカ如キニ於テハ是レ頗ル不健康ノ業タルヲ免レサルヘケレハナリ左レハ分業ヲ極度ニ推シ及ホシテ人ヲ器械ノ如ク爲シ又ハ其健康ニ害アラシムルカ如キコトアルニ於テハ或ハ器械ヲ以テ之ニ換ヘ或ハ其分業ノ度ヲ弛メ以テ此害ヲ避ケサルヘカラサルナリ前陳ノ事ハ皆是レ手足ノ勞ヲ取ル者ノ分業法タルニ過キスト雖モ政治財政法律醫術等ノ如キ高尚ナル業ニモ自ラ分業ノ利ナキヲ得ス此等高尚ノ事業ニ從事スルモノニシテ各其分ヲ守リ其學ヲ講シ其術ヲ磨キ以テ其業ノ進歩ヲ計ルハ勿論ナレトモ其事タル廣ク他業ト相關係シ決シテ各自孤立スルヲ得サル者タレハ苟モ普通ノ學ヲ經過セスシテ當初ヨリ是等高等專門ノ學ニ入ルハ又得策ニアラサルナリ尤モ資力年齢其他已ムヲ得サルノ事故アルモノカ普通ノ學ヲ經スシテ直ニ專門ノ學ヲ修ムルカ如キハ格別ノ事ナレトモ成ルヘクハ普通

學ヲ以テ其學問ノ基礎ヲ廣クシ然ル後高等專門ノ學ニ入り深ク其蘊奧ヲ極メタル上ニテ高尚ノ事業ニ從事センコトヲ要ス若シ否ラサレハ自己ノ修メタル專門外ニ事業アルヲ知ラス又他業ノ效力ヲ解セスシテ之カ爲メ自己ノ事業ヲ擴張スル能ハサルノ恐アルヘシ故ニ分業ハ固ヨリ尊フヘキモノタルニ相違ナシト雖モ右等ノ事業ニ至リテハ彼ノ一業ハ他業ノ關係ヲ見ルニ及ハス專ラ一科ノ學ヲ修メハ他ハ之ヲ顧ミルヲ要セスト云フカ如キハ大ニ其當ヲ得サルモノトス而モ且ツ一人ニシテ各專門ノ學ヲ修メ各高等ノ事業ニ從事スルカ如キハ到底人間ノ爲シ能ハサル所ナレハ先ツ普通學ヲ以テ其學問ノ基礎ヲ作り此廣キ基礎ノ上ニ自己ノ專門ヲ築キ以テ之ヲ城郭トセハ五層ノ天主臺モ尙ホ之ヲ築クニ難カラス百萬ノ軍亦恐ル、ニ足ラサルナリ

日當リ及
箇數當リ

此ニ又人ノ勞力ヲ用フルニ日當リ箇數當リノ別アリ日當リトハ一日若干ノ勞銀ト定ムルヲ謂フ大工ノ手間賃ノ如キ即チ是レナリ箇數當リトハ仕事ノ出來高ニ應シ一箇若干ト勞銀ヲ定ムルヲ謂フ疊屋カ疊一枚ノ刺賃ヲ若干ト定メ出來高ニ應シテ勞銀ヲ受取ルカ如キ即チ是レナリ是レ孰レカ利ナリヤト謂フニ

二者ノ間互ニ得失アレハ一概ニ一ヲ取りテ一ヲ捨ル能ハス然レトモ要スルニ箇數當リハ粗製ニ流ル、ノ弊アレハ精巧ヲ尊フ勞力ノ報酬ハ日當リヲ良シトシ數量ヲ目的トスルモノハ箇數當リヲ良シトス又農業獸類ノ皮剝等ノ如キモ箇數當リヲ主張スル者アリト雖モ此等ノ事業ニ於テハ通例日當リノ方却テ便利ナルカ如シ例ヘハ一段歩ノ田地ヲ耕サハ幾許一段歩ノ稻ヲ刈レハ幾許一石ノ米ヲ俵造リニスレハ幾許ト豫メ其手間賃ヲ定メ置キ出來高ニ應シテ勞銀ヲ與フル事トセハ大ニ其業ヲ勵ミ頗ル便利ナルノ想ナキニアラサレトモ若シ斯ノ如クスルニ於テハ其耕ス時ハ深く鋤ヲ打込ミテ十分ニ土ヲ碎クコトヲ爲サス刈ル時ハ謹慎ヲ用フルコト密ナラサルカ爲メ動モスレハ穂ヲ落シ或ハ之ヲ害フノ恐アルヘク又俵造リヲ爲ス時ハ勢ヒ粗略ノ弊ニ流レテ往々多量ノ米粒ヲ地上ニ散失スル等ノ如キコトナキヲ保セサルヘシ故ニ人口尙ホ未タ多カラスシテ耕地甚タ廣ク只成ルヘク丈ク早ク正味サヘ取上クルコトヲ是レ爲サハ米粒ノ散失等ハ敢テ之ヲ意トスルニ足ラスト爲スカ如キ時期ニハ之ヲ箇數當リトスルモ敢テ差支ナカルヘシト雖モ農業既ニ高度ニ達シタルノ今日ニ於テ

資本ノ釋

資本ノ種類

ハ却テ日當リナ以テ便トスヘシ又彼ノ皮剝事業ノ如キモ箇數當リニテハ勞力者カ徒ニ數ノ多カラシコトヲ爭フテ動モスレハ皮ヲ破ルノ恐アルカ故ニ其尙ホ數量貴ノミチフ間ハ箇數當リモ可ナレトモ尙モ上等ノ皮革ヲ要スルノ今日ニ於テハ日當リノ方却テ利アリトス

資本ハ過去ノ勞力ノ結果ニシテ未タ消費シ盡サス以テ將來ノ生産ヲ資クルカ爲メニ用フルモノナリ請フ次ニロスシエル氏ノ説ニ從ヒテ資本ノ原素ヲ掲載セン

- 第一 土地改良ノ結果即チ原野ヲ灌漑シ匯沼ヲ疏通シ以テ水田ト爲シ森林ヲ開拓シテ陸田ト爲シ以テ耕耘ノ用ニ適セシムル等ノ類ナリ凡ソ此等ノ改良ハ皆是レ過去ノ勞力ノ結果ニシテ將來ノ生産ヲ資クルモノトス
- 第二 建物即チ住家倉庫器械室商店等是レナリ凡ソ此等ノモノハ又是レ皆過去勞力ノ結果ナリトス而シテ住家ナクンハ資本家勞力者ノ生活ヲ保ツコト能ハサルヘク倉庫器械室等ナクンハ將來ノ生産ヲ資クルコト能ハサルナリ
- 第三 道具器械及器具是レ亦過去勞力ノ結果ニシテ皆將來ノ生産ヲ資クルニ

- 必要缺クヘカラサルモノトス蓋シ道具トハ鋸鋤錐鋸等ノ如ク直接ニ手足ヲ以テ使用スルモノナシ云ヒ器械トハ米搗キ器械紡績器械等ノ如キモノナシ云ヒ人力蒸氣力若クハ水力等ハ只器械ヲ運轉スルノ力ヲ生スルニ止マリ一般ニ此力ヲ用フレハ之ヲ相傳ヘテ他ノ一方ニ於テ器械ノ運轉ヲ生スルモノトス器具トハ鍋釜ノ如ク直接ニ或ル用ヲ爲スカ爲メニ使用スルモノナシ云フ
- 第四 實用ニ供スヘキ家畜家禽即チ雞豚牛馬ノ類ナシ云フ
 - 第五 粗生品即チ製造ノ原質ニ供スヘキモノニシテ生綿生鐵材木等ノ類ナシ云フ
 - 第六 助成品即チ紺屋ノ染草獵夫ノ彈藥農家ノ肥料ノ如ク其業ニ於テ目的セル物品ノ一部分ヲ成スト雖モ其物ノ力ヲ假ラサレハ其業ヲ成シ又目的ノ物品ヲ得ルコト能ハサルモノナシ云フ
 - 第七 飲食物即チ之ヲ以テ生産者カ生産ノ業ニ從事シ居ル間其飢ヲ支ヘルモノナシ云フ
 - 第八 商品即チ商賈ノ其倉庫ニ藏シ又ハ店頭ニ羅列シテ購買者ヲ待ツ物品ナシ云フ

云フ

第九 貨幣即チ交換ノ媒助價格ノ標準トシテ世上ニ流通スルモノヲ云フ

第十 無形資本即チ才智藝能ノ如ク之ヲ使用シテ一國ノ財源ヲ發達シ得ルモノ又ハ有名ナル會社ノ得意ノ如キモノヲ云フ而シテ其才智藝能ノ如キハ其所有者ニ專屬スルモノナレハ固ヨリ之ヲ他人ニ傳ヘルコトヲ得ス(藝能ハ之ヲ教フルコトヲ得ルト雖モ唯其既ニ學ヒシ後ニ之ヲ傳ヘルコトヲ得ルノミ又得意ノ如キハ之ヲ傳ヘルコトヲ得ヘシ彼ノ俗ニ所謂ル得意先ヲ分ツ又ハ暖簾ヲ分ツト稱スルカ如キ即チ是レナリ)

固定資本及流動資本

資本ノ種類ハ概テ斯メ如シ今之ヲ大別シテ固定資本及流動資本ノ二種トス蓋シ固定資本トハ家屋器械等ノ如ク一度之ヲ設置セハ久シク其用ニ耐ヘ消費甚ク遅緩ナルモノヲ云ヒ流動資本トハ勞力者ニ勞銀ヲ支拂フ基金及粗生品ノ如ク一時ノ用ニ供シ速ニ運轉シ或ハ其處ヲ換ヘ或ハ其形ヲ變スルモノヲ云フ而シテ此流動資本ヲ更ニ細別シテ勞銀基金及粗生品ノ二種ト爲ス勞銀基金トハ一國資本ノ總額中勞力者ノ報酬即チ勞銀ノ支拂ニ充ツヘキ分ヲ云ヒ粗生品ト

六

七

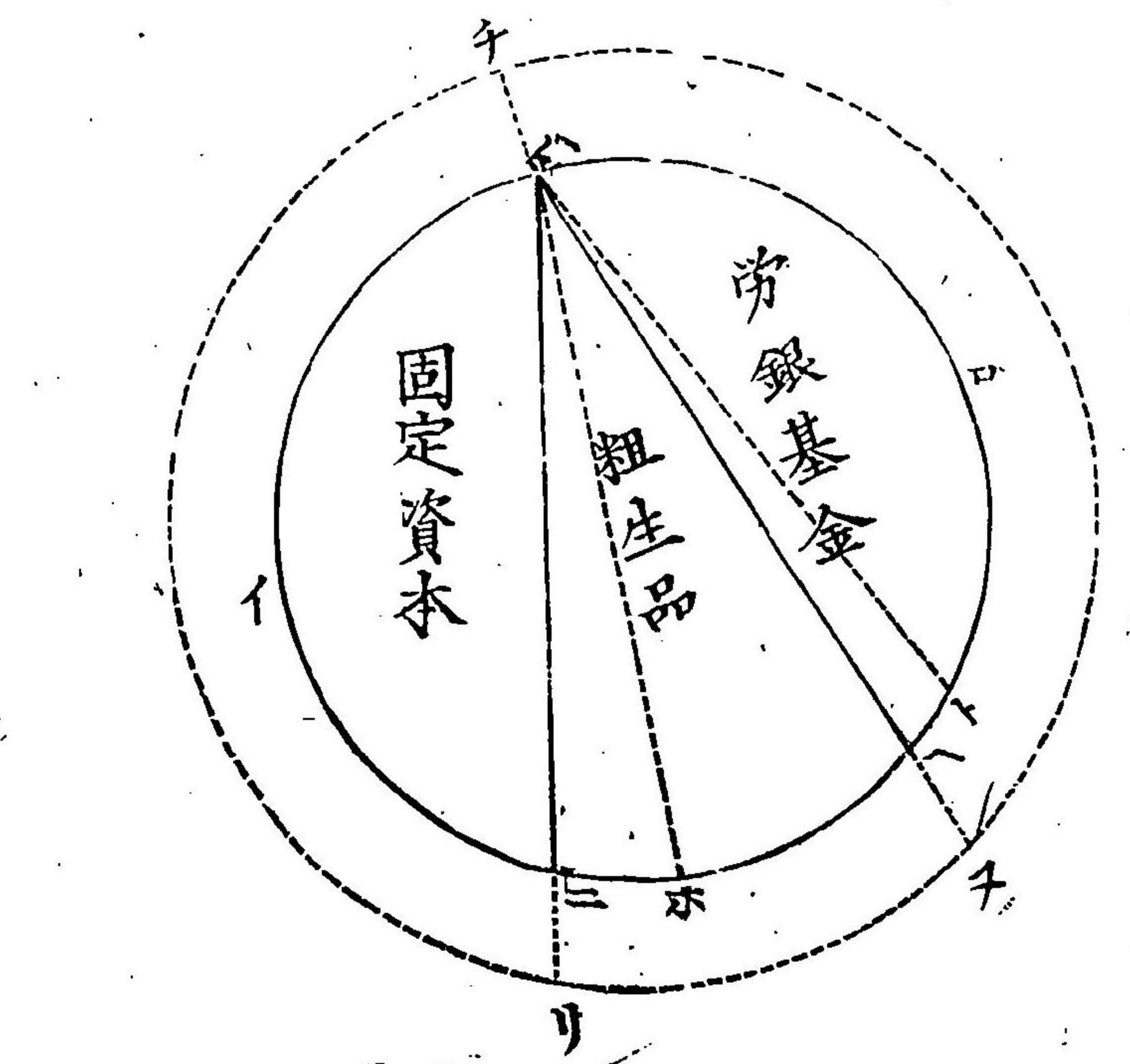
ハ製造ノ原質ト爲ルヘキモノヲ云フ然レトモ茲ニ於テハ粗生品購買ニ充ツヘキ基金ト見ル方便ナルヘシ請フ今一國資本ノ成立ヲ明ニセンカ爲メ左ニ一方式ヲ設ケテ之ヲ示サン

$$\begin{aligned}
 & \text{〔イ〕 一國資本總高} \\
 & = \text{〔ロ〕 固定資本} \\
 & \quad + \text{〔ハ〕 流動資本} \\
 & \quad \quad \quad \text{〔ホ〕 勞銀基金} \\
 & \quad \quad \quad \text{〔ニ〕 粗生品}
 \end{aligned}$$

夫レ一國資本ノ分ル、情況ハ概略右ニ掲出シタルカ如シ而シテ此方式中〔ロ〕〔ハ〕ノ關係即チ固定資本ト流動資本トノ關係能ク其比例ヲ保チ互ニ相翼クルコトナケレハ生産ノ發達得テ望ムヘカラサルナリ例ヘハ〔ロ〕カ不比例ニ大ニシテ〔ハ〕ノ内殊ニ〔ニ〕即チ粗生品ノ不足ヲ告クルカ如キコトアラハ之カ爲メ却テ一時〔ロ〕即チ器械ノ運轉カ停止シ又ハ既設ノ器械中二分一若クハ三分一ノミヲ使用シ

置キテ他ハ皆徒ラニ腐朽ニ歸セシメサルヲ得サルカ如キコトアルヘシ又之ニ反シテ(ハ)就中其内ノ(ニ)カ不比例ニ大ナルカ如キコトアレハ(一)國ノ資本ヲシテ不比例ニ多ク粗生品ノ購買ニ用フルヲ云フ之カ爲メ(ロ)即チ固定資本ノ缺乏ヲ生スルハ勿論(ハ)ノ内ニテモ(ホ)即チ勞銀基金迄モ(ニ)即チ粗生品ノ爲メ其高ヲ蠶食セラレテ器械勞力共ニ缺乏ヲ來シ徒ニ粗生品ヲ以テ倉庫ヲ充タサ、ルヲ得サルニ至ルヘク又(ホ)カ不比例ニ大ナルトキハ之カ爲メ器械ノ進歩粗生品ノ改良ニ供スヘキ資本ヲ缺キ農工百般ノ事業ハ得テ發達スヘカラサル事ト爲ルヘシ又(イ)即チ一國資本總高ノ未タ増加セサルニ當リテ俄ニ(ロ)ヲ増加スルカ如キコトアレハ勢之ヲ(ハ)ニ供スヘキモノヨリ取ラサルヲ得ス隨テ(ホ)ニ(ニ)ノ基金尠キヲ加フルハ必然ナリトス是ニ於テカ其折角増加シタル新設ノ器械モ之カ爲メ其運轉ヲ爲スノ元資タルヘキ粗生品ヲ得ルコト能ハス其勞力者モ其勞力ヲ試ミルノ所ヲ失ヒ巧妙ノ器械却テ有害ノ障礙物ト爲ルノ歎アルヲ免レサルナリ今復タ事ノ解シ易カラシカ爲メ圖解ヲ以テ其然ル所以ヲ示サン

四〇



經濟大意

(イ)(ニ)ノ部分ヲ固定資本トシ
 (ハ)(ニ)(ハ)ノ部分ヲ粗生品トシ
 (ハ)(ロ)(ハ)ノ部分ヲ勞銀基金トシ
 シ先ツ其分配ノ模様ニテ資本ノ三區分其當ヲ得タルモノトセン然ルニ(イ)(ハ)(ロ)(ハ)(ニ)ノ圓線畫依然トシテ動カサルニ俄然(ハ)(イ)(ニ)ノ部分ヲ増加シテ(ハ)(イ)(ホ)ノ部分ヲ以テ固定資本ノ區域トセハ粗生品ト勞銀基金トノ減少ハ到底免ル、コト能ハスシテ粗生品ハ(ハ)(ホ)(ト)ニ勞銀基金ハ(ハ)(ロ)(ト)ニ其區域ヲ狭メラル

四一

へ然レトモ若シ粗生品ノ部分ヲ從前ノ大サ通リト爲シ置ク歟又ハ新ニ増加シタル固定資本ノ所要ニ應スルカ爲メ此部分ヲ從前ヨリ大ニ爲ス歟ノ如キコトアラハ勞銀基金ノ部分ハ益減少シテ勞力者ノ困難ハ謂フ迄モナク甚キニ至リテハ或ハ之カ爲メ勞力ノ效驗ヲ失ヒテ終ニハ此勞力者ヲ使用スル資本家ノ損失トナルカ如キコトナキヲ保セス故ニ苟モ此資本三區分ノ比例ヲ失ハス以テ生産ノ効驗ヲ減セス又一國ノ經濟ヲ紊サスシテ安全ニ固定資本ヲ増加シ得ルモノハ唯一國ノ資本總額ヲ増加スルヨリ他ニ方策ノ存スルナシ即チ前圖ニ於ケルカ如ク資本總額タルイハロヘニテ増加シテ(リ)ニ(ス)ノ圍點線畫ト爲スニ於テハ以テ右三區分ハ毫モ其比例ヲ失フコトナク三部分均シク増加シテ固定資本ハ(チ)リ(粗生品)ハ(チ)リ(勞銀基金)ハ(チ)ニ(ス)ノ部分ヲ保ツコトヲ得ヘシ吾人ノ望ム所ノモノハ實ニ此増加ニアリ彼ノ資本總額ハ依然トシテ動カス只其一部分ニ不比例ノ増加アルカ如キハ固ヨリ吾人ノ好ム所ニアラサルナリ然レトモ果シテ一國ノ資本總額カ右ノ如ク増加スルニ於テモ其増加シタル資本カ實際上主トシテ農業ニ用ヒラル、ト工業ニ用ヒラル、トニ於テ資本分配ノ比例

二

三

チ同クセス請フ少シク之ヲ辯セシ

資本ノ三區分ハ性質ニ由リ其比例ヲ異ニス

北米合衆國及濠洲諸殖民地ノ如キ人口未タ足ラヌ沃野千里ニ連レル國ニ於テハ農利ノ盛ナル固ヨリ論ヲ俟タヌ夫レ農業ハ工業ノ如ク高價ノ器械ヲ要セスシテ其要スル所ノモノハ主トシテ勞力ニ在リ故ニ此等ノ國ニ於テハ勞銀基金ノ割合一國ノ資本總高ニ比較シテ多カラサルヲ得ス之ニ反シテ白耳義英吉利ノ如キ國ニ於テハ人口餘リアリテ土地足ラサルカ故ニ勞工業ヲ盛ニセサルヲ得ス然レトモ工業ハ巨大高價ノ器械ヲ要シ國中ノ資本總高中固定資本ノ其重要ナル部分ヲ占ムルハ又數ノ免ル、能ハサル所ナリトス故ニ前圖ノ如ク一國ノ資本總高増加シタルトキハ其増加シタル部分ハ主トシテ工業ノ爲メニ用ヒラレ固定資本ノ區域其増加ノ大部ヲ占メ粗生品勞銀基金ノ部分ハ只固定資本ノ増加ヲ支フル丈ケノ増加ヲ示スニ止マルヘシ又之ニ反シテ其増加シタル資本ノ主トシテ農業ノ爲メニ用ヒラル、ニ於テハ勞銀基金ノ區域ニ重ナル増加ヲ來スヘシ果シテ然ラハ甲乙兩國ニ於テ其資本總額ハ同額ナリト雖モ其國重要ナル營業ノ性質ニ從ヒ又同シク一國中ニテモ資本總額ノ増加スルニ及ヒ其

資本ヲ得ルノ困難

主トシテ農業ニ用ヒラル、ト工業ニ用ヒラル、トニ於テ勞力者ノ利益ニ著シキ差違アルモノトス然レトモ尙モ資本ニシテ増加スルニ於テハ勞力ノ需要自ラ生シ此増加シタル資本ハ假令主トシテ固定資本ノ爲メニ使用セラル、ト雖モ差向幾分カハ勞力ノ需要ヲ増加スヘク又此増加シタル固定資本果シテ其用ヲ爲スヘシトスレハ將來ニ於テ大ニ資本ヲ増加スルノ效驗アルヲ以テ此増加ハ到底勞力者ノ利益ニ歸スルヤ亦敢テ疑ヲ容レサルナリ

資本ハ過去ノ勞力ノ結果ニシテ未タ消費シ盡サ、ルモノナレハ其苟モ之ヲ得ルニハ只勞力ヲ施シテ之ヲ得之ヲ生産スルヲ以テ足レリトセス必ス其得タルモノヲ貯蓄セサルヲ得ス然ルニ大古草昧ノ世農工ノ業開ケス人民食ヲ山野水邊ニ求ムルノ時ニ於テハ固ヨリ今日ノ如ク前世貯蓄ノ餘裕ヲ受ケテ農ノ生産スルモノハ工更ニ之カ用ヲ増シ工ノ製造スルモノハ商之ヲ其需要アル處ニ分配シ事業連絡以テ其生計ヲ易クスルノ術アルコトナク隨テ得レハ隨テ消費シ衣食ヲ求ムルニ唯是レ汲々トシテ未タ餘裕アルコトヲ得サリシナリ而シテ貯蓄ハ目下現ニ得ヘキノ快樂ヲ棄テ、其尙ホ知ル能ハサル未來ノ爲メヲ計ルモ

ノナレバ開明ノ人ト雖モ尙ホ或ハ之ヲ難シトス況ンヤ未開野蠻ノ人民ニ於テオヤ彼ノ亞米利加亞弗利加等ノ土人カ始メテ耕耘ノ業ヲ開明國ノ人ニ學ヒタル頃ニ當リ五穀ノ種子ヲ得レハ即チ之ヲ食食シタルカ如キハ又以テ怪ムニ足ラサルナリ凡ソ勞働ハ今日ノ生計ノ爲メノミニスルモノト雖モ尙ホ人ノ難シトスル所ナリ況ンヤ其生計ヲ全クシタル上貯蓄ヲ爲スニ於テオヤ其事ノ困難ナル更ニ數層ヲ加フルモノアルハ言ヲ俟タサルナリ然ルニ資本ノ蓄積ハ此兩者ヲ兼要スルモノナレハ其得易カラザルコト固ヨリ論ヲ俟タス故ニ人智漸ク開ケ未來ノ以テ慮ルヘキヲ知リ制度文物漸ク整ヒ節儉ノ結果ヲ未來ニ収メ得ルノ望ヲ確然豫期シ得ルノ世ニアラサレハ則チ貯蓄ノ念ヲ喚起スルコト極メテ難シトス而シテ其始メニ於テハ殆ト必要ノ衣食ヲ缺キテ之ヲ貯蓄セサルヲ得ス嗚呼資本増殖ノ難キ夫レ斯ノ如シ然レトモ之ヲ増進スルノ術亦自ラ備ハル宜シク教育ヲ盛ニシテ人智ノ發達ヲ謀リ人民ヲシテ未來ノ以テ慮ラサルヲ得サル所以ヲ知ラシメ制度文物ヲ整頓シ以テ資財ノ道ヲ開キ國民ヲシテ現在ノ勤勉節儉ノ結果ヲ未來ニ全クスルヲ得セシムヘシ果シテ然ラハ資本ノ増殖

資本ノ効力

亦何ソ之ヲ難シトモ夫レ資本ノ貯蓄ハ勞力ト忍耐トノ結果ナリ而シテ其勞力ト忍耐トヲ獎勵スルニハ人智ノ發達ト制度文物ノ整頓トニ依ラサレハ則チ能ハス然ルニ苟モ其之ヲ力メス或ハ特ニ一事業ヲ惠愛シ或ハ勞力者ニ特惠ヲ與フルカ如キ(米國ニ於テ勞働時間ヲ八時間トスルカ如シ)其他種種ノ奇策怪説ヲ唱ヘテ以テ資本ノ増殖事業ノ擴張ヲ謀ラント欲スルカ如キハ是レ固ヨリ資本増殖ノ道ニアラサルナリ此ニ人アリ一説ヲ唱ヘテ資本ノ増殖事業ノ發達ヲ計ラントスルニ際シ其説果シテ勞力ヲ獎勵シ貯蓄ヲ誘導スルノ實アラハ余輩或ハ之ニ左袒スヘシ苟モ其實ナキニ於テハ是レ無用若クハ有害ノ説タリ又何ソ之ヲ願ミルニ暇アラシヤ

元來資本ハ將來ノ生産ヲ資クルモノナレハ若シ之ナキニ於テハ勞力者カ生産ニ從事シ居ル間之ニ衣食住ヲ給スルコト能ハス又工業ノ爲メ粗生品農業ノ爲メ種子肥料ヲ給スル等ノ事ヲ爲スコト能ハス生産ヲシテ循環連絡以テ間斷ナカラシムルコト能ハス果シテ然ラハ生産ノ發達得テ望ムヘカラサルナリ試ニ思ヘ餘塞未タ除カスシテ冬衣未タ重キヲ感セサルノ日ニ於テ商賈ノ店頭早ヤ

六七

土地

已ニ春衣ヲ備ヘ織機既ニ夏衣ノ製造ヲ試ミ又製絲ノ器械ハ已ニ次ノ冬衣ノ爲メニ忙ハシ事業ノ循環連絡スル夫レ斯ノ如シ而シテ其能ク此ノ如クナルコトヲ得セシムルモノハ是レ資本ノ力ニアラスシテ何ソヤ若シ夫レ資本ヲシテ不十分ナラシメンカ春衣ヲ賣リ盡シタル後ニアラサレハ夏衣ノ製造ヲ爲スコト能ハス又夏衣ヲ賣リ盡スニアラサレハ冬衣ノ爲メ製絲器械ノ運轉ニ著手スルコトヲ得サルヘシ農商ノ業ニ於ケルモ亦然リ春夏ノ候其田ヲ耕シ其稻ヲ養ヒ徐ラニ秋穫ノ稔ルヲ待チテ貨物ヲ千里ノ外ニ送り泰然トシテ其収利ヲ期スルコトヲ得ルモノハ過去ノ勞力ト節儉ノ結果即チ資本ノ力カニ頼ラスシテ何ソヤ由是觀之資本ハ事業ヲ連絡シ之ヲシテ循環時ヲ失ハシメス以テ生産ヲ増加シ國家ノ發達ヲ助クルコト甚タ大ナリト謂フヘシ是レ之ヲ以テ生産上三大要物ノ一ト爲スハ實ニ故アルナリ

生産ニ缺クヘカラサル第三ノ要物ヲ土地トス蓋シ土地トハ原野、山林、沼澤、河海ヲ稱總スルノ謂ナリ例ヘハ茲ニ一國アリ假令資本ニ富ミ人口モ亦乏シカラストスルモ若シ耕スヘキノ原野ナク採伐スヘキノ森林ナク採掘スヘキノ鑛山ナ

ク獵スヘキノ山野漁スヘキノ河海ナクンハ其資本モ遂ニ放下スヘキノ途ナク其勞力モ遂ニ用フヘキノ處ナキヲ奈何セン土地ノ生産ニ必要ナル又辯ヲ要セサルナリ然レトモ若シ始メヨリシテ右ノ如ク耕スヘキノ土地獵スヘキノ山野等全ク之ナキニ於テハ固ヨリ人口ノ増殖資本ノ蓄積得テ望ムヘカラス又人口資本ノ事ヲ論スルニ由ナカルヘシト雖モ其已ニ一國ヲ成シタル後人口資本共ニ餘リアルモ土地足ラサルカ如キコトアレハ頗ル不便ヲ感スルモノナシトセズ彼ノ英國白耳義ノ如キ即チ是レナリ故ニ英國ハ工業ヲ盛ニシ以テ其不便ヲ避ケ白耳義ノ如キハ他國ニ於テハ棄テ、顧ミサル土地ト雖モ尙ホ能ク資本勞力ヲ加ヘテ其耕耘ヲ務ムルハ人ノ熟知スル所ナリ即チ彼ノフランドル海岸ニ沿ヒタル砂地ノ如キハ殆ト砂漠ニ類シ草木モ得テ其生ヲ保ツコト能ハサル程ニ甚シキ瘠礫ノ土地ナレトモ白耳義人ハ尙ホ之ヲ棄テス初メ先ツ之ニ「ブル」
 ▲樹漢名ヲ金雀花ト稱シ枝多キ灌木ニシテ黄色ノ花アリ能ク砂地ニ産スヲ植付ケ以テ其根ニ由リテ砂ヲ固メ又其葉ノ落チテ腐朽シ以テ其地ノ肥ヘルヲ待チテ其糞ニ植付ケタル「ブル」樹ヲ伐リ之ヲ薪トシテ市ニ鬻キ其代價ヲ以テ

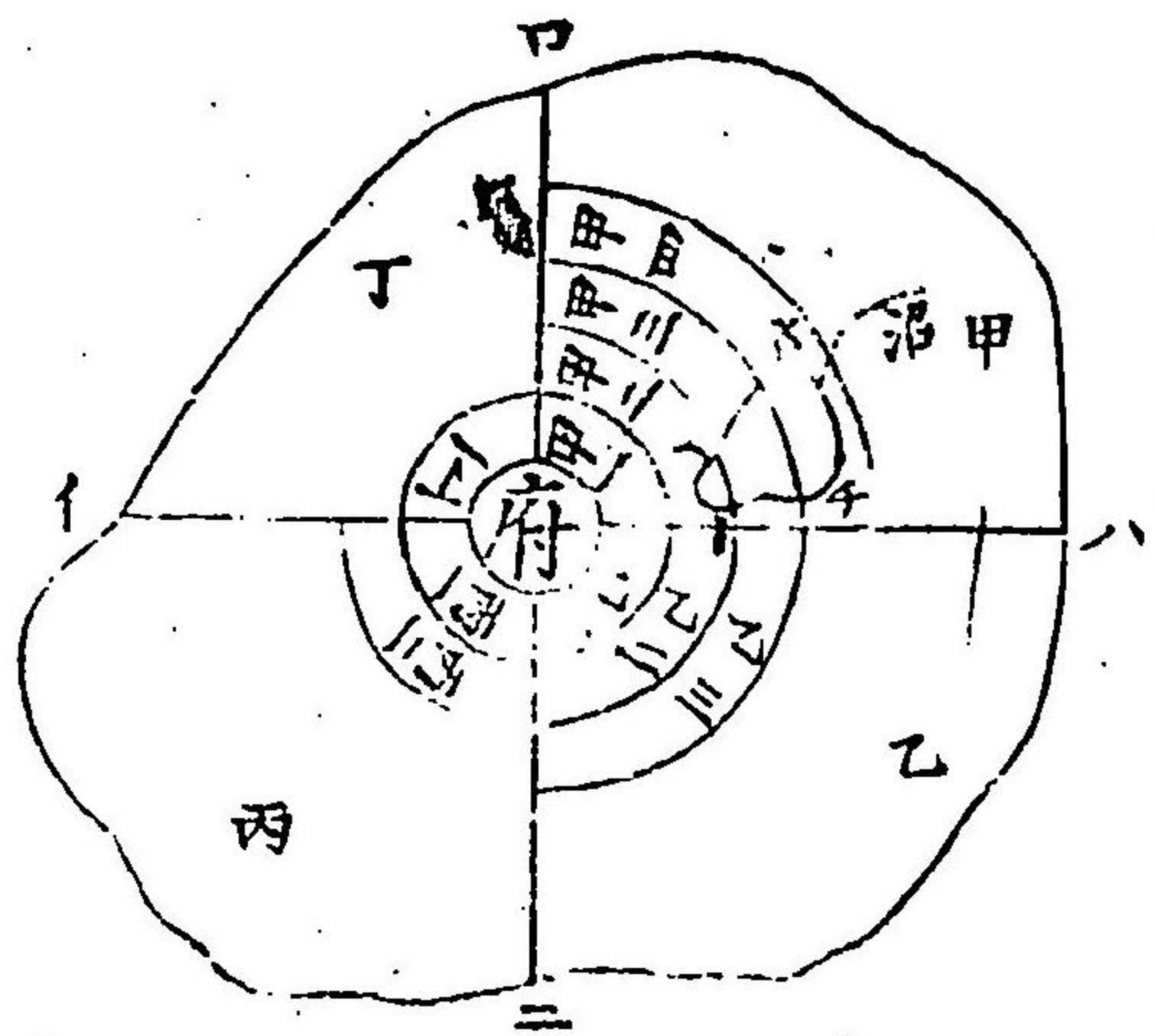
土地ノ生産力

肥料ヲ購ヒ得テ先ツ蕪ヲ其土地ニ作り且ツ其地ニ羊ヲ牧シテ之ニ此蕪ヲ與ヘ以テ其糞汁ヲ地上ニ散布シテ其地ノ一層肥ヘルヲ待テ初メテ之ニ麥ヲ耕作スルト云フ嗚呼其勞亦想フヘキナリ之ニ反シテ北米合衆國ノ如キハ固ヨリ土壤廣クシテ餘リアレハ斯ノ如キ土地ハ棄テ、之ヲ顧ミス只膏腴ノ地ヲ選ミテ之ヲ耕作スルノミ是ヲ思ヒ彼ヲ思ヘハ土地ノ生産ニ要用ナルコト蓋シ思ヒ半ハニ過クヘシ

凡ソ土地ノ生産力ハ地味ノ肥瘠ニ由リテ大小アルコト固ヨリ少カラスト雖モ單ニ此肥瘠ノミヲ以テ之カ生産力ノ多少ヲ斷スヘカラス其市場ト通スルノ遠近難易及資本勞力ノ景況等モ亦以テ之ヲ考ヘサルヲ得サルナリ元來生産力トハ生産物ノ其生産者ニ利益ヲ與フルノ力ヲ謂フモノナレハ試ニ今唯其地味ノ膏腴ナルノミヲ以テ生産力多シトセンカ亞非利加洲若クハ南亞米利加洲ノ中央ノ如キ其草木ノ繁茂スル禽獸蟲蛇ノ多キ又近隣蕃民ノ耕作ノ景況例ヘハメ
 キシコノ或ル地方ノ如キハ一家ノ主人タル者一週間ニ唯二日ノ勞力ヲ以テ能ク一家數口ヲ養フニ足ルト云フ是レ他ナシ元來同地方ハ芭蕉ノ實ヲ常食ト爲

シ居ル所此芭蕉ノ實ト云フハ之ヲ麥ニ比スレハ廣袤相均シキ土地ニ之ヲ耕シテ其收穫ハ以テ能ク二十五倍ノ人口ヲ養フニ足ルヘク而シテ其耕作ハ之ヲ麥ノ耕作ニ比シテ其難易固ヨリ同日ノ論ニアラス只新芽ヲ發スル季節ニ四周ノ地ヲ少シク軟柔ナラシムレハ則チ足レリ故ニ歐洲人ノ此地方ニ遊フ者人口ニ比シテ其耕地ノ少キニ驚クト云フヲ以テ之ヲ見レハ其地方ノ豊饒ナル地球上恐クハ其右ニ出ツルモノナカルヘシ然レトモ今若シ此等ノ土地ニ至リ五穀ヲ耕シ以テ之ヲ開明國ノ市場ニ鬻カント欲セハ其當初資本勞力ヲ之ニ移スコトノ難キト運搬ノ不便ナルトニ由リ爲ニ非常ノ高價ヲ求メサルヲ得ス果シテ然ラハ勝チ市場ニ制スルコト能ハスシテ忽チ敗チ招キ以テ損失ヲ來スヤ必セリ是レ地位ノ便不便ハ土地ノ生産力ニ大關係アリテ地味膏腴ノ一事ノミチ以テ其功ヲ全クスル能ハサル所以ナリ然ルニ此ノ如キハ固ヨリ極端ノ例ヲ示スモノナレハ實際ニ於テハ彼カ如ク甚シキ場合ニ遭遇スルコト蓋シ稀ナルヘシト雖モ理ニ於テ敢テ妨ケナカルヘク又一國一郡中ニテモ前陳ノ理ハ十分ニ其働キヲ示シ居ルモノトス請フ今圖解ヲ以テ其然ル所以ヲ示サン

左ノ圖ニ於テイロハニノ郭内ナ一國トシ其中心ニ人民相集リテ一府ヲ爲スモノトト假定シ而シテ其土地ヲ豊饒ノ度ニ因リ甲乙丙丁ノ四等ニ區別スルトセン然ラハ則チ其第一ニ市民ノ耕スヘキ部分ハ甲等ノ土地ニシテ府内市街ニ接シ



タル甲一ノ部分タルヘク其漸ク人口増加スルニ及ヒテ甲一ノ地ヲ以テ之カ衣食ヲ支フルコト能ハサルニ至ルトキハ乙一又ハ甲二ノ部分ヲ耕作スヘシ蓋シ乙等ノ土地ハ其豊饒ノ度ニ於テハ固ヨリ甲等ノ土地ニ及ハスト雖モ乙一ハ其府内市街ニ接スルノ故ヲ以テ甲二ヨリハ運搬ノ便アレハ甲二ノ豊饒ナルモ乙一二ニ比シテハ土地ノ遠隔ナルヲ以テ其收利ノ力乙一ニ超ユルコト能ハス故ニ乙一ト甲二トハ生産者ノ爲メ同一ノ地位ニ立ツモノト謂フヘシ又人口更ニ増加シテ甲一及甲二若クハ乙一ノ地ヲ以

テ之ヲ支フルコト能ハサレハ〔甲三〕乙二若クハ〔丙一〕ノ地ヲ耕スニ至ルヘシ是レ
 〔丙一〕ハ前陳ノ理ニ因リ生産者ノ爲メ乙二及甲三ト其收利ノ力均シクスレハ
 ナリ而シテ人口更ニ又増加スルニ至リテハ〔甲四〕乙三〔丙二〕若クハ〔丁一〕ノ地ヲモ
 耕スヘシ之ヲ要スルニ一國人口ノ増加スルニ從ヒ土地豊饒ノ度ト其位置ノ便
 利トニ因リテ益耕地ヲ擴張スルモノトス是ニ於テ土地ノ生産力ハ只地味膏腴
 ノ一事ヲ以テ決スルコト能ハサル所以ヲ知ルニ足ルヘキナリ
 然レトモ土地ノ生産力ヲ斷スルニハ資本勞力ノ景況亦以テ考ヘサルヘカラサ
 ルモノアリ請フ其然ル所以ヲ説カン例ヘハ前記ノ圖中甲等ノ土地中〔三〕ホヘト
 チノ如キ一沼アリト假定セヨ若シ此沼ヲ疏通シ以テ其地ヲ水田ト爲サハ其膏
 腴ナル蓋シ此田地ノ右ニ出ツルモノナカルヘク且ツ右ノ例ニ據レハ此沼ハ又
 府内市街ニ遠カラサルカ故ニ果シテ之ヲ水田ト爲スニ於テハ非常ノ收益アル
 ニ相違ナカルヘシト雖モ元來沼澤ヲ疏通シテ水田ヲ開拓スルカ如キハ巨額ノ
 資本勞力ト精巧ナル藝術トヲ要スルノ一大事業ナレハ其未タ資本勞力ノ供給
 多カラス且ツ測量治水等ノ術未タ十分ニ開ケサルノ時ニ於テハ此ノ如ク唯未

來ノ收利ヲ期スルノミニテ目下ノ收穫ナク加フルニ一時莫大ノ事業ニ巨額ノ
 資本ト衆多ノ勞力トヲ費スコト能ハサルハ勿論良シヤ之ヲ費スナ得ルトスル
 モ測量治水等ノ術未タ精巧ナラサルカ爲メ急ニ右等ノ改良ヲ成遂クルノ運ニ
 至リ難クレハ只其沼ノ周圍ヲ耕スヲ以テ満足セサルヲ得サルナリ然ルニ若シ
 是等ノ事情アルヲ察セス資本勞力未タ裕ナラサルニ已ニ此等ノ改良ニ著手ス
 ルカ如キコトアレハ却テ目下衣食ノ急ニ迫リ終ニ其事業ヲ中途ニシテ廢セサ
 ルヘカラサルニ至ラン此外又原野ノ灌溉森林若クハ山岳ヲ隔テタル土地ノ開
 墾等總テ巨額ノ資本勞力ヲ要スルモノハ假令其地味ハ現在ノ耕地ヨリ數等膏
 腴ナルモ未タ以テ直ニ之ヲ耕スコト能ハスシテ先ツ資本勞力ノ増加ヲ待チ精
 巧ナル藝術ノ補助ヲ得サルヘカラス由是觀之資本勞力ノ景況モ亦土地ノ生産
 力ヲ斷スルニ最モ重大ナル關係ヲ有スル所以ヲ知ルニ足ルヘシ即チ土地ノ生
 産力ハ地味ノ肥瘠地位ノ便否資本勞力ノ景況如何ニ由リテ定マルモノト謂フ
 ヘキナリ

夫レ土地ハ能ク草木ヲ養フノ力アリト雖モ之ニ人工ヲ加フルニアラサレハ以

收穫法則

テ人間ノ用ニ供スルニ足ラス即チ之ヲ耕シ之ヲ耘リ之ニ蒔キ之ニ培フ等皆是レ人工ニアラサルハナシ之ヲ稱シテ耕耘ノ業ト云フ而シテ其之ヲ爲スニハ農具種子肥料等ノ資本ナカルヘカラス又勞力ナカルヘカラス以テ之ヲ土地ニ施シ茲ニ資本勞力土地ノ三者相待チテ耕耘ノ業甫メテ成ルモノト謂フヘシ然レトモ土地ノ生産力自ラ亦限アリ假令之ニ際限ナク資本勞力ヲ加フルトモ決シテ其割合ニ之カ收穫ヲ増加スヘキモノニアラサルナリ抑農夫ノ勤勉ナルモノハ一人ノ力ヲ以テ年中斷ヘス一町歩ノ土地ヲ耕シ之カ作物ヲ彼レ是レ轉換シテ交互之ヲ植換ヘ以テ寸間モ土地ヲ遊ハセルコトナクシテ甫メテ最大ノ收利ヲ得ルモノナリト云ヘリ果シテ然ラハ耕地ハ一人ニ付キ若シ一町歩ヲ超過セハ農夫ノ力足ラサルヘク一町歩ニ足ラサレハ農夫全力ヲ盡スノ處ナカルヘシ例ヘハ當初未タ人口繁殖セサル時ニ當リ一人ノ耕夫ニテ五町歩ノ土地ヲ耕シ居ルモノト假定セヨ凡ソ此ノ如キ時期ニ於テハ人口其一人ヲ加フル毎ニ農産物ヲ増加スルコト一人ノ全力ヲ盡シ得ル丈ケニ達スヘク又是レ迄一人ノ耕夫ニテ耕シ來リタル五町歩ノ土地ニ五人ノ耕夫ヲ出スニ至ルマテハ耕夫一人ヲ

加フレハ其レ丈ケ土地ノ生産力ヲ増加スルコトヲ得テ是迄一人ニシテ右ノ如ク五町歩ノ土地ヲ耕シ居リタル時ヨリモ必スヤ其五町歩中ノ各一町歩ノ生産力ヲ増加スヘキナリ然レトモ其既ニ人口大ニ増加シテ一町歩ニ二人若クハ二町歩ニ三人ノ耕夫アルニ至レハ勞力餘リアリテ土地足ラヌト謂フヘシ是レ即チ一人ノ勞力ニテ耕シ得ヘキ地面チ一人半又ハ二人ニテ耕スモノナレハ之カ爲メ二分ノ一若クハ二倍丈ケ其收穫ヲ増加スヘキカト云フニ固ヨリ一株ノ稻チ二株ニスル能ハス一本ノ大根ヲ植ユル場所ニ二本ノ大根ヲ植ユルコト能ハサレハ只從前ヨリモ深ク土ヲ掘リテ能ク之ヲ碎キ且ツ雜草害虫ノ驅除能ク行届キテ培養十分ナルヲ得ルヨリシテ幾分カ稻穗若クハ大根ヲ大ナラシムルコトヲ得ヘキノミ又肥料ヲ施スニ於テモ自ラ際限アルモノニテ唯肥料ヲ施スコト多シト雖モ必スシモ收益ヲ増スヘキモノニアラス過量ノ肥料ハ却テ作物ニ害アリ例ヘハ三百キログラムニキログラムハ凡ソ我カ二斤半ノ「グワノ」(「グワノ」ハ海鳥ノ糞ニシテ白露國ノ名産ナリ)ヲ用フレハ三年ノ間ニ「エクタ」(「エクタ」ハ我カ一町一段餘ニ當ル)ニ付キ乾草ノ收穫二千四百六十九キログラムヲ

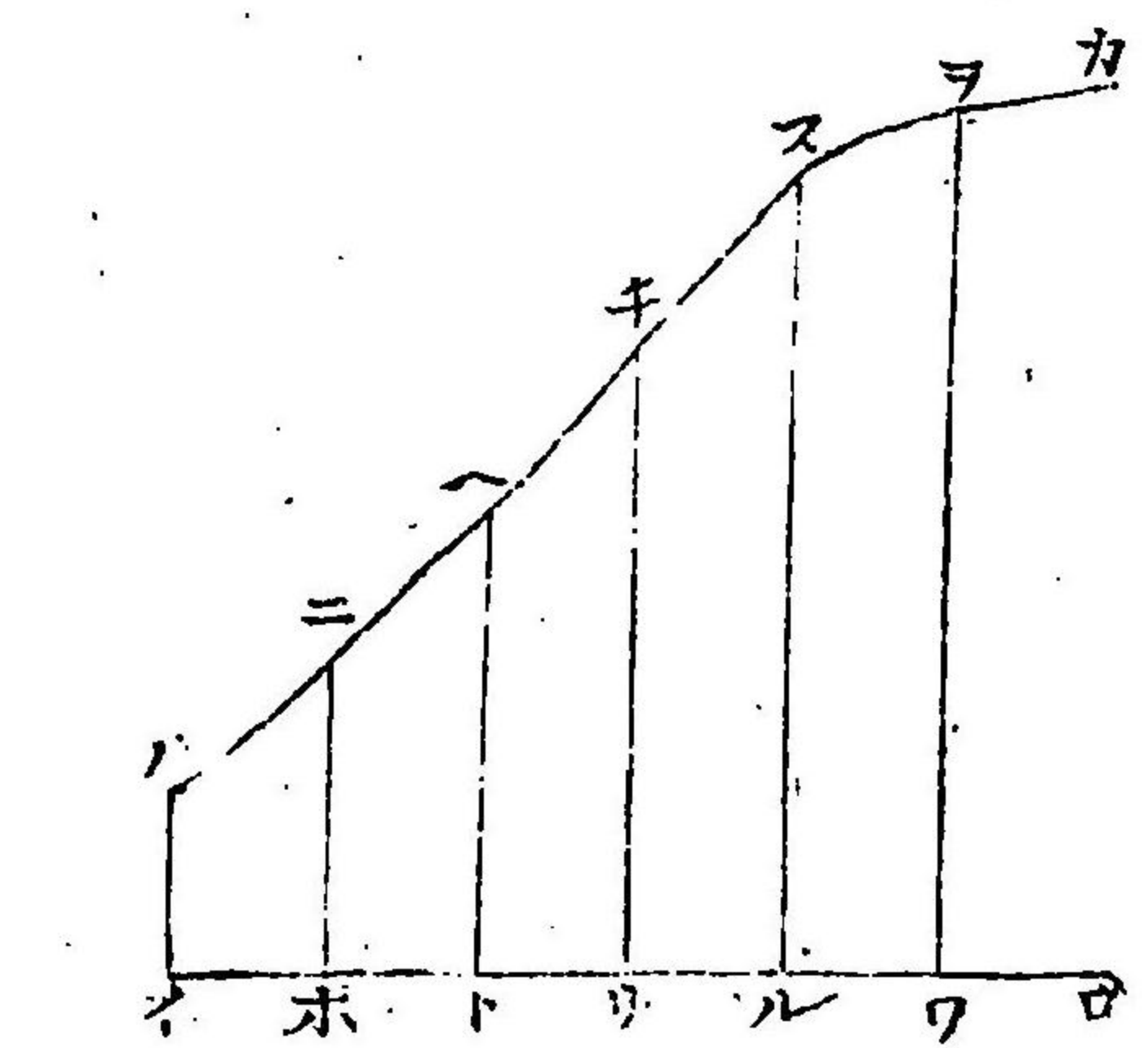
増加スルヲ得ヘキヲ通例トスルヲ以テ今六百キログラムノ「グワノ」ヲ用フレハ
 收穫ハ右ニ倍シタル増加ヲ爲スヘキカト云フニ決シテ然ラス其肥料増加ノ割
 合ニ收穫ヲ増加スルコトヲ得スレテ僅ニ二千八百七十キログラムニ増加スル
 ニ過キスト云フ又鹽ヲ肥料ニ用フル場合ニ於テハ四十キログラムニ極度トシ
 若シ其極度以上ニ及ヘハ分量ヲ増加スル毎ニ收穫ヲ減シ分量愈増加スレハ收
 穫愈減少シ終ニ土地ヲシテ耕耘ノ價ナキニ至ラシムルト云フ是レ某獨逸人ノ
 調査ニ據リタルモノナリ唯右ノ分量ハ「グワノ」及鹽モ共ニ之ナリ「エクタ」ニ用
 ヒシモノカ又ハ數エクタニ用ヒシモノカ何レモ判然セサレハ頗ル實用ヲ缺
 クノ憾アリト雖モ今道理ノ説明ヲ爲スニ於テハ敢テ差支ナケレハ其不分明ナ
 ル點アルニモ拘ハラズ之ヲ茲ニ掲出セリ

由是觀之土地ノ生産力ハ自ラ限アリ故ニ資本勞力其多キヲ加フルトモ必スシ
 モ際限ナク其生産力ヲ増加シ得ヘキモノニアラサルナリ只資本ノ使用ヲ増加
 シ益精ヲ加フルニ於テハ幾分カ得テ其生産高ヲ増加スヘシト雖モ苟モ人口ト
 土地トノ割合ニシテ其既ニ前記ノ比例ニ違セシ以上ハ假令資本勞力ヲ倍スト

八

モ之ヲ以テ最早當初ノ如ク其生産高ヲ倍スルニ至ルカ如キ増加ヲ見ルコト能
 ハス之ヲ名ケテ收穫遞減ノ法則ト云フ蓋シ學問上法則トハ萬世ヲ經テ變セス
 其事正ニ斯クアルヘシト定ムルモノヲ指シテ云フナリ而シテ今之ヲ遞減ノ法
 則ト云フ所以ノモノハ前陳ノ如ク資本勞力ヲ増加セハ幾分カ其生産力ヲ増加
 シ得ルニ相違ナシト雖モ資本勞力ノ増加ノ割合ニ收穫ノ増加セサルニ由ルナ

リ請フ今一圖ヲ以テ其遞減ノ景況ヲ示サン



上ノ圖ニ於テ「イロ」ノ線ニハ人口ヲ盛リ
 「イ」ヨリ「ロ」ノ方ヘ一段一段ニ人口ノ數ヲ増
 加スルモノトシ「ハ」ニ「ホ」等ノ線ハ生産
 高ヲ示スモノト假定セヨ今人口ノ割合
 五町歩ニ一人ノ増夫アル場合即チ「イ」ノ
 位ニ居ルトキハ其生産高ヲ「ハ」トセン
 又人口増進シテ五町歩ニ二人即チ「イ」ホ
 ニ達セシトキハ生産高「ニ」ト爲ルヘク

人口三人即チ「イト」ニ達セシトキハ生産高「ヘト」ト爲ルヘク人口四人即チ「イリ」ニ達セシトキハ生産高「チリ」ト爲ルヘク人口五人即チ「イル」ニ達セシトキハ生産高「ヌル」ト爲ルヘシ而シテ此點ニ達スルマテハ勞力者一人ヲ増加スル毎ニ各其全力ヲ盡シテ生産ニ從事スルコトヲ得ヘシト雖モ既ニ此點ニ達シタル上尙ホ多ク勞力者ヲ増加スルトモ之ニ從事シタル勞力者ハ最早其全力ヲ盡スコト能ハサルニ至リ生産ノ高ハ「チワ」ノ如ク僅ニ増加スルニ過キス今「イハ」ニホ等ノ線ノ上端ニ一線ヲ施セハ「ハカ」ノ孤線ヲ得ヘシ是レ生産ノ増進ヲ示スノ線ナリトス此線ノ「ハ」ヨリ「ヌ」ニ至ルマテハ生産高勞力ニ比例シテ増進シ勞力倍スレハ生産ノ高モ亦倍スヘシト雖モ「ヌ」ヨリ先キニ進メハ最早勞力者ノ増加ト同一ノ割合ニテ生産高ヲ増加スルモノニアラスシテ唯「ヌカ」ノ如ク微々タル増加ヲ實地ニ見ルコトヲ得ヘキノミ

高度及寬度ノ耕作

土地ノ生産力ニ限アルコト既ニ前項ニ陳述シタルカ如シ是ニ於テカ人口漸ク増加シ土地其乏シキヲ告クルニ方リ巽ニ例セシ「丙」「丁」「一」等ノ如キ劣等ノ土地ト雖モ之ヲ耕耘ニ用ヒサルヲ得ヌ又「甲」「乙」「二」ノ如キ優等ノ土地ヲ有スル者

三

ト雖モ人口ノ増加荷モ前圖ニ掲ケタル「イル」以上ニ達セハ其上人口増加スト雖モ新地ノ以テ耕耘ニ供スルモノナク其所有地ヲ餘マサス四隅ニ至ルマテ悉皆町疇ニ之ヲ耕サ、ルヲ得サルナリ而シテ耕作ノ景況苟モ此ノ如クナルニ至レハ之ヲ號シテ耕作ノ高度ニ達セリト云フ方今歐洲諸國ノ農況已ニ此極点ニ達セリ其工商ノ業ヲ奨勵セサルヲ得サルコト亦宜ナリト謂フヘシ之ニ反シテ人口足ラス土地餘リアルノ時期即チ前圖ニ於テ示シタルカ如ク人口ノ尙ホ「イト」「イリ」ニ止マリテ未タ「イル」ニ達セサル間ハ固ヨリ土地廣潤ナルヲ以テ劣等ノ地ハ之ヲ耕スヲ要セス優等ノ土地ト雖モ各自所有ノ田畑ヲ四隅ニ至ルマテ耕スノ勞ヲ厭ヒ只其中央ノ最モ耕シ易キ所ヲ耕シ餘力アレハ更ニ新地ヲ取り又其中央ノ最モ耕シ易キ所ヲ耕スヲ便トスルナリ斯ノ如キ農況ヲ號シテ寬度ナル耕作ト云フ米洲諸國ノ農況ノ如キ即チ是レナリ是ニ於テカ歐洲人ノ米洲ニ遊フ者其地ノ農業ヲ論シテ屢粗漏ト稱ス然レトモ是レ敢テ粗漏ナルニアラス唯人口土地ノ景況ニ山リ經濟眞理ノ作用ヲ實地ニ示スモノト謂フヘシ然ルニ世人往々事物ノ關係ヲ詳ニセス動モスレハ漫ニ事ヲ論シテ笑テ天下後世ニ遺ス

大仕掛ノ
耕作小仕
掛ノ耕作

モノアリ豈ニ慎マサルヘケンヤ
農産品ハ概チ粗生品ニ属スルヲ以テ大仕掛ニテ其生産ヲ爲スニ便利アルカ如
シト雖モ葡萄酒藍玉ノ如キハ之ヲ粗生品ノ良不良ニ由リ非常ニ其價格ニ影響
スルモノナレハ葡萄蔓藍草等ノ耕作ノ如キハ最モ注意ヲ加ヘサルヲ得ス然ル
ニ之ヲ非常ノ大仕掛ニシテ監督行届カサルカ如キコトアルニ於テハ品質精良
ナルコトヲ得スレテ之カ爲メ却テ耕作者ノ損失ト爲ルコトアルヘシ故ニ此等
ノ耕作ニハ小仕掛ヲ用フルヲ可トシ其能ク大仕掛ヲ用ヒテ便利ナルコトヲ得
ルモノハ五穀芻草等ノ如ク粗大ノ物品ノ耕作是レナリ蓋シ此等ノ耕作ハ固ヨ
リ精巧ノ勞力ヲ要セスレテ大ニ器械ヲ使用スルコトヲ得ヘク且ツ之カ監督者
ハ馬上ニテ東西ニ驅廻リ以テ一人ニシテ廣ク勞力者ノ監督ヲ爲スコトヲ得ヘ
ケレハナリ之ヲ要スルニ品位ヲ第一トシテ分量ヲ次ニスルカ如キ農産品ノ場
合ニ於テハ小仕掛ヲ用フルニ利便アルヘク又其分量ヲ第一トシテ品位ヲ第二
トスルカ如キ農産品ハ無論大仕掛ヲ可トス故ニ耕作ヲ爲スニハ宜シク物品ノ
性質ニ由リ仕掛ノ大小ヲ決スヘシ然レトモ概シテ事業ハ之ヲ大仕掛ニテ爲セ

結論

ハ生産ノ費用ヲ減少スルモノナレハ彼ノ品位ヲ以テ第一トスル物品ト雖モ精
巧ノ勞力者多クシテ資本家勞力者ト收益ヲ分ツノ法即チ彼ノ共同法ヲ行フニ
於テハ固ヨリ勞力者ノ粗漏怠慢ヨリシテ其生産物ノ品位ヲ貶スカ如キコトナ
クシテ之ヲ大仕掛ニ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ共同法トハ勞力者ニハ當然ノ勞銀
ヲ與ヘタル上若シ資本ノ利益ニシテ例ヘハ一割以上ニ昇レハ其一割以上ノ分
ノ幾分ヲ割キテ勞力者ニ與ヘ以テ資本家勞力者ト營業ノ収益ヲ分チ其利益ヲ
共ニスルノ方法ヲ云フナリ此事ニ就キテハ後ニ至リ更ニ論スル所アルヘシ
以上論スル所ヲ以テ之ヲ觀レハ勞力資本土地ノ生産ニ要用ナルヤ復々敢テ疑
ヲ容レサルナリ即チ此三者相待チテ生産鼎足ノ勢ヲ爲ス故ニ其内孰レカ一ヲ
缺クニ於テハ生産ノ業決シテ全キコトヲ得サルナリ請フ英人フオーセツト氏
ノ說ヲ借リ此三者ノ關係相平均セサルヲ得サルノ實例ヲ示サン
夫レ英國ハ四海ノ富國ニシテ其資本ニ富ムコト固ヨリ天下ニ敵ナシ而シテ勞
力亦多シ然ルニ之ヲ人口ニ比シテ土地已ニ少ク食品供スルニ足ラス大ニ之ヲ
外國ヨリ輸入シ以テ其不足ヲ補フ就中麥ノ如キハ其消費高殆ト三分ノ一ヲ輸

六二
入ニ仰クト云フ故ニ食料廉ナラスシテ細民ノ生計ハ之ヲ北米合衆國其他ノ新
國ニ比スレハ稍困難ナルノ狀ヲキテ得ス元來英國ノ勞力者ハ合衆國ノ勞力者
ト比シテ劣ルコトナク却テ勝ルモノアリ然ルニ尙ホ且ツ此狀ヲ呈スルモノハ
食品ノ廉ナラサル之カ一原因ニアラスシテ何ソヤ抑北米合衆國ハ新開ノ國ニ
シテ沃野千里唯人ノ之ヲ拓クニ任ス而シテ勞力ハ古國ノ如ク過多ナラスト雖
モ又之カ缺乏ニ苦ムニアラス唯憾ムラクハ近來ニ至ルマテ其國ニ資本ノ供給
十分ナラサリシカ爲メ事業多クハ外國ノ資本ニ成リ金利頗ル高クシテ外國ニ
支拂フ利子割賦ノ金額亦少カラス爲メニ資本ノ所得之ヲ歐洲ニ比シテ甚ダ高
カリシヲ以テ彼ノ天然ノ最大利益ヲ得タル農業ノ外ハ歐洲同業者ト競争スル
ヲ得サリシナリ近來ニ至リ資本漸ク増進シテ少シク面目ヲ更メタルカ如シト
雖モ尙ホ未タ歐洲古國ニ及ハサルモノナリ(合衆國ニ於テ工商ノ高利ヲ要スル
所以ノモノハ農業ノ利益甚ダ大ナルヲ以テ資本勞力ノ移轉容易ナル一國內ニ
於テ工商ノ業獨リ農業ヨリ少キ利益ヲ以テ満足スルコト能ハス非常ノ保護稅
ヲ課シテ工商ヲ保護スルニ職由スト雖モ抑又其資本ノ十分ナラサリシ一事與

六三
リテカアリト謂フヘシ是レ合衆國ニ於テ工商ノ所得ヲ高クセサルヲ得サルノ
一原因ナレハ特ニ之ニ論及スト云爾)

西印度諸島ノ英國殖民地ノ如キハ土地固ヨリ餘リアリ而シテ其地ハ固ヨリ英
國殖民地ノ事ナレハ又資本ノ供給ニ苦マス然レトモ曾テ一時ハ勞力足ラスシ
テ土地漸ク荒蕪ニ歸セントスルノ勢ヲ呈セリ是レ蓋シ該島諸地ニ於テ人口乏
シキノ故ヲ以テ然ルニアラス全ク西曆千八百三十三年英國政府非常ノ英斷ヲ
以テ奴隸ノ制度ヲ廢セシニ由ルナリ元來彼ノ奴隸輩ノ如キハ極メテ愚昧ニシ
テ殆ト獸類ト伍ナ同クスルノ狀ナキニアラサレハ生計ノ度モ亦隨テ低ク僅ニ
饑渴ヲ凌クノ外更ニ他物ヲ要セサルナリ而シテ西印度ノ地タル熱帶ノ方位ニ
方リ氣候極メテ温暖ナレハ衣住ノ需要甚ダ少ク且ツ天産ニ富ムヲ以テ草根木
實以テ彼等ノ口腹ヲ満足セシムルニ足レリ是ヲ以テ彼等一度解放ニ遭フテ自
由ノ身ト爲リシヨリ唯逸ニ耽リテ勞ヲ執ルコトヲ好マス假令高價ノ勞銀ヲ以
テスルモ能ク彼等ノ勞力ヲ誘フニ足ラス然レトモ彼等已ニ奴隸タルニアラサ
レハ鞭撻ヲ以テ之ニ勞働ヲ強ユルコト能ハス然ルニ西印度ノ氣候タル彼ノ亞

弗利加人種ナル黒奴ハ之ヲ意ニ介セスト雖モ白哲人種ノ如キハ固ヨリ熱帶地方ノ勞働ニ堪ヘス高報ヲ以テ之ヲ誘フモ尙ホ且ツ之ヲ得ルヲ難シトス故ニ之カ爲メ終ニ人口アリト雖モ勞力ノ不足ヲ生スルカ如キノ奇觀ヲ呈セリ抑奴隸ノ制度タル人類ヲ以テ牛馬視スルモノナレハ其不道理ナルハ固ヨリ論ヲ俟タズ早晚之ヲ廢セサルヘカラスト雖モ其尙ホ土地廣濶食品餘リアルノ時期ニ於テハ奴隸ハ生産上ノ利器タル敢テ疑ヲ容レサルナリ故ニ其制度ニ寬嚴ノ差アリト雖モ此時期ニ於テハ世界中何レノ地ニ於テモ奴隸ノ行ハレサルコト殆ト稀ナリ而シテ人口増加シ食品漸ク貴キニ至リテ此制度自ラ消滅スルヲ例トス歐洲古代ノ歴史北米合衆國北方ノ景況等此事ノ虛ナラサルヲ示スニ足レリ然レトモ彼等需要ノ低キ一度鞭撻ヲ免ルレハ之ヲ幸トシテ勞働ヲ厭フコト彼ノ西印度黒奴ノ如クナルハ又以テ怪ムニ足ラサルナリ故ニ之ヲ解放スルニモ自ラ時期アリ苟モ敷ヘスシテ慢然之ヲ放ツカ如キハ赤子ヲ海ニ投スルニ異ナラス之カ爲メ却テ彼等ノ不幸ヲ惹起シ其極終ニ一國ノ經濟ニ影響セサルヲ得サルナリ

之ヲ道理ニ質シ又實地ニ驗スルニ勞力資本土地ノ生産ニ要用ナルコトハ大略前陳ノ如シ然レトモ開明ノ度ニ依リ三者ノ勞力自ラ差異ナキヲ得ス時正ニ草昧ニ屬シ人類ノ生計主トシテ天恵ニ頼ラサルヲ得サルノ時期ニ於テハ土地ノ勞力最モ大ナリトス此時ニ方リテヤ事業ノ循環連絡セルモノナク獸ニ遇ヘハ則チ之ヲ搏チ魚ヲ見レハ則チ之ヲ捕フル等只時々其遭遇スルモノニ對シテ勞力ヲ施スニ止マリ資本ノ如キハ稍ク粗造ノ弓箭棍棒等ニ過キサルナリ以テ當時ノ人民ノ生計ヲ爲スニ天産即チ土地ノ産出スルモノニ頼ラサルヲ得サル所以ヲ知ルニ足ルヘシ

既ニシテ耕作ノ業漸ク進ミ粗造ノ製造少シク其萌芽ヲ發スルニ至リテ勞力ノ勞力始メテ盛ナリ蓋シ當時ニ於テハ農業已ニ其緒ニ就キ耕田播種收穫ノ事業循環連絡シ來ルヲ以テ其勞力最早彼ノ獸ニ遇ヘハ則チ之ヲ搏チ魚ヲ見レハ則チ之ヲ捕フルカ如キ類ニアラス之ヲ施スニ自ラ時期アリ然レトモ製造ノ業ニ至リテハ固ヨリ未タ巧妙ノ器械アルニアラス專ラ勞力ノ分量ト手先キノ精巧トヲ要ス故ニ勞力ノ貴キ蓋シ此時ヲ以テ最トス然リ而シテ世運大ニ進歩シ事

業廣大ナルニ及ヒテハ或ハ成功ヲ數年ノ後ニ期シ或ハ賣買ヲ萬里ノ外ニ試シ
 或ハ工商上ノ雌雄ヲ萬國ト争フ等遠大ノ事業大ニ増加スヘシ是ニ於テ巧妙ノ
 器械堅牢ノ船舶ヲ製シ鐵道電信ヲ起シ以テ運搬通信ノ道ヲ開ク等巨額ノ資本
 ナ要スヘシ此時ニ方リテハ實ニ人工ヲ以テ天工ヲ奪ヒ天恵ノ薄キモ大ニ障害
 ナ爲スコト能ハス又精巧ノ勞力モ器械ノ爲メニ壓セラレテ其能ニ傲リ其優ニ
 利スルコト能ハス資本ノ勢力亦實ニ盛ナリト謂フヘシ而シテ方今時已ニ此第
 三期ニ入レリ方今ノ資本ノ勢力年ニ其盛大ヲ致ス亦宜ナル哉

第三章 分配

分配ノ要 及其通路

前章ニ於テ陳述セシカ如ク生産ノ目的ハ一ニ消費ニアルヲ以テ今此消費ヲ助
 クルカ爲メニ生産物ヲ配賦スルノ業ナキヲ得ス其之ヲ配賦スルコトナ名ケテ
 分配ト云フ蓋シ分配ノ業ハ商賈之ヲ司ル故ニ卸賣小賣ヲ以テ分配ノ業ト云フ
 而シテ生産物ヲ各人ニ分配スルニハ自ラ其通路アリ請フ少シク之ヲ辯セン
 元來生産ヲ爲スニ資本、勞力、土地ヲ要スル所以ハ既ニ之ヲ説明シタリ凡ソ此等
 ノモノハ皆偶然ニ得ラルヘキモノニアラサルカ故ニ之ヲ使用セハ必ス之ニ報
 スルニ其生産物ヲ以テセサルヲ得ス生産物ハ漫然人々ノ望ニ應シテ之ヲ分ツ
 コト能ハス其之ヲ分ツニハ各其道ニ頼ラサルヲ得サルナリ今此通路ヲ見ルニ
 第一ヲ營業ノ所得トシ第二ヲ勞力ノ報酬即チ勞銀トシ第三ヲ貸付料トス苟モ
 生産物ノ分配ヲ得ント欲セハ必スヤ此通路ニ頼ラサルヲ得ス今此通路ヲ開カ
 ント欲セハ或ハ自ラ資本ヲ投シ多少ノ勞働ヲ爲シ以テ一業ヲ營ミ或ハ人ノ爲
 メニ勞働ヲ爲シ或ハ所有ノ財産ヲ他人ニ貸付ケサルヲ得ス獨リ此通路ニ頼ラ

サルコトヲ得ルモノハ惠與ノ場合アルノミ遺傳ノ如キハ右ノ通路ニ頼ラサルノ外觀アルカ如シト雖モ遺傳者カ年々生産ノ分配ヲ得ルハ其遺傳物ヨリ生スル所ノモノヲ以テ之ヲ得ルカ故ニ均ク是レ自己ノ財産ノ所得ヨリ得ル者ト謂フヘキナリ然リ而シテ分配ノ業即チ貿易ヲ論スルニハ先ツ信用、價格、貨幣、利子、歩合等尤モ貨幣ノ事ハ之ヲ貨幣論ニ讓リ本書ニ於テ之ヲ論セスノ事ヲ論究スルノ後ニアラサレハ其了解ニ苦ムノ恐アルヲ以テ請フ先ツ生産ノ通路ヨリ序ヲ逐フテ之ヲ論セン

營業所得

營業所得ハ營業者ノ放下スル資本ト其勞働及危險ニ報スル所ノ報酬ナリ蓋シ營業者ノ勞働トハ營業ノ組織ヲ按シ其損得ヲ鑑ミ或ハ出納ノ計算ヲ司リ勞力者ヲ監督スルヲ云フ其危險トハ業ノ成否ヲ未來ニ期シテ目下現ニ其嗜好ニ供シ得ヘキ所ノ資本ヲ放下スルヲ云フ凡ソ一業ヲ爲スニハ資本ヲ要セサルハナシ抑資本ハ過去ノ勞力ト節儉トノ結果ナリ之ヲ放下スルニ何ソ其報酬ナキヲ得ンヤ其勞働ヲ爲シ危險ヲ冒スハ固ヨリ其報酬アルヲ期ス其之ヲ期セスシテ勞働ヲ爲スハ蓋シ絶無僅有ノ場合ト云フヘキナリ故ニ營業所得ハ資本ノ利子

ヨリハ勢其歩合多カラサルヲ得ス今營業者カ資本ヲ放下シ勞働ヲ爲シ危險ヲ冒シテ得ル所ノ報酬ハ即チ營業者ノ所得ナリ然ルニ天下ノ富ハ皆生産ニ成リ各種ノ所得ハ富ノ一部分ヲ得ルニアリ故ニ營業者ノ所得ハ其源ヲ生産ニ發スルモノト謂ハサルヘカラス然ラハ則チ營業所得ハ生産ヲ分ツノ一通路タルコト敢テ疑ハ容レサルナリ

世運ノ進歩ト共ニ危險ヲ増ス

往古社會ノ組織未タ全カラス農工商ノ事業未タ發達セサリシ時ニ方リテハ生産ハ消費者ノ自ラ生産スルモノニ止マリテ尙ホ工ハ廣ク商ノ注文ヲ受ケ商ハ又顧客ノ注文ヲ受ケテ物品ヲ仕入レ又ハ農工商共ニ市場ノ景況ヲトシ以テ其機ニ投センカ爲メニ豫メ注文ヲクシテ生産若クハ仕入ニ從事スルコトナク又社會ノ漸ク發達スルニ隨ヒ農工百般ノ事業稍其緒ニ就キ其分業始メテ行ハレ營業者互ニ注文ヲ爲シ其業稍連絡スルニ至リタルノ時ニ於テモ營業者尙ホ未タ廣ク四海ノ市場ニ注目シ其景況ヲ察シテ生産ニ從事スルカ如キコトナク通例ハ先ツ需要ノ起ルヲ待チテ生産ヲ爲ス者ナラサルハナカリキ故ニ資本ヲ放下スルニ付キテ冒サ、ルヘカラサル危險ノ度モ自ラ亦今日ノ如ク甚シカラサ

リ然リト雖モ方今ニ於テハ分業益盛ニシテ事業ノ種類大ニ増加シ百業互ニ
 競争シ資本亦大ニ増加セシヲ以テ徒ニ他ノ注文ヲ待チテ時日ヲ費スナ常トセ
 ス豫メ市場ノ景況ヲ觀測シテ大ニ資本ヲ或ル業ニ投シ其生産品ヲ以テ市場ニ
 雌雄ヲ決スル事ト爲リタレハ生産ヲ爲スニ復タ昔日ノ如ク自己消費ノ爲メニ
 之ヲ爲シ又ハ營業者先ツ需要ヲ待チテ其生産品ヲ出スカ如キコトアルハ甚タ
 稀ニシテ通例ハ生産者先ツ他人ノ需要ヲ察シテ其生産ヲ爲シ生産ニ従事スル
 コト常ニ需要ニ先ツヲ以テ生産者ノ報酬ヲ期スルコト亦昔日ノ如ク確實ナル
 能ハス隨テ之ヲ往日ニ比スレハ危險ノ度モ亦大ニ増加シタリト謂フヘシ然リ
 ト雖モ是レ世運進歩シ資本増加シ需要頻繁ナルノ致ス所ナレハ決シテ嘆スヘ
 キニアラス却テ大ニ賀スヘキコトナリトス夫レ昔日ノ如ク生産ハ専ラ注文ニ
 據ル者トセンカ事業ノ循環連絡スルハ決シテ之ヲ望ムコト能ハス其注文ナキ
 時ハ器械ノ運轉ヲ停止シ勢力ヲ停止セサルヲ得ス果シテ然ラハ生産ノ費用大
 ニ増加シテ終ニ物價ノ騰貴ヲ致スヤ必セリ今ヤ則チ然ラス生産者ノ業ヲ營ム
 ヤ競争ニ基イシ市場ノ景況ニ據リ一品ヲ出セハ更ニ他品ノ生産ニ従事シ事業

世ノ進歩
 ト共ニ營
 業所得ノ
 歩合ヲ減
 ス

前後相連絡シテ間斷アルコトナシノ如クニシテ國富始メテ發達スルコトヲ
 得ヘク物價始メテ廉ナルコトヲ得ヘシ然レトモ營業ノ景況斯ノ如キニ至レハ
 多少營業者ノ爲メ危險ノ原素ヲ増加スルハ又已ムヲ得サルナリ
 既ニ陳述セシカ如ク營業所得ハ營業者ノ使用スル資本ノ報酬、營業者ノ勞力ノ
 報酬及其冒ス所ノ危險ノ報酬ヨリ成立ツモノナレハ右三者ノ中孰レカ増減ス
 ルトキハ其歩合モ亦増減セサルヲ得サルハ理ノ最モ親易キモノナリ然ルニ前
 項ニ於テ論シタルカ如ク世ノ進歩スルニ從ヒ危險ノ度益加ハルヲ以テ世運ノ
 進歩ハ營業所得ノ歩合ヲ増加スルモノ、如シト雖モ是レ決シテ然ラサルナリ
 抑前陳ノ如ク世ノ進歩スルニ從ヒ危險ノ度ヲ加フルト云フモ方今ノ生産ハ主
 トシテ市場ノ景況ヲトシ之カ好機ニ投セントスル者ナレハ固ヨリ是レ昔日ノ
 如ク初メヨリ需要者ノ確定シタル者アルコト尠シト云フニ止マリテ敢テ世ニ
 需要ナク賣買ヲ爲シ得サルモノヲ生産スルト云フノ意ニアラス故ニ生産中ハ
 未ダ確然タル需要者アラスト雖モ其之ニ従事セルトキハ已ニ市場ノ景況ニ據
 リ最モ需要多キモノヲ最モ多ク生産スルニアルヲ以テ一度之ヲ生産シテ市場

ニ出スニ當リテハ苟モ生産者ニシテ商機ノ如何ヲ見誤ラサル以上ハ方今ノ需
要頻繁ナル各生産ノ關係互ニ深密ナル決シテ其生産物ヲ久シク賣捌キ能ハサ
ルカ如キコトナカルヘシ左レハ彼ノ危險ノ度ヲ増加スルト云フカ如キモ是レ
決シテ外部ヨリ想像シタルカ如ク甚キモノニアラス又營業者ノ勞働モ事業
ノ進歩スルニ從ヒ大ニ増加スヘシト雖モ一方ヨリ之ヲ論スレハ營業ノ組織益
其精ヲ加ヘ智力モ亦大ニ進歩シ昔日ノ難シトスル所ハ今日又之ヲ難シトセサ
ル等ノ事實アルヲ以テ畢竟スルニ同額ノ營業ヲ爲スニ於テハ今日ノ昔日ヨリ
容易ナルコト固ヨリ論ヲ俟タサルナリ而シテ其之ニ使用スル傭人即チ勞力者
ノ如キモ教育ノ進歩ニ由リ昔日ノ如ク鞭撻若クハ監督ノ嚴密ナルヲ要セス加
フルニ彼ノ共同法ノ如キ方法ヲ施行セハ大ニ監督ノ勞ヲ減スルヲ得ヘシ由是
觀之同額ノ營業ヲ爲スニ今日ノ昔日ヨリ容易ナル敢テ疑ヲ容レサルナリ然リ
而シテ今日ノ生産ハ已ニ市場ニ賣買ヲ試ミルカ爲メニ之ヲ爲スモノナリ需要
甚タ廣ク百般ノ事業活潑ノ勢ヲ呈スルノ今日ニ於テハ資本ノ運轉又昔日ノ如
ク遲鈍ナルモノニアラス又其額決シテ昔日ノ比ニアラサルナリ凡ソ資本ハ假

七〇

營業所得
歩合ノ多
少ヲ決ス
ル原因

令一運轉ニ所得ノ歩合少シトスルモ數運轉ノ所得ヲ積メハ以テ勢大額ヲ爲ス
ニ至ルヘク且ツ小額ニ重キ歩合ヲ得ルヨリ大額ニ輕キ歩合ヲ得レハ其所得ヨ
リ得ル所ノ金高ハ却テ大ニ増加スヘキナリ故ニ所得ノ歩合ハ資本原額ニ比例
シテ減少スルモ決シテ營業者ニ差支ナカルヘク又果シテ減少スルモ差支ナシ
トスレハ必スヤ實地ニ其減少ヲ來スヘシ是レ世ノ進歩ト共ニ營業所得歩合ノ
減少スル所以ナリ然レトモ此減少ハ實ニ經濟上大ニ賀スヘキモノニシテ之ア
リテ物價始メテ廉ナルコトヲ得ヘク國民亦其生計ノ度ヲ進ムルコトヲ得ヘキ
ナリ

世運ノ進歩ニ從ヒ營業所得ノ歩合減少スルコト前二項ニ於テ論シタルカ如シ
ト雖モ何レノ場合ニ於テモ其輕重ヲ決スルノ原因ナキヲ得ス請フ之ヲ陳セン
第一 營業者カ其營業上ニ於ケル學識經驗及天稟ノ性質才智
凡ソ百般ノ業ヲ營ムヤ多少其事業上ノ學識ト經驗トヲ備ヘサルヘカラス
殊ニ百業著シク進歩シテ其經營ノ難キ昔日ノ比ニアラサル今日ニ於テハ
學識經驗ノ要ヲ増スヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ試ニ茲ニ一紡績事業ヲ營ム

者アリトセン彼レ若シ學識ナクンハ其器械ノ改良ヲ計リ其製造品ノ精巧ヲ致シ又營業一般ノ改良ヲ按スルコト能ハス徒ニ古法ヲ墨守シテ敢テ之ヲ改良發明ヲ加フルコトナクンハ事業ノ進歩得テ期スヘカラサルナリ若シ又彼ニ經驗ナクンハ實地ノ不便ヲ看破シ事業上圓滑ノ働キヲ爲スコト能ハス且ツ世人嗜好ノ變動ヲ察シテ機ニ投シ精巧ノ良品ヲ以テ市場ヲ制スルコト能ハサルヘシ又已ニ其人學識經驗ヲ備フト雖モ其天稟ノ性質勉勵ヲ好ミ熱心其業ヲ執ルコトヲ快トシ且ツ能ク人ノ信用ヲ來シ使役スル所ノ勞力者ハ令セスシテ能ク其分ヲ盡シ機ニ臨ミ變ニ應シ事業ノ緩急ニ處シ勞力使用ノ寬嚴等ヲ計ルノ才智ナクンハ又決シテ營業所得其多キヲ致スコトヲ得サルヘシ故ニ危險難易ノ度ヲ等クスル同業中ト雖モ營業者ノ學識、經驗、性質、才智等ノ如何ニ因リ營業所得ニ著シキ差違アルヤ復タ多辯ヲ要セサルナリ

第二 營業上危險ノ多少

事業ヲ營ムニハ資本ヲ放下シ未來ニ其報酬ヲ期セサルヘカラサルヲ以テ

其間多少危險ヲ冒サ、ルヲ得ス其危險ノ度ニ由リ所得ノ歩合ヲ異ニスルハ理ノ最モ親易キモノト謂フヘシ茲ニ甲乙ノ營業者アリ甲ハ米薪等ノ如ク最モ需要ノ廣キ物品ヲ取扱ヒ乙ハ美術品上等衣食類ノ如キ需要狹ク且ツ商況ノ浮沈ニ由リ最モ其需要ニ影響ヲ來スヘキモノヲ取扱フトセン甲ハ商況ノ浮沈世人ノ嗜好ノ變更ニ由リ非常ノ變動ヲ受クルコト稀ナレハ隨テ其所得ヲ變スルコト少シト雖モ乙ノ如キハ然ラス右等ノ變動アル毎ニ大ニ其影響ヲ受クヘシ故ニ甲ノ業ニ於テハ所得ノ歩合低シト雖モ敢テ妨ケナク乙ノ業ニ於テハ高キ報酬ヲ得ルニアラサレハ以テ其業ヲ維持スルコト能ハサルヘシ又或ハ不正ノ醜業ヲ行フモノ、如キハ其財產ハ勿論名譽マテ之ヲ其犠牲ニ供セサルヲ得ス故ニ其危險ノ度甚タ高ク隨テ其所得歩合ハ大ニ高カラサルヲ得サルナリ

第三 營業ノ合意嫌厭

凡ソ事業ヲ爲スニ植木屋彫刻師等ノ如ク其營業者ノ意ニ適合スルモノアリ又屠獸肥料取扱等ノ如キ頗ル不快ニシテ嫌厭スヘキモノアリ此等ノ業

ニ於テハ甲乙共ニ營業者ノ名譽ニ關スルコトナク其經營ノ難易危險ノ度
相同シキモ甲ノ業ニ於テハ報酬必スシモ多カラスシテ尙ホ人能ク之ニ從
事スヘク乙ノ業ニ於テハ所得割合ニ多カラサレハ之ニ從事スルモノナカ
ルヘシ

由是觀之營業上ノ學識經驗等危險ノ多少及合意嫌厭ハ營業ノ便否適否資本ノ
多寡等ヲ論セス其所得ノ歩合ヲ定ムルノ原因タルコト敢テ疑テ容レサルナリ
抑勞銀及貸付料ノ如キハ豫メ其高ヲ知ルコトヲ得ヘシト雖モ營業所得ハ決シ
テ之ヲ前知スルコト能ハス之ヲ知ルハ其業ヲ了リ精算ヲ爲セシ後ニ在リトス
故ニ營業所得ヲ以テ生計ヲ營ム者ハ貸付料ヲ以テ生計ヲ營ム者ノ如ク豫メ其
收入ヲ計リテ日常ノ費用ヲ定ムルコト能ハサルニ由リ其現ニ所有スル所ノモ
ノヲ以テ平生ノ生計ヲ營マサルヲ得サルナリ又勞力者ノ如キモ勞銀減少シ又
ハ解僱ニ遭フコトナキヲ保セサレハ未來ニ得ル所ノ勞銀ヲ頼ミテ食込ヲ爲サ
ル様平生其費用ヲ慎ムヘキハ勿論ナリト雖モ其就役中ハ次回ノ支拂日(歐米
各國ニテハ勞力者ハ毎土曜日ニ給料ヲ受取ルヲ通例トス)ニ至レハ若干ノ金員

營業所得
ト他ノ所得
トノ差

ヲ得ヘシトハ豫メ之ヲ期スルコトヲ得ヘシ故ニ前以テ之ヲ見當トシテ信用買
ヲ爲スモ平時ハ強テ差支ナカルヘシ又貸付料ヲ以テ生計ヲ營ム者ハ苟モ非常
ノ事アルニアラサレハ先ツ期限ニハ豫期ノ金額ヲ得ルニ相違ナカルヘシ然レ
トモ營業者ニ至リテハ決シテ右等ノ如ク前以テ其收入高ヲ豫期スルコト能ハ
サルナリ果シテ然ラハ營業者ハ勞力者其他ノ者ヨリ一層生計ノ費用ヲ平生ニ
慎ミテ苟モ將來ノ收入ヲ見込ミ徒ニ現在ノ所有物ヲ多ク消費スルカ如キコト
ヲ爲スヘカラス且ツ其收入ヲ得ルニ於テハ一時ニ之ヲ消費セスシテ之ヲ次回
ノ收入ヲ得ルマテノ費用ニ充テサルヲ得ス若シ然ラサレハ其資本ヲ食込ニ營
業退縮ノ禍ニ遭遇スルコトナキヲ保セス豈ニ慎マサルヘケンヤ

勞銀ノ釋

勞銀トハ一日ニ付キ幾時間ノ勞力ニテ一ヶ月或ハ一週間或ハ一日ニ何程又ハ
勞力ノ量幾許ニ付キ何程ト金額若クハ物品ノ量ヲ定メテ勞力者ニ與フル所ノ
報酬ヲ云フ

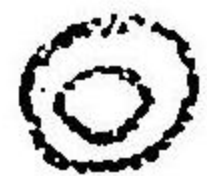
勞銀基金

斯ノ如ク勞銀ハ勞力者カ其勞働ニ對シテ得ル所ノ報酬ナリ然ルニ此報酬ハ一
國ノ富ノ中ヨリ之ヲ與フルモノニシテ富ハ生産ヨリ生スルモノナルヲ以テ之

ヲ見レハ勞銀ハ生産ヲ分配スルノ一通路ナルヤ明ナリ而シテ生産ヨリ報酬ヲ得ルモノハ獨リ勞力者ニ止マラス已ニ論セシカ如ク營業者モ其報酬ヲ得ル所ハ生産ニ在リ資本家モ亦其報酬ハ之ヲ生産ニ取ラサルヲ得ス故ニ勞力者ノ得ル所ノモノハ必ス一國生産ノ一部分タラサルヲ得ス其部分ハ則チ生産資本ニ供スルモノニシテ曩ニ論シタル資本ノ區分ニ據レハ流動資本ノ一部ナル「ホ」ハ則チ勞力者ノ得ル所ノモノニシテ之ヲ勞銀基金トス

此基金ノ多少ハ已ニ論セシカ如ク一國資本ノ總高ト固定資本粗生品ノ高トニ割合ヒテ之ヲ決セサルヲ得サルモノナレトモ其既ニ決定シタル後之ヲ勞力者ニ分配スルノ割合ハ必ス勞力者ノ數ト此基金ノ高トニ割合ハサルヲ得サルナリ今夫レ基金ノ高變セシテ勞力者ノ數ヲ増サンカ勞銀ノ平均ハ必ス減少スヘク之ニ反シテ勞力者ノ數ヲ減センカ勞銀ノ平均ハ増加スヘシ又勞力者ノ數ヲ變セシテ基金ノ高ヲ増サンカ勞銀ノ平均ハ増加スヘク之ニ反シテ基金ノ高ヲ減センカ勞銀ノ平均ハ減少スヘシ勞力者ノ數ト基金ノ高ト同比例ヲ以テ増減セハ勞銀ノ平均ハ敢テ變動スルコトナカルヘシ故ニ勞銀ノ平均ヲ増加セ

勞銀平均
増減ノ原
因



ント欲セハ基金ノ高ヲ増加スルカ勞力者ノ數ヲ減スルカ孰レカ其一ニ出テサルヲ得ス然ルニ勞力者ノ數ヲ減スルハ一朝一夕ノ能クシ得ヘキ所ニアラス基金ヲ増加スルモ亦容易ノ業ニアラス(英國ノ統計家マルホール氏ノ調査ニ據レハ最近四海ノ富ノ増加ハ年々凡二十四億五千萬圓ニシテ八億二千五百萬圓ハ北米合衆國三億七千五百萬圓ハ佛國三億二千五百萬圓ハ英國二億圓ハ獨逸國其他七億二千五百萬圓ハ他ノ諸國ノ増加ナリト云フ)然リト雖モ二者孰レカ容易ナルカト云ヘハ基金ノ増加寧ろ容易ナルカ如シ尤モ國家ノ富ヲ増加スルモ世ノ進歩スルニ從ヒ粗生品ノ價格益加ハリ又固定資本ノ爲メ割合ニ多額ヲ要スルヲ以テ勞銀基金ハ多少増加スルニ相違ナント雖モ資本ノ他ノ部分ト同一ノ割合ヲ以テ増加スルコトヲ得サルナリ然リ而シテ世運ノ進歩スルニ從ヒ人口ハ決シテ減少ノ色ヲ見ス却テ増進スルノ勢アルヲ以テ之ヲ見レハ假令勞銀基金ヲ増加スルモ勞力者ノ勞銀ヲ増加スルハ決シテ容易ナリト謂フヘカラス今事ノ解シ易カラシカ爲メ請フ一方式ヲ以テ勞力者ノ數、基金ノ高及勞銀ノ平均カ互ニ相關係スル景況ヲ示サン

次ノ方式ニ於テ「ホ」ヲ勞銀基金トシ「ヘ」ヲ勞力者ノ數トスレハ「ハ」ヲ以テ「ホ」ヲ除シ得タル「ト」ハ即チ勞力者ノ數カ得ル所ノ勞銀ノ平均高ナリ然ラハ則チ「ト」ノ多少ハ「ホ」ヘ「フ」大小ニ由ルコト明ナリトス故ニ若シ「ホ」ニ變動ナクシテ「ヘ」ヲ増加セハ増加シタルモノヲ以テ同額「ト」ノモノヲ除スルコトナレハ「ト」ハ必ス減少スヘク之ニ反シテ「ヘ」ヲ減少スレハ減少シタルモノヲ以テ同額ノモノヲ除スルコトナレハ「ト」ハ必ス増加スヘシ若シ又「ヘ」ニ變動ナクシテ「ホ」ヲ増減スレハ必ス「ト」ヲ増減スヘシ然レトモ「ホ」ヘ「共」ニ同一ノ割合ヲ以テ増減セハ「ト」ニハ變動ナシスルコトナカルヘシ

平均勞銀ノ増減スル理由夫レ斯ノ如シ故ニ勞銀ノ歩合ヲ増加セント欲セハ須ラク勞銀基金ノ増加若クハ勞力者ノ減少ヲ計ラサルヘカラス之ヲ外ニシテ如何ナル嚴法奇策ヲ用フト雖モ決シテ勞銀歩合増加ノ功ヲ奏スルコト能ハサルナリ然ルニ世之ヲ解セス或ハ勞銀最低度ノ法勞銀ノ最低度ヲ設ケ資本案ニ其レ以下ノ勞銀ヲ勞力者ニ與フルコトヲ禁スルノ法ヲ云フ彼ノ佛國革命黨ノ如

九

人口増減
ノ勞銀歩
合ニ顯ハ
ス效驗ハ

キ曾テ此法ヲ用ヒタルコトアリ勞働時間制限法(勞働ノ時間ヲ定メ資本案ヲシテ其時間ヲ超過シテ勞力者ヲ使役スルコトヲ禁スルノ方法ヲ云フ北米合衆國ノ如キハ政府ノ工事ニ用フル勞力ニ此法ヲ施行セリ)等ヲ主張シ又強請ト稱シ勞力者同盟シテ資本案ニ迫リ強テ勞銀ノ増加ヲ請ヒ又ハ其減少ヲ拒ムコトアリ此等ノ方法ハ他ニ自然ノ勢力能ク之ヲ助クルモノアルニアラサレハ假令一時其目的ヲ達スルコトアルモ固ヨリ數理ノ許サ、ル所ナルヲ以テ決シテ永久ノ效力ナク却テ生産自然ノ分配ヲ妨ケ資本ノ増殖ヲ障害シ勞銀基金ノ増加ヲ妨ケ其増加セント欲スル所ノ勞銀ノ歩合ヲ減少スヘシ故ニ人アリ勞銀歩合増加ノ方法ヲ説カハ須ラク先ツ其方法ハ果シテ勞銀基金ヲ増加スルニ足ルヤ人口増加ノ傾向ヲ減スルニ足ルヤヲ詳ニシ而シテ後其有效無效ヲ斷スヘシ苟モ其說ニシテ此兩效驗ノ一ヲ生スルニ足ラサルモノハ如何ナル奇計妙案ト雖モ決シテ其功ヲ奏セサルナリ

人口ノ増減ハ前項ニ於テ論セシカ如ク勞銀歩合ヲ増減スルノ一原因タルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ而シテ其増減ハ勞銀歩合ニ二重ノ效驗ヲ顯ハスモノナリ

經濟大意

請フ少ク之ヲ辯セン
 今如何ナル原因ニ基イスルニ拘ハラス勞銀基金其他一切ノ生産上ニ變動ヲ來
 サ、ルニ人口減少シタリトセンカ然ルトキハ勞銀平均ノ高ハ多少ノ増加ヲ生
 スヘク又衣食住ニ供スル所ノ物品ハ少數ノ人員ニテ人々從前ト同量ノ物品ヲ
 需要スルヲ以テ幾分カ其價格ヲ減スヘシ果シテ然ラハ勞力者ハ増加シタル勞
 銀ヲ以テ低價ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ヘク隨テ大ニ利益ヲ被ムルヘシ而シ
 テ此人口ノ減少カ新地移住ノ爲メニ起リシモノトスレハ其利益ハ殊ニ大ナル
 ヘシ元來移住ハ天下ノ壯丁ヲ失ヒ頗ル損失ヲ醸スノ狀ナキニアラスト雖モ通
 例舊地ニ溢ル、所ノ人口ヲ以テ新地ニ移スモノナレハ舊地ニ於テハ敢テ之カ
 爲メニ生産ヲ妨ケスシテ其勞力者ノ供給ヲ減シ且ツ新地ノ生産ヲ發達シテ之
 ナ舊地ニ致シ粗生品ノ價ヲ低下シ其製造品ノ需要ヲ増シ以テ商工業ノ増加
 ナ助クルコト蓋シ少シトセス(國內ノ移住即チ我カ内地人民ノ北海道ニ移ルカ
 如キハ最モ然リ)然リト雖モ生産上ニ變動ナク勞銀基金ノ増加セサルニ人口増
 加スルトキハ全ク之ト反對ノ效驗ヲ生シ平均勞銀ノ高ハ多少減少スヘク而シ

勞力者ハ
 歩合
 增加ノ利
 益ヲ維持
 スルノ力
 ニ乏シキ
 コト

テ衣食住ニ供スル所ノ物品ハ其供給多キヲ加ヘサルニ多數ノ人員之ヲ需要ス
 ルヲ以テ其價格ヲ騰貴スルハ數ノ免レサル所ナリ然ラハ則チ勞力社會ハ其減
 少シタル勞銀ヲ以テ騰貴シタル物品ヲ購買セサルヲ得ス事茲ニ至レハ其生計
 ノ難キ固ヨリ論ヲ俟タス思フテ茲ニ至レハ實ニ寒心ニ堪サルナリ
 已ニ論究セシカ如ク資本ノ増加、人口ノ減少ハ勞銀ノ歩合ヲ増加シ勞力者ノ生
 計ヲ易クスルヤ又多辯ヲ要セス加之生産物價格ノ減少ハ假令直接ニ勞銀基金
 ノ増加ヲ生セスト雖モ勞銀歩合ノ増加ト其效驗ヲ均クスヘシ何トナレハ物價
 ノ減少ハ勞力者ヲシテ同額ノ勞銀ヲ以テ多量若クハ良質ノ物品ヲ得セシムル
 コトヲ得レハナリ然ルニ勞力者ハ概チ智力ニ乏シク此等ノ利益ヲ維持スルコ
 ト能ハサルノ嘆アリ宜シク鑑ミサルヘカラス夫レ彼等ノ無謀ナル人口ノ減少
 資本ノ増加、生産品價格ノ減少等ニ由リ聊カ其生計ヲ易クスルノ實アレハ其永
 久ノ原因又ハ一時ノ原因ヨリ出ツルニ拘ハラス(永久ノ原因トハ國富増加シ爲
 メニ其資本ノ増加ヲ來シ又ハ農工ノ業進歩シ生産ノ費用ヲ減シ爲メニ農産工
 産ノ價格ノ減少スル等ヲ云ヒ一時ノ原因トハ豊年若クハ一時嗜好ノ變更等ニ

由リ其從事スル所ノ事業ノ生産物ノ價格一時大ニ増加スル等ナ云フ(忽チ人口
 ナ増加シ又ハ不當ノ消費ヲ増加シ速ニ一時得ル所ノ利益ヲ失フヲ通例トス實
 ニ食品價格ノ減少又ハ其供給ノ増加ハ以テ勞力者社會ノ婚姻ノ數ヲ増加シ隨
 テ人口ノ増加ヲ促スニ至ルハ今古各國ノ經驗スル所ナリ請フ之ヲ證セン
 奧地利ニ於テ千八百五十一年ニハ大麥一「メツ」ハ凡ソ我カ三斗ノ價二
 「フローリン」四七(一「フローリン」ハ凡ソ我カ五十錢)婚姻ノ數三十三萬六千八百、千
 八百五十二年ハ大麥一「メツ」價二「フローリン」一、婚姻ノ數三十一萬六千八百
 (此年ニ於テ大麥ノ價格減少セシト雖モ婚姻ノ數少シク減少セシハ前年ニ其數
 多カリシニ由ル)千八百五十三年ハ大麥一「メツ」價三「フローリン」三八、婚姻ノ數
 二十八萬三千四百、千八百五十四年ハ大麥一「メツ」價四「フローリン」三六、婚姻ノ
 數二十五萬八千、千八百五十五年ハ大麥一「メツ」價四「フローリン」四三、婚姻ノ數
 二十四萬五千四百ナリシト云フ
 右婚姻ノ數ハ全國一般ノモノニシテ勞力者婚姻ノ數ニ限ルモノニアラスト雖
 モ富民ハ平日ノ貯蓄ヲ有スルヲ以テ其婚姻ノ數ハ年ノ豊凶ニ由リ増減ヲ現ハ

サ、ルヘシ唯其食品價格ニ由リ著シキ増減ヲ來スモノハ勞力者ノ結婚ニ係ル
 ヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

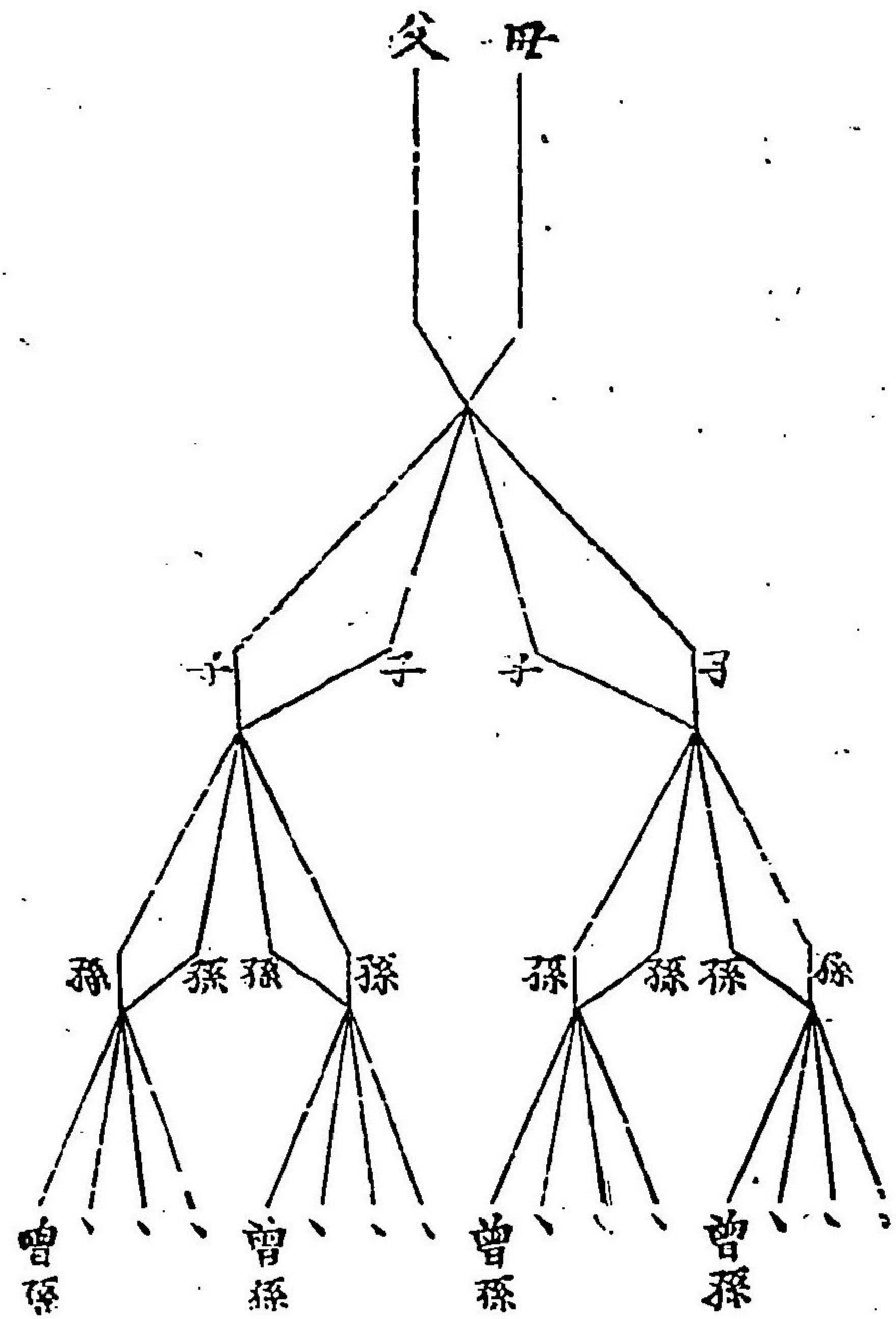
又愛蘭ニ於テハ馬鈴薯ノ耕作ニ因リ食品ノ供給ヲ増加シ千六百五十四年ノ人
 口百三萬四千人ナリシカ爾後馬鈴薯ノ耕作漸次ニ増加シ千六百九十五年ニハ
 二百三十七萬二千人ト爲リ千八百五年ニハ五百三十九萬五千人、千八百二十三
 年ニハ六百八十萬千八百二十七人、千八百四十一年ニハ八百十七萬五千人ト爲
 レリ是レ實ニ著シキ増加ト謂フヘシ然レトモ千八百五十一年ニハ馬鈴薯凶作
 ノ爲メニ人口減少シテ六百五十一萬五千人ト爲レリ食品供給ノ人口増減ニ關
 係スルコト夫レ斯ノ如シ

人口ノ増加ニシテ永久ノ原因ヨリ來ルモノナレハ増加ノ後ト雖モ人々尙ホ或
 ハ従前ノ生計ヲ保ツコトヲ得ヘキモ其一時ノ原因ヨリ來リタルモノハ然ラス
 何トナレハ其原因ノ效驗漸クニシテ消滅シ生産ハ從來ノ高ニ減スルニ至レハ
 其已ニ増加セタル人口ハ衣食足ラス以テ非常ノ困難ヲ來スヘケレハナリ豈ニ
 慎マサルヘケンヤ

人口増加
労働歩
合テ減少
スルノ傾
向

人口ハ勞力ノ源ナリ而シテ勞力ナクンハ生産ヲ發達スルコト能ハス故ニ人口
ヲ適度即チ曩ニ例セシ生産遞減ノ點迄ニ達セシムルハ固ヨリ國家ノ富強ヲ致
スノ道ナリト雖モ其一度此點ニ達セシ後漫ニ之ヲ増加スルハ國家ノ利益ニア
ラサルナリ何トナレハ其増加ハ需要品ヲ生産スルノ效驗ヲ減少スルヲ以テ各
人ノ消費ヲ節シテ全體ノ人口ヲ養ハサルヲ得サルノ必要ヲ來スヘケレハナリ
故ニ生産遞減ノ點ヲ超過スル増加ハ事業更ニ發達シ能ク之ヲ支フルコトヲ得
ルヲ待チテ而シテ後始メテ安全ナルヘキ道理ナレトモ彼レ勞力者輩ノ如キハ
敢テ深謀遠慮アルニアラス動モスレハ己レ未タ子孫ヲ養育スルノ力アラサル
ニ當リテ已ニ人口ヲ増加シ勞銀ノ歩合ヲ減少スルニ至ルヘシ實ニ人口ノ増加
ハ俗ニ所謂鼠ノ子算ニ類スルモノニシテ一男一女四子ヲ生シ此四子ヨリ八子
ヲ生シ此八子ヨリ十六子ヲ生ス二人ノ男女アリ其曾孫ノ世ニ至レハ已ニ壯年
十六人ヲ増シ代ヲ重スル毎ニ其増進ノ度ヲ増加スルヲ例トス而シテ人世一代
ニシテ曾孫ヲ見ルモノ亦少シトセス人口増加ノ度實ニ盛ナリト謂フヘシ今事
ノ解シ易カラシカ爲メ一圖解ヲ以テ其繁殖ノ景況ヲ示スコト次ノ如シ然ルニ

八六



十五

十四

食品ノ増加ハ生産
遞減ノ點ニ達シタ
ル後ハ人口一人ヲ
加フル毎ニ其需要
高丈ケテ増加スル
コト能ハス只僅々
ノ増加ヲ示スノミ
果シテ然ラハ人口
増加スルニ從ヒテ
食品ノ價格益騰貴
スヘシ好シヤ人口
ノ増加ニ伴フテ資
本ノ増加スルコト
アリトスルモ其増

經濟大意

八七

資本増加
ノ割合ニ
勞銀基金
ヲ増加セ
サルコト

加ハ唯勞銀基金ヲ増加スルニ止マリ未タ以テ食品ノ騰貴ヲ償フニ足ラサレハ
之カ爲メ勞力社會ノ困難ヲ増加セサルヲ得サルナリ殊ニ資本總額ノ増加カ假
令人口ノ増加ト同比例ヲ保チ得ルトスルモ勞銀基金増加ノ割合ハ固定資本及
粗生品ノ増加ニ及ハサルモノアリ請フ次ニ之ヲ論セン

一國資本ノ總額ヲ増加セハ勞銀基金ノ高亦隨テ増加スルハ已ニ論シタルカ如
シト雖モ勞銀基金ノ高ハ必スシモ資本總額ノ増加ト同比例ヲ以テ増加スルコ
トヲ得ス却テ世ノ進歩ニ從ヒ割合ニ減少スルノ傾向アルヲ例トス抑世運進歩
ノ人口愈増加スルニ從ヒ已ニ略論セシカ如ク其需要益高キヲ致シ之カ爲メ最
早最上ノ土地ニ依リテ粗生品ヲ生産スルコト能ハズシテ漸次劣等ノ土地ニ生
産ヲ試ミサルヲ得サルハ蓋シ數ノ免レサル所ナレハ人口増加シ事業擴張スル
ニ從ヒ一方ニ於テハ粗生品ノ需要ヲ増加シ一方ニ於テハ其生産ヲ困難ナラシ
メ以テ粗生品ノ價格益貴キヲ加フルカ故ニ資本總高ヨリ粗生品ノ購買ニ供ス
ルモノ益多カラサルヲ得サルハ大勢ノ然ラシムル所又之ヲ奈何トモスルコト
能ハサルナリ然リ而シテ固定資本ノ如キモ世ノ進歩ニ從ヒ益其精ヲ加ヘ其數

人口増加

ヲ増加セサルヲ得ス之カ爲メニ巨額ノ金員ヲ要スル實ニ昔日ノ比ニアラス又
一國ノ資本稍増加ヲ來シ總テ之ヲ國中ニ於テ使用スルトキハ資本家所得ノ步
合大ニ減少スルヲ以テ彼等ハ資本ヲ内地低利ノ事業ニ使用スルヲ欲セス之ヲ
他國ニ輸出スルニ至ルヘシ即チ彼ノ英國ノ如キハ其資本ヲ外國政府ノ公債證
書外國會社ノ株券負債證書會社ノ負債證書トハ鐵道電信會社ノ如キ大ナル會
社カ年々若干歩合ノ利子ヲ附シ償却ノ期限ヲ定メテ廣ク金員ヲ募集シ之ニ對
シテ發行スル證書ナリニ投シ又ハ外國及殖民地ニ於テ事業ヲ營ミ之ニ資本ヲ
放下スルモノ其幾億萬圓ナルヲ知ラス斯ノ如ク一方ニ於テハ粗生品固定資本
ノ爲メ割合ニ巨額ノ金員ヲ要シ又一方ニ於テハ巨額ノ資本ヲ輸出スルヲ以テ
資本ノ總額ニ於テハ増加スルコトアリト雖モ勞銀基金ハ資本ノ他ノ部分ノ如
キ割合ニ之ヲ増加スルコト能ハサルヘシ故ニ勞銀ハ諸國ニ於テ富ノ増加ト同
一ノ比例ニ之ヲ増加スルコトヲ得サルナリ然レトモ資本總額ノ増加ハ必ス多
少勞銀ノ平均ヲ増加スヘキヲ以テ勞力者ノ利益タルハ敢テ疑ヲ容レサルナリ
地球上温帶ノ地方ニ於テハ男子生レテ十四歳女子生レテ十三歳ニ至レハ生理

上巳ニ父母タルノ力ヲ備フルヲ通例トス(熱帶地方ノ如キハ女子生レテ八歳已ニ母タルヲ得ルト云フ)故ニ若シ人口ノ増加ヲ自然ニ放擲シテ更ニ抑制スルモノナク自由ニ之ヲ増殖セシムルニ於テハ二人ノ男女四子ヲ舉クルモノトシ人一生一代能ク四人ノ子八人ノ孫十六人ノ曾孫ヲ見ルコトヲ得ヘシ其増加ノ割合實ニ盛ナリト云フヘシ然リト雖モ人口ヲ支フルニハ固ヨリ衣食住ノ供給ナキヲ得ス其供給ヲ増加セント欲セハ土地ノ以テ之ニ應スルモノナカルヘカラス然ルニ土地ノ供給固ヨリ限リアリ故ニ生産ノ増加ハ人口ノ増加ト其度ヲ均クスルコト能ハス人口増加シテ其既ニ若干ノ點ニ達シタルトキハ衣食給セシテ偶子孫ノ生スルアルモ體格孱弱從テ夭折ノ數ヲ増シ人口ハ前記ノ率ヲ以テ増加スルコト能ハサルニ至ルヘシ之ヲ人口増加ノ自然ノ抑制トス其他人口増加ニ人爲ノ抑制アリ不時ノ抑制アリ遠慮ノ抑制アリ人爲ノ抑制トハ人口増加シテ生計漸ク難キヲ覺ユルニ至レハ移住、出稼等ノ事起リ以テ其他ノ人口ヲ減スルヲ云フ元來移住ハ人世ノ難事人情ノ欲セサル所老幼ノ能ク爲シ得ル所ニアラス故ニ移住ヲ爲スモノハ主トシテ天下ノ壯者タルヲ通例トス又故國ニア

リテハ未タ其養育費用ノ返償ヲ得サルニ壯者ヲ失ヒ頗ル損失ヲ免レサルノ狀アリ然リト雖モ徒手爲スコトナキ餘剩ノ人口アラハ之ヲ他國ニ移住セシメテ殘餘ノ人民ヲシテ其全力ヲ生産ニ盡サシムレハ同額ノ生産物ヲ小數ノ人民ニ分ツノ利アリ又一國中人口ノ夥多ナル地ヨリ其稀ナル地ニ移住スルカ如キハ大ニ國中ノ生産ヲ増加シ勞力ノ效驗ヲ大ニスルノ利アリ然レトモ若シ制度其宜シキヲ失ヒ身體財產共ニ安全ナラス賦歛ノ重キ干涉ノ甚シキ又生産ノ衰頹ヲ來ス等ノ爲メニ他邦ニ移住スルノ已ムヲ得サルカ如キコトアルニ至ラハ速ニ其原因ヲ斷チ移住ヲ止ムルコトヲ力ムヘシ然レトモ其人口既ニ其國土ニ超過シ將ニ溢レントスル所ノモノヲ出スニ至リテハ却テ大ニ國家ノ經濟ニ利アルモノトス出稼モ亦其效驗ハ移住ト同クシテ却テ利益ノ大ナルモノアリ何トナレハ出稼ハ移住ノ如ク出テ、歸ラサルモノニアラス他邦又ハ國中他地方ニ於テ幾分ノ貯蓄ヲ得タル上之ヲ携ヘテ故郷ニ歸リ其一身ヲ立ツルモノナレハナリ

不時ノ抑制トハ病疫、戰爭等ノ如ク自然若クハ人爲ノ出來事ニ由リテ人口ヲ減

少スルヲ云フ抑疫病ノ禍タル當ニ生産ニ從事スル勞力者ノ數ヲ芟除スルノミ
 ナラス豫防療養埋葬等ノ爲メ巨額ノ費用ヲ要シ國家ノ富ヲ浪費スルハ世人ノ
 熟知スル所ナリ而シテ疫病ハ老幼ニ比スレハ壯者ヲ斃スコト多シ是レ壯者ハ
 其強ヲ頼ミテ自ラ不攝生ノ弊ニ陥ルニ由ル戰爭ハ國ノ壯丁ヲ斃スノミナラス
 其費用モ亦疫病ノ比ニアラス而シテ男女其數ノ比例ヲ失ヒ風饑ニ關スルコト
 ナシトセス實ニ世運ノ進歩スルニ從ヒ戰爭ノ害ハ益大ナルニ至レリ是レ巨太
 ノ建築商船工場橋梁等生産上ノ要具ニシテ戰爭ノ爲メ災害ヲ被ムルモノ大ニ
 増加スヘク又往々國家ノ生産事業ヲ停止セサルヘカラサルコトアルニ由ルナ
 リ
 又一身ヲ養フノ外ニ餘財ノ貯蓄ナク已ニ早く妻子ヲ養フノ費用ヲ負擔スレハ
 之カ爲メ生計ノ度ヲ低下スヘク又自己ノ能力ヲ發達スルコト能ハスシテ社會
 ノ位地ヲ墮サハルヘカラサルニ至ルハ自然ノ勢ナリ故ニ尙モ遠慮ノ心アルモ
 ノハ先ツ自己ノ才力ヲ磨キ其得テ社會ノ上流ニ立ツヘキ準備ヲ爲シ以テ豫メ
 財ヲ積ミテ妻子ノ養育ニ備ヘ然ル後ニ一家ヲ成立スルヲ通例トス凡ソ此ノ如

五

キ社會ニ於テハ早婚ノ弊少ク無謀ノ婚姻モ亦稀ニシテ自ラ人口ノ濫増ヲ抑制
 スヘシ之ヲ遠慮ノ抑制ト云フ實ニ是レ人口増加ノ抑制中ニ於テ最モ貴重スヘ
 キ所ノモノタリ元來生産上ニ於テハ人間カ父母タルノ力ヲ備フルハ前陳ノ如
 ク早キモノナリト雖モ男子ハ二十五歳女子ハ二十歳ニ達セサレハ神經未タ全
 ク發達セス筋骨未タ具ラス思想モ亦未タ定マラス故ニ其父母未タ右ノ年齢ニ
 達セサルモノ、産子ハ概テ體質孱弱腦力虛薄ニシテ夭折スルモノ亦少カラス
 其生長スルモノモ尙ホ且ツ健全ナルコトヲ得ル極メテ稀ナリ夫レ人類ハ生レ
 テ十六歳ニ至ルマテハ通例自活ノ力ナク養育ヲ父兄先輩ニ仰カサルヲ得ス故
 ニ其尙ホ幼ニシテ夭折スルカ如キハ實ニ資本浪費ノ極度ト云フヘシ又天性疾
 病多クシテ勞力ニ堪ヘス其生産スル所ノモノハ其消費スル所ノモノニ及ハサ
 レハ社會ノ損失固ヨリ尠小ナラサルナリ而シテ此等ノ弊ヲ生スルハ多クハ早
 婚ニ在リ豈ニ慎マサルヘケンヤ又無謀ノ婚姻トハ血統年齢性質貧富教育等ノ
 事ヲ意トセス只容姿ニ耽惑シ意氣相投スルヲ以テ結婚ヲ爲スヲ云フ夫レ血統
 ノ禍ハ之ヲ七世ニ傳フ豈ニ慎マサルヘケンヤ彼ノ肺病、腦病、神經病等ノ遺傳實

ニ恐ルヘキモノアリ而シテ年齢ノ懸隔ハ調和ヲ破ルノ恐アリ性質ノ不良ハ家室ヲ亂タスノ患アリ貧富一方ニ偏スルハ或ハ夫唱婦隨ノ弊ニ過キ或ハ牝雞晨スルノ災害ヲ醸サン教育ナクンハ子弟ニ家庭ノ教育ヲ布ク能ハス其他ノ流弊舉ケテ數フルニ暇アラス遠慮ノ抑制ハ能ク其弊ヲ絶ツモノト謂フヘシ是ニ於テ其尊ムヘキハ固ヨリ論ヲ待タサルナリ

人口ノ増加ヲ抑制スル原因ハ率テ此ノ如シ然ルニ不幸ニシテ勞力者輩ハ多クハ無學無識ニシテ深謀遠慮ニ乏シク抑制中最モ利益アル遠慮ノ抑制ノ如キハ其勢力上流社會ニ強クシテ勞力社會ニ弱キハ勢ノ免ルハ能ハサル所ナリ兵亂ノ如キハ人口ヲ減スルノ效驗スリト雖モ其間營業ヲ停止セサルヲ得サルモノアルヘク或ハ爲メニ營業ニ投スヘキ資本ヲ消耗シ從テ勞銀基金ノ高ヲ減少シ亂後ニ勞力者ノ艱苦ヲ増加スルコトナキヲ保セス此原因ニ由リテ人口ノ増加ヲ抑制スルハ只其數ヲ減少スルニ過キスシテ却テ大ニ其分配ヲ亂シ勞力社會ニ利益ヲ與フルモノナシ只遠慮ノ抑制ヲ以テ其利ノ最モ大ナルモノトス然リ而シテ彼等モ亦人間普通ノ腦力ヲ備フルモノタレハ宜シク遠慮ノ抑制ノ利ヲ

器減進歩
ノ勞銀ニ
於ケル效
驗

ルヲ悟リ深ク茲ニ鑑ミサルヘカラス先覺ノ士亦進ミテ之ヲ啓シ之ヲ導クノ勞ヲ取ラスシテ可ナランヤ

世運進歩ニ需要漸ク増加シ隨テ粗生品ノ需要増加スルトキハ其生産分配ノ業ヲ以テ偏ニ人工ニ委スルコト能ハス漸次器械ノ使用ヲ誘導シ來リテ頗ル勞力ヲ省略ス此ニ於テ器械ノ使用ハ如何ナル效驗ヲ勞力者ニ及ホスヤノ論題當然トシテ世ニ起レリ殊ニ彼ノ勞力者ノ如キハ事物ノ關係ヲ推究スルノ力ニ乏シク目下直接ノ影響ヲ考ヘ器械ヲ以テ勞力ニ換ヘハ勞力ノ需要ヲ減シ隨テ勞銀ヲ減スルニ至ルト爲シ器械ノ進歩ヲ以テ直ニ之ヲ勞力者ノ不利ト爲シ其使用ノ擴張ト改良器械ノ使用トヲ嫌厭スルノ弊アリ又新ニ器械ヲ使用スルハ勞力者頗ル之ヲ難シトスルノ實アリ蓋シ數年ノ間單ニ手足ノ勞ヲ取り會テ器械ノ用法ニ慣レサルカ若クハ舊式器械ノ使用ニ慣熟スルトキハ身體筋骨自ラ之ニ適合シ習性ト爲リ殆ト其勞働ヲ意トセサルニ至ルヲ以テ新ニ器械ヲ用フルカ又ハ新式ノ器械ヲ用フルニ於テハ舊慣其用ヲ失ヒ已ニ所謂古ル固マリニ固マリタル筋骨ヲ以テ更ニ新奇ノ動作ヲ試ミサルヲ得ス爲メニ頗ル困難ヲ覺ユル

ニ至ルヘシ是ニ於テカ新ニ器械ヲ用ヒ又ハ新式ノ器械ヲ用フルモノ往々其效
 驗ノ薄キヲ怪ミ頗ル其效用ノ如何ニ迷フモノ尠シトモ是レ只一時
 ノ效驗ノミ筋骨ヲ訓練スル六十日ヲ經ハ能ク新規ノ動作ニ堪ユヘシ而シテ苟
 モ新式改良ノ器械ニシテ其理ニ合フモノタラシメハ其使用ヲ繼續スレハ以テ
 最後ノ效驗ヲ全カラシムルヤ敢テ疑ヲ容レス一時ノ效驗ヲ以テ永遠ノ效驗ト
 シ不利ヲ萬世ニ傳ヘ以テ咬齧ノ悔ヲ殘スコト勿レ

斯ノ如ク器械使用ノ擴張ト新式改良器械ノ使用トハ一方ニ於テハ直接ニ勞力
 ノ需要ヲ減スルノ思アリ又一方ニ於テハ當初勞力者カ器械ノ使用ニ苦ムノ實
 アリテ其使用又ハ改良發明ノ實施頗ル難ク又勞力者ノ爲メニ不利ナルノ外觀
 アリト雖モ凡ソ勞銀歩合ハ資本家漫リニ之ヲ左右シ得ヘキモノニアラス又勞
 力者ノ意ヲ以テ容易ニ之ヲ昇降シ得ヘキモノニアラス其多少ヲ決スルハ必ス
 ヤ規矩ノ存スルアリ今若シ器械ノ使用又ハ改良發明ノ實施ノ爲メニ彼ノ勞銀
 基金ヲ減少スルノ實アラハ之ヲ以テ多少勞銀ノ歩合ヲ減少セサルヲ得ス器械
 ノ擴張進步ニ由リ此結果ヲ來スハ時ニ或ハ免ル、能ハサルノ數ナリト雖モ苟

モ其進步擴張ヲシテ眞ニ生産ノ増加ヲ助クルモノタラシメハ勞銀基金忽チ舊
 ニ復シ更ニ進ミテ舊ニ倍スルニ至ラン故ニ好シ一時ハ勞銀ヲ減少スルノ効驗
 アルモ器械使用ノ擴張改良發明ノ實施ハ結局勞力者ノ利益ト爲ルヲ常トス然
 レトモ若シ一國資本ノ総額ヲ増加シ之ヲ以テ固定資本ヲ増加スルニアラス
 テ急劇ニ固定資本ヲ増加スルトキハ其結果必ス流動資本ヲ減セサルヲ得ス之
 カ爲メ勞力社會ニ不利ヲ與フルハ勿論一國ノ生産上圓滑ノ動作ヲ失フハ已ニ
 生産ノ章ニ於テ論究シタルカ如シ故ニ不當ノ器械擴張ハ勞力者ノ利ニアラス
 又國家ノ利益ニアラサルナリ

凡ソ器械ノ擴張ハ結局勞力者ノ利益ト爲ルヲ通例ト爲スト雖モ精巧勞力ハ器
 械ノ改良發明ノ爲メニ永遠其精巧ノ利益ヲ失フノ實アリ例ヘハ茲ニ一製靴師
 アリ革ヲ斷チ靴ヲ縫フノ妙技ヲ得テ其製スル所ノ靴ハ品質佳良ニシテ且ツ其
 一日ニ製造スル所ノ分量ハ他同業者ノ得テ企テ及フ所ニアラス其技ノ精巧ナ
 ルカ爲メ他ノ同業者ニ比シテ二倍ノ勞銀ヲ得タリトセンカ然ルニ又精良ノ器
 械ヲ發明スルモノアリテ佳良ノ靴ヲ製造シ其品質彼ノ靴師ノ製造品ニ劣ラス

勞力者生計ノ困難

而シテ價格ニ於テハ却テ廉價ナルコトヲ得ハ彼レ其妙技ノ利ヲ壟斷スルコト能ハスシテ其自ラ有スル所ノ妙技ハ唯尋常一般ノ製靴師ニ比スレハ少シク顧客多キノ利アルカ又ハ普通ノ勞力者ヨリ少シク高キ勞銀ヲ以テ器械所ニ雇ハレ得ルガニ過キサレヘシ其妙技ヨリ生セシ特利ノ如キハ最早之ヲ施スニ地ナク永遠ニ之ヲ失却セサルヲ得ス然レトモ尙ホ技能ノ効能ハ全ク消滅セス勤クトモ尋常一般ノ勞力者ニ比シテ多少ハ大ナル収入ヲ得ルノ利アルヘシ

前數項ニ於テ論スル所ヲ以テ之ヲ觀レハ勞銀基金ハ資本増加ノ割合ニ其額ヲ加ヘス又人口ノ抑制ハ勞力社會ニ其勢力ヲ逞フスルコト能ハスシテ器械ノ進歩ハ結局勞力者一般ヲ利スルノ効驗アリト雖モ又一時其需要ヲ減少スルモノナキヲ得ス加フルニ世運ノ進歩人口ノ増加ハ粗生品ノ價ヲ高クシ又器械ノ進歩ニ由リテ大ニ生産費ヲ減シ其價格ヲ減スルヲ得ルモノ細民ノ需要品ニアラスシテ富民ノ需要ニ係ル中等以上ノ精巧品ニアリ其細民ノ需要ニ係ル粗生品ノ如キハ却テ漸次ニ其價格ヲ増加スルノ傾向アリ何トナレハ上等精巧品ノ如キハ其價格ノ大小ヲ決スルモノハ重ニ勞力ニ由リ粗生品ノ如キハ實ニ其價格

二

三

ノ一小部分タルニ過キサレドモ粗生品ニ至リテハ即チ然ラス其價格ノ高下ハ一ニ粗生品ヲ得ルノ難易ニ由レハナリ元來器械ノ進歩ハ能ク勞力ヲ省キ手數ヲ減スルコトヲ得ルト雖モ之ヲ以テ粗生品ノ價ヲシテ低下セシムルコト能ハス却テ其價ヲ増加スルノ傾向アリ何トナレハ器械増加セハ粗生品ノ需要ヲ増加スヘケレハナリ然レトモ土地ノ供給尙ホ餘リアルノ國ニ於テハ或ハ此需要増加ニ由リ農産ノ發達ヲ獎勵シ却テ粗生品ノ價ヲ下落スルノ効驗ナキヲ得サルコトアリ蓋シ此等ハ唯新國ニ望ムヘクシテ舊國ニ望ムヘカラス故ニ本文ノ効驗アルヲ通例トス故ニ其大利ヲ占ムルモノハ富民ニシテ細民ニアラス又人口ノ増加ニ從ヒ食物益其價ヲ加フルノ實アルヲ以テ勞力者將來ノ生計愈困難ナ極ムルノ勢アリト云フヘシ實ニ是レ大勢ノ向フ所固ヨリ人爲ノ奈何トモスルコト能ハサル所ナリ然リト雖モ人定マリテ而シテ後能ク天ニ勝ツ資本配當ノ道具宜シキヲ失ハス勞力社會ノ智力ヲ養ヒ其勞力ノ効驗ヲ増シ勤勉遠慮ノ念ヲ喚起シ以テ其地位ヲ進ムルコトヲ得ハ天爲ノ困難亦何ソ之ヲ避クルヲ難トトセン然ルニ世之ヲ悟ラス往々誤謬ノ見ヲ以テ之カ救濟ノ道ヲ求メントス

過ラサラント欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤ請フ今一步ヲ進メテ其救濟法ノ誤認ニ屬スルモノト眞正効力アルモノトヲ論セン

職工同盟
並ニ強請

勞力者ノ生計ハ今日已ニ難ク且ツ將來ニ益困難ヲ加フルノ傾向アルヲ以テ勞力者中屢團結ヲ爲シ互ニ疾病老後ノ費用ヲ補助シ又使役者ニ對シテ其望ム所ヲ請求セント欲スルトキハ同盟中一致團結シテ其要求ヲ爲スチ常トセリ之ヲ職工同盟ト云ヒ又連合ノ力ニ依リ強テ使役者ニ迫リ其望ム所ヲ請求スルヲ強請ト云フ而シテ此同盟ニ種々ノ規約アリ各自弟子ヲ取ルニ其人員ヲ定ムルカ如キ即チ其一ナリ由是觀之職工同盟ニハ二箇ノ目的アリ第一ハ互ニ疾病傷痍等ノ不幸ヲ助ケ老後ノ安樂ヲ補助スルニアリ第二ハ使役者ニ於テ勞銀ヲ減少セントスルトキ同盟中一致團結シテ一時ニ勞働ヲ罷メ強迫手段ヲ用ヒテ其減少ヲ拒ミ又ハ勞銀ノ増加ヲ請求スルニアリ其一致シテ勞働ヲ止ムルヲ同盟罷工ト云フ第一ノ目的ノ如キハ同業相憐ミ疾病老後ニ際シテ互ニ相幫助スルモノナレハ人情宜シク此ノ如クナルヘクシテ固ヨリ喙ヲ容ルヘキモノニアラスト雖モ第二ノ目的ノ如キハ大ニ論究スヘキモノアリ若シ夫レ營業ノ景況繁盛

ナラサルカ爲メ使役者ニ於テ勞力者ニ拂フ所ノ勞銀ヲ減セス尙ホ從前ノ高チ支拂フニ於テハ勢ヒ其營業所得ヲ減少セサルヲ得ス然ルニ依然從前ト等シキ歩合ヲ以テ之ニ給與スルトキハ營業ノ損失ヲ來シ最早其業ヲ停止スルノ外ナキ場合ニ際會スルモノナレハ此時ニ當リ使役者ニ反對スルノ同盟ヲ結ヒ其團結如何ニ強シト雖モ平常ノ貯蓄久シク罷工ヲ支フルコト能ハサルヤ知ルヘキナリ然ルニ使役者ニアリテハ此時ハ恰モ營業上利益ナキ時ナレハ概シテ其生産品ノ供給已ニ需要ニ餘ル場合ナルヲ以テ暫時休業スルモ敢テ意トスルニ足ラス却テ其利ナルヤ未タ知ルヘカラス若シ其時ニ方リテ強テ從前ノ勞銀歩合ヲ與フレハ實際損失ヲ被ルヲ以テ其業ヲ全廢セサルヲ得サルニ至ルヘク果シテ然ラハ目下此罷工ニ同盟シタル勞力者ハ終ニ一錢ノ勞銀ヲモ得ルコト能ハサルニ至ルヤ必セリ故ニ此ノ如キ時機ニ際シテ若シ同盟罷工ヲ爲スカ如キコトアラハ貯蓄久シク支ヘスシテ籠城長キニ堪ユルコト能ハス食盡キ勢屈シ遂ニ兇ヲ脱シテ使役者ノ軍門ニ降參セサルヘカラス果シテ然ラハ罷工中ハ其得ヘキ所ノ勞銀ハ之ヲ得ルコト能ハス加フルニ平常ノ貯蓄ヲ消費セサルヘカラ

サルカ爲メ勘定上所謂出入ノ差ヲ生シテ非常ノ損失ヲ被ルニ至ルノミナリト
ス

然リト雖モ使役者所得ノ歩合漸次ニ増加シ實際其所得ヲ勞力者ニ分與スルコ
トヲ得ヘキニ當リ尙ホ之ヲ與ヘサルカ如キコトアラハ勞力者ヨリ進ミテ勞銀
ノ増加ヲ請求シ彼レ若シ聽サレハ同盟罷工ヲ爲スモ妨ケナキモノトス實ニ
此時ニ方リテハ使役者ノ生産スル物品ハ其需要ヲ増加シ供給足ラスシテ其價
格ヲ騰貴シ使役者ハ異常ノ利益ヲ得ルヲ以テ勞力者ノ罷工ニ遭遇セハ需要ア
ル物品ヲ生産スルコト能ハスシテ恰モ龍ノ玉ヲ失フカ如キ思ヒアルヘシ故ニ
此場合ニ於テハ勞銀ノ増加ヲ請求スレハ使役者モ計算上之ヲ増加シ得ヘキ時
ナルヲ以テ罷工ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ抑同盟罷工ハ右ノ如ク時ニ或ハ勞
力者ノ爲メニ損失ヲ蒙リ時ニ或ハ利益ヲ生スルモノナリ然ルニ勞力者ハ大率
見聞狹ク深謀遠慮ナク事物ノ關係ヲ探究シ機ニ乘シテ着々其歩ヲ進ムルノ智
力ニ乏シク勞銀減少スレハ其原因ノ如何ヲ問ハス忽チ同盟罷工ヲ試ミ使役者
ノ利益多ク増給ノ目的ヲ達シ得ルノ機アルモ之ニ投スルノ才識ナク常ニ機ヲ

六

失ヒ敗ヲ取り尙ホ茫乎トシテ悟ラス殆ト傍觀スルニ忍ヒサルモノアリ先覺ノ
士能ク之ヲ導クニアラスンハ何ヲ以テカ彼等ノ地位ヲ進ムルヲ得ン然リ而シ
テ其宜シク罷工ヲ試ミルヘク其宜シク之ヲ試ミルヘカラサルノ機ヲ察スルハ
決シテ爲シ難キノ事ニアラサルナリ例ヘハ茲ニ多數ノ勞力者ヲ使用スル紡績
事業ニ従事スル者アリトセン生産ノ景況ニ變動アルニアラスシテ木綿ノ供給
漸ク市場ニ多ク其價格日ニ月ニ減少ヲ來スカ如キコトアレハ即チ是レ彼ノ所
得ノ歩合減少スル時ナリ此時ニ方リ若シ勞銀ノ減少アラハ宜シク柔順之ニ伏
スヘシ之ニ反シテ其價格日ニ月ニ増進スルトキハ即チ是レ使役者ニ於テ容易
ニ増給ヲ聽ルス時ナリ然リト雖モ使役者ヨリ進ミテ勞銀ヲ増加スルカ如キハ
同業者其他ヨリ勞力需要ノ競争ヲ始ムルニアラサレハ實地ニ於テ決シテ之ヲ
シト云フモ敢テ妨ケナカルヘシ故ニ斯ノ如キトキハ勞力者ヨリ進ミテ増給ヲ
請求シ聽カレサレハ罷工ヲ試ミルモ可ナリ勿論此等ノ駈引ヲ爲スハ無智ノ勞
力者等ノ能ク爲シ得ヘキ所ニ非ス今若シ有識ノ士ヲ推シテ同盟ノ盟主ト爲シ
常ニ内外市場ノ景況ヲ詳ニシ機ニ乘シ彼等ヲシテ進退其指揮ヲ受ケシメハ大

ニ益スル所アルヘシ勞力者ニ此同盟アルハ猶ホ兵士ニ隊伍アルカ如ク此盟主アルハ猶ホ隊伍ニ將校アルカ如シ先輩ノ士モ亦奮ヒテ以テ之カ盟主ト爲リ其進退ヲ指揮シ而シテ平時ニ在リテハ同盟中勞力者智識ノ進歩ヲ謀ラハ又以テ世ヲ利スルコト僅少ナラサルヘシ元來勞力者ハ天下人口ノ過半ヲ占メ以テ社會ノ基礎タルモノナレハ苟モ此基礎ニシテ鞏固ナラサレハ社會決シテ安寧ナルコトヲ得ス國力ノ伸張ヲ妨クルコト蓋シ僅少ニアラサルナリ勞力者社會ノ利益豈ニ夫レ之ヲ忽ニスヘケンヤ

職工同盟
ニ其利害並

職工同盟ハ互ニ困厄ヲ助ケ一致團結シテ同盟中ノ利益ヲ謀ルモノニシテ理ニ於テハ間然スル所ナシ加之其同盟罷工ヲ爲スモ只能ク其機ニ投スルコトヲ得レハ敢テ資本家ノ利益ヲ傷ハス同時ニ勞力者ヲ利スルコトヲ得ヘシト雖モ職工同盟ハ素ト無智ノ細民無學粗暴ノ徒ノ集合ナルヲ以テ其罷工ヲ爲スヤ概テ時機ヲ過リ同盟中罷工ニ同意セサルモノアレハ暴行ヲ加ヘ強テ之ニ同意セシメ或ハ資本家ノ身體財産ヲ傷ヒ器械ノ使用ヲ拒ミ其改良ヲ歎ハス或ハ資本家ノ同盟外ノ勞力者ヲ使用スルヲ拒ミ他地方ヨリ勞力者ヲ輸入スルヲ妨ケ資本

家カ同盟外又ハ他地方ノ勞力者ヲ用ヒントスレハ彼等ハ忽チ罷工強迫ノ勢ヲ現ハシ資本家ヲシテ不自由ヲ感セシメテ以テ自己等ヲ用ヒシメントシ或ハ同盟中ノ人員ヲ増加セサルカ爲メ故ラニ其人員ヲ限リ弟子見習ノ數ヲ限リ又同盟中ニ種々ノ規則ヲ設ケ力メテ事業ヲ遷延セントスル(例ヘハ瓦ヲ運搬スルニ一回五枚以上ヲ運フヘカラス且ツ之ヲ運フトキハ決シテ疾走スヘカラスト云フカ如シ)カ如キハ職工同盟ノ通弊ナリ其他之ニ類スルノ流弊舉ケテ數フルニ違アラス是等ハ皆國家ノ資本ヲ増殖スル本旨ニ悖戾シ一時或ハ同盟中ノ勞銀低落ヲ防クノ實アルモ決シテ勞力者一般ノ勞銀歩合ヲ維持スルノ效アルニアラス又資本ノ總額敢テ増加セス或ハ却テ資本ノ所得歩合ヲ減少スルニ方リ強テ同盟中ノ勞銀歩合ヲ維持セントスルトキハ之カ爲メ同盟外ノ勞力者ノ勞銀ハ著シキ減少ヲ來スヘク又之ヲ以テ同盟中ノ人員ヲ限ルニ足ルヘシト雖モ是レ決シテ一般勞力者ノ數ヲ減スルノ效アルニアラス然ラハ則チ同盟ノ人員ヲ限ルハ只害アルモ利ナキヲ見ルヘシ然ルニ同盟中有識ノ士ヲ推シテ盟主トシ平素ノ貯蓄ヲ勸メ諸般ノ宿弊ヲ矯正シ且ツ機ニ投シテ前項論スル所ノ進退ヲ

指揮セハ職工同盟モ亦以テ大利ナキニアラサルナリ而シテ資本家中亦同盟アリ相議シテ以テ勞銀ノ騰貴ヲ防遏ス同業者中約束ヲ爲シテ勞銀ノ歩合ヲ定メ甲ノ使用スル所ノ勞力者其勞銀歩合ノ低キヲ怒リ去リテ乙ノ使役ニ服シ割合善キ勞銀ヲ得ント欲スルモ甲乙ノ間ニ約束アルヲ以テ乙ハ彼等ノ爲メニ勞銀ヲ増加セス丙ニ至リテモ同様丁ニ至リテモ同斷ニテ勞力者ヲシテ去就ヲ自由ニスルコト能ハサラシム然ルニ若シ盟主ヲ推サスシテ唯烏合ノ徒ヲ以テ團結組織アルノ徒ニ當ルカ如キコトアレハ是レ隊伍ヲ爲サスシテ戰フモノナリ其利ナキヤ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ

○ 共同法

農工商百般ノ事業ヲ發達伸暢セント欲セハ宜シク資本家勞力者ノ利益ヲ等クシ相馴レ相親ミ彼等ヲシテ互ニ父子兄弟ノ思ヲ爲サシムヘシ然ルニ方今資本家勞力者ノ間尙ホ斯ノ如キ親密ノ關係ナク一方ハ勞力購買者ノ地位ニ立チ一方ハ勞力販賣者ノ地位ニ立チ互ニ永遠ノ利益ヲ忘レ賣買者ノ利益ハ決シテ相反スルモノニアラス何トナレハ購買者ヨリ不當ニ低ク買ハントスレハ良品ノ供給ヲ減シ販賣者ヨリ不當ニ高ク賣ラント欲セハ需要ヲ減シ到底雙方ノ損失

トナルモノナレハナリ目下ノ少利ニ眩惑シ互ニ安買高賣ヲ試ミ甚シキニ至リテハ資本家勞力者互ニ相敵視シ資本家ハ機會サヘアラハ勞銀ヲ減少セントシ勞力者ハ器械器具ノ取扱ヲ粗暴ニシテ使用品(器械ニ用フル油石炭等ヲ云フ)ノ用ヲ慎ミ心ヲ業務ニ委テス時間ヲ竊ミ使役者ノ眼ヲ掠メ勞力ノ效驗ヲ減シ動モスレハ罷工強請ヲ企テ以テ資本ノ増殖ヲ妨ケ勞銀基金ノ減少ヲ來シ却テ自ラ其禍ニ陷ルコトヲ知ラサルモノ滔々タル天下皆是レナリ今此等ノ弊ヲ矯正セント欲セハ資本家勞力者ノ利益ヲ一ニシ資本家ヲシテ勞銀歩合ノ高キハ敢テ其損失ニアラス勞力者ヲシテ資本所得歩合ノ増加ハ則チ自身ノ利益タルコトヲ知ラシムルニ若クハナシ而シテ其之ヲ爲スハ資本家殊ニ勞力者ノ智力ヲ進ムルニアリト雖モ斯ノ如キ心事ノ進歩ハ一朝一夕ノ能クシ得ヘキ所ニアラス故ニ他ニ適當ノ良法ヲ求メサルヘカラス其良法トハ何ソヤ曰ク彼ノ共同法ナルモノ是レナリ蓋シ共同法トハ資本所得普通ノ歩合例ハ一割ヲ超過セハ其超過シタル部分ハ之ヲ分テ資本家及勞力者中ニ配當スヘシト定メ又故ラニ小額ノ株券ヲ發行シ勞力者中僅少ノ貯蓄ヲ有スルモノヲシテ之ヲ購買セ

シメ勞力者ヲシテ半ハ資本家半ハ勞力者勿論超過部分ノ配當ハ之ヲ受クルナ
 リトシテ其會社ノ事業ニ從事セシムルヲ云フモノナリ果シテ此法ヲ用フルヲ
 得ハ無智無謀ノ勞力者ト雖モ現ニ勞力ヲ勵ミ且ツ器械器具ハ粗暴ノ取扱ヲ爲
 サス使用器ハ之ヲ濫用セサル等其他使役者ノ爲メニ一切ノ注意ヲ爲セハ勞銀
 ノ外更ニ得ル所アルヲ知ルヘク又已ニ幾分ノ貯蓄ヲ爲シテ小額ナリトモ其平
 生從事シ居ル所ノ會社ノ株券ヲ得タルモノハ勞銀ノ外更ニ其株券ニ對シテ割
 賦ヲ得ヘク(斯ノ如ク株券ニ勞力者ノ貯蓄金ヲ放下セシムルハ其貯蓄ヲ獎勵ス
 ルノ效驗アリ何トナレハ彼輩小額ノ貯蓄ヲ以テ銀行ニ預ケ又ハ公債證書ヲ購
 買スト雖モ其利子歩合甚タ少ク未タ之ヲ以テ貯蓄ヲ誘導スルニ足ラスト雖モ
 之ヲ株券ニ放下スレハ其得ル所ハ元金ニ對シ通例利子ノ歩合ヨリ多ケレハナ
 リ)不知不識ノ間ニ勞力者ノ勤勉ハ資本家ヲ利シ資本家ノ利益ハ又勞力者ノ利
 トナルノ眞理ヲ解シ使役者モ亦勞銀ヲ増セハ以テ大ニ勞力ノ效驗ヲ増加シ嚴
 格ノ監督ヲ要セス(監督ノ要ヲ減スルヲ以テ此方法ハ農業運搬事業ノ如キ監督
 ノ届キ難キ事業ニ最モ利アリ)生産費ヲ減スルノ利益アルヲ知リテ勞銀高キモ

四

五

敢テ資本所得ノ歩合ヲ減セサルノ事實ヲ認メ資本家及勞力者ノ間互ニ相敵視
 スルノ妄念此ニ釋然トシテ氷解スルコトヲ得ヘク是ニ於テ彼ノ同盟罷工強請
 等ノ弊ハ假令全ク其跡ヲ絶ツヲ得サルモ尙ホ大ニ其數ヲ減シ其害ヲ輕クスヘ
 キヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ果シテ然ラハ國家ノ生産ヲ増加シ資本ノ増殖ヲ助
 ケ勞銀基金ヲ増加スルハ期シテ待ツヘキナリ而シテ此事タル生産ノ費用ヲ省
 キ分配ヲ容易ニスルノ便アルヲ以テ物價從テ下落スルコトヲ得ヘク間接ニ勞
 銀ヲ増加スル亦僅少ナラサルヘシ

共同法ニ
 對スル駁
 論

共同法ノ利益タル右ノ如ク夫レ大ナリ然ルニ世其效驗ヲ以テ甚タ薄ント爲シ
 之ヲ駁スルモノアリ其言ニ曰ク共同法ノ利アルヤ敢テ疑ヲ容ルヘカラスト雖
 モ勞力者ノ智力進歩セサレハ其效驗甚タ薄カルヘシ何トナレハ共同法ハ勞力
 者ニ一時利益ヲ與フルニ由リ忽チ人口ヲ増加シ其増加勞銀基金増加ノ割合ニ
 超過シ却テ勞力者ノ不幸ヲ釀成ズヘケレハナリト此言タル實際ノ事情ヲ酌量
 シテ論據ヲ人口ト勞銀基金トノ比例ニ取ルモノナレハ必スシモ理ナキノ論ニ
 アラサルカ如シ元來勞力者ノ無智無謀ナル生計少シク寛裕ナレハ忽チ人口ヲ

増加スルハ蔽フヘカラサルノ事實ナレハ此點ニ於テハ敢テ喙ヲ容ル、ニ由ナ
 シト雖モ是レ未タ其一ヲ知リテ其二ヲ知ラサルモノト云フヘシ蓋シ勞力者ノ
 無智無謀ナルモ尙ホ能ク人間普通ノ智力ヲ備フ豈ニ福利ノ愛スヘク貧困ノ厭
 フヘキヲ知ラサランヤ若シ茲ニ其道ヲ開キ其地位ヲ進ムルハ敢テ非常ノ難事
 ニアラサルヲ示サハ必ス翻然自ラ悟ル所アラン然ラハ則チ令セシテ勤勉ノ
 風ヲ爲シ禁セスシテ無謀ノ舉動ヲ防遏セン而シテ其地位ノ進ムニ從ヒ遠慮ノ
 念モ亦生スヘキナリ假令當初ハ之カ爲メ其地位ヲ進ムル者甚々多カラスシテ
 一時或ハ論者ノ言ノ如ク人口増加ノ效驗ヲ生スルコトナキニアラサルヘシト
 雖モ星移リ時替ルニ從ヒ其進ムモノト其退クモノトノ間ニ著シキ苦樂ノ差違
 ナ生スヘク而シテ此差違ヲ見テ其進ムノ易キヲ知ラハ必ス各自皆奮ヒテ以テ
 逸樂ヲ得ンコトヲ力ムヘシ世豈ニ故ラニ好ミテ苦楚ヲ嘗ムル者アランヤ是レ
 最モ親易キノ理ナリ且ツ諸國ノ共同法ヲ實施シタルモノカ皆其好結果ヲ得タ
 ルハ掩フヘカラサルノ事實ナリトス抑方今勞力者社會ノ賤視セラル、所以ノ
 モノハ勞力者自ラ招ク所ナリト雖モ亦何ソ其地位ヲ進ムルノ難キニ由ルナキ

六

ヲ得ンヤ人生一度艱難ノ地位ニ陥リテ容易ニ之ヲ脱却スルコト能ハスンハ終
 ニ自棄自暴ニ至ルハ蓋シ自然ノ勢ナリ然ルニ方今勞力者ノ地位敢テ艱難ナキ
 ニアラス其自棄自暴ノ弊ニ陥リ不當ノ人口増加ヲ見ル亦已ムヲ得セルモノト
 云フヘシ一度之ヲシテ寛裕ノ地位ニ進マシムレハ即チ勤勉ノ風遠慮ノ念ヲ生
 スヘシ其人口増加ノ抑制ニ效力アル敢テ疑ヲ容レサルナリ而シテ勞力者ノ進
 歩ハ素ヨリ教育ニアリト雖モ心事ノ發達ヲ以テ良俗ヲ天下ニ普及スルハ固ヨ
 リ至難ノ事ニシテ一朝一夕ノ能クシ得ヘキ所ニアラス宜シク教育ノ外尙ホ之
 ナ導クノ捷路ヲ求メサルヘカラス而シテ之ヲ求ムル決シテ難キニアラス即チ
 前述フル所ノ共同法ノ存スルアリ若シ一方ニハ共同法ヲ行ヒ利ヲ以テ之ヲ導
 キ一方ニハ教育ヲ以テ心事ノ發達ヲ謀リ内外相待チテ之ヲ進メハ富源ノ發達
 勞銀基金ノ増加ヲ見ル敢テ難キニアラサルナリ由是觀之共同法ハ人口不當ノ
 増加ヲ抑制スルノ一方法ト云フコトヲ得ヘシ何ソ之ヲ以テ其増加ノ原因ト爲
 スヲ得ンヤ故ニ論者ノ言ノ如キハ其一ヲ知リテ未タ其二ヲ知ラサルモノト謂
 フヘキナリ

資本家勞力者互ニ共同シ營業所得ヲ分配スルノ利益ハ已ニ説ク所ノ如シ茲ニ
又勞力者中ノ共同法アリ其方法ハ勞力者互ニ儲金シテ一商店ヲ設ケ日常ノ需
用品ヲ卸賣問屋若クハ其生産地ヨリ直ニ買入レ更ニ之ヲ其店ヨリ通常ノ市價
ニテ購買シ後日出金ノ高ニ應シテ其利益ヲ分配スルカ又ハ只買入元價ニ加フ
ルニ店費ノミヲ以テシタル價ニテ之ヲ購買スルモノトス斯ノ如クシテ設立シ
タル店ヲ共同店ト號ス此方法ノ利益タル良品ヲ低價ニテ購買シ得ルニ在リテ
實際勞銀ノ増加シタルト其效驗ナ同クスルモノナリ今ヤ英國ニ於テハ此方法
盛ニ行ハレ各地ニ共同店ヲ組織シ方今ニ至リテハ此共同店巨額ノ資本ヲ有シ
殆ト普通ノ麵包屋八百屋其他ノ小賣店ヲ壓倒スルノ勢アリ而シテ其區域ヲ分
配ノ業ニ止メス更ニ進ミテ此共同法ヲ以テ生産ノ業マテモ經營スルモノ尠カ
ラス然レトモ米國ニ於テハ未タ共同店ノ發達ヲ見ス是レ蓋シ英國ニ於テハ勞
力者社會ノ生計已ニ難キカ爲メ之カ必要ヲ感スルニ由ルト雖モ抑又該國ニ富
裕閑散ノ人多クシテ勞力者生計ノ進歩ヲ謀ルカ如キ舉アルハ其智力ト時間ト
ヲ假スニ吝ナラサルニ由ルナリ而シテ此方法タル必スシモ之ヲ勞力社會中ニ

限ルニアラス中等社會ニ在リテモ之ヲ爲スニ於テ毫モ憚ル所アラサルナリ故
ニ英國ニ於テハ勞力者ハ勿論小吏ノ如キニ至リテモ相團結シテ此共同店ヲ設
置スルニ至レリ官吏ハ自身ニ店番ヲ爲シ物品ノ仕入等ヲ爲スコトヲ得サルハ
英國ニ於テモ固ヨリ我邦ト異ナルコトナント雖モ其之ニ資金ヲ出タスハ敢テ
差支ナキモノトス
前ニ陳スルカ如ク共同店ニ二様アリ而シテ其物品ヲ通常市價ニテ販賣シ後ニ
利益ヲ配當スルト初メヨリ低價ニ物品ヲ販賣スルトハ自ラ得失ノアルアリ第
一ノ方法ニ從ヘハ他ノ小賣店ト競争スルコトナク後日利益ノ配當ヲ受クレハ
多少纏マリタル金員ヲ一時ニ得ルカ故ニ之ヲ以テ直ニ其店ノ株ヲ増加スルコ
トヲ得ヘク又ハ之ヲ以テ新ニ家具衣服ヲ購ヒ以テ其生計ノ進歩ヲ後年ニ傳フ
ルコトヲ得ヘシ且ツ此方法ニ從ヘハ自己ノ購買高ニ對シテ割戻ヲ得ルヲ要セ
ズ出金高ニ對シ利益ノ配當ヲ得レハ可ナルヲ以テ同盟外ノ人ト雖モ此店ト取
引スルニ差支ナシ故ニ營業ヲ擴張シ資本ノ運轉ヲ一層銳敏ニスルノ利アリ第
二ノ方法ニ從ヘハ在來ノ小賣店ト競争ヲ起スヲ免レス或ハ他店ノ忌ム所トナ

リ却テ其發達ヲ妨クルコトナキヲ保セス又同盟外ノ人トハ自由ニ取引ヲ爲スコト能ハサルヘシ何トナレハ物品ノ低價ナルカ爲メ同盟外ノ人先チ爭フテ此店ニ來レハ物品ニ依リテハ(例ヘハ青物ノ類)時ニ或ハ品切レトナリ之カ爲メ資本ヲ出ダセシ人ノ需用ニ應スルコト能ハスシテ其資本ヲ出ダセシ人ハ却テ他店ニ至リ高價ニテ之ヲ買ハサルヘカラサルカ如キコトアルナキヲ保セサルヲ以テ終ニ共同店ヲ設立セシ時ニ豫期シタル利益ヲ全收スルコトヲ得サルニ至ルコトアルヤモ計ラレサレハナリ故ニ此場合ニ於テハ同盟中ノ人ニ先取ノ權ヲ有セシメテ唯殘餘ノミヲ他人ニ賣ラサルヲ得サル事トナルヘシ然ラハ則チ第一ノ方法ニ據レハ同盟ノ人ハ假令他人ノ需要ノ爲メ此店ニ物品ノ不足ヲ生スルカ如キコトアレハトテ他店ニ至リテ之ヲ買フモ固ヨリ(尤モ物質ハ少シク劣ルコトナキヲ保セサルヘシト雖モ)後日ニ至リテ右ノ共同店ヨリ利益ノ配當ヲ受クルコトナレハ之カ爲メ敢テ損失ヲ被ルコトナカルヘシ然レトモ第二ノ方法トテモ亦其利ナキニアラス何トナレハ現在物品ヲ低價ニ販賣スルヲ以テ其設立容易ナルヘク(他店ノ妨碍ナケレハ)又微々タル配當金ヲ受取ルカ爲メニ

故ラニ勞ヲ執ルカ如キ煩ナケレハナリ蓋シ此配當金ヲ受取ルカ如キハ傭人等ヲシテ物品購買ノ序ヲ以テ受取ラシムレハトテ敢テ不便ナキカ如シト雖モ金錢ノ授受ニハ自ラ法式アリ又妄ニ傭人等ニ印章ヲ委託スルコト能ハサルノ事情モアルヘシ故ニ大都會ニ於テハ却テ第二ノ方法ヲ以テ便利トスルコトアリ(然レトモ小市街ニテ勞力者ノ徒カ設立スルモノハ第一ノ方法ヲ便ナリトス)凡此共同店ノ組織ハ常ニ一定ノ需要者アリ且ツ現金拂ニシテ掛賣ヲ爲サハルモノナルカ故ニ資本ノ運轉速ニシテ物品モ亦隨テ新鮮ナルヲ得ヘシ仕入ヲ爲スニモ現金ヲ以テスルコトヲ得ヘキカ故ニ精良ノ物品ヲ低價ニ得ルノ利アリテ掛賣ノ如ク代價ノ滯リト云フコトナキヲ以テ利益ノ割合モ亦大ナリ(英國ニテハ小賣營業ノ掛賣代價滯リノ損失ヲ償フカ爲メ通例物品代價ニ二割ノ割増ヲ掛クルト云フ)由是觀之共同店ノ方法ハ勞力者其他ノ爲メニ頗ル利益アルモノニシテ其效驗ハ實際勞銀ノ増加シタルト異ナルコトナク却テ單ニ勞銀高ノ増加シタルヨリ利アリト云フヘシ何トナレハ勞力者多クハ自ラ營業ノ株主トナリ資本分力ノ關係ヲ知ルノ一助トナルヘケレハナリ

勞力者ノ救濟ニ關シ尙ホ前法ニ次キテ用フヘキモノアリ即チ家屋改良同盟療養法、小兒養育法、資金貸付法等ノ如キ是ナリ此等ノ救濟法ハ事小ナルカ如シト雖モ其實必スシモ然ラスシテ頗ル勞力者チ利シ勞力ノ效驗チ増シ勞銀基金ノ增加チ致スノ效力アリ請フ其重要ナルモノニ就キテ聊カ之ヲ辯セン

家屋ハ人間三大需要ノ一即チ住チ供スルモノニシテ其構造ノ不適當ナルハ衛生上ノ害アルコト勿論風儀ニ關スルコトモ亦甚カラス大ニ注意スヘキモノトス然ルニ家屋チ建築シテ之ヲ勞力社會ニ貸付クルチ生計ト爲スモノ多クハ主トシテ収利ノ如何ノミチ唯是レ謀リ未タ衛生上ノ風儀上ノ點ニ注意スルニ暇アラス之カ爲メ不適當ノ家屋チ建築スル者頗ル多シ而シテ家賃ノ高下ハ大體上ヨリ之ヲ論スレハ固ヨリ家屋ノ需要供給ノ景況如何ニ由ルヘシト雖モ單ニ勞力者救濟ノ點ヨリ之ヲ觀レハ彼等ノ住家ハ其價格ノ割合ニ家賃ノ高キ憾アリ故ニ細民ノ進歩チ謀ルニ熱心ナルモノ相集マリテ一社チ組織シ空氣ノ流通光線ノ受方間取ノ都合、厨廁井戸ノ位置、下水ノ疏通等ニ注意シ家屋チ建築シテ之ヲ勞力者ニ貸付ケ以テ相當ノ家賃ヲ收ムルノ方法アリ此方法タル勞力者ハ同

額ノ家賃ヲ以テ健康ノ住居チ得ヘク從テ其身ノ健全チ増スヘキモノナレハ勞力ノ效驗チ増加スルニ裨益アルコト蓋シ少カラサルヘシ而シテ計算上ニ於テモ家屋所有者ニ損失チ與フルモノニアラス何トナレハ家屋所有者ハ當然ノ家賃チ徵收スルモノナレハナリ英國ニ於テハ右ノ趣意チ以テ已ニ二千有餘ノ建築會社チ設立シ社員ハ八十四萬人ニ達シ通例年四分ノ純益アリト云フ方今英國ニ於テハ公債證書ノ利子甚々低ク其利子三分ニ達セサルチ以テ年四分ノ利益ハ決シテ薄利ト云フヘカラス又右建築會社ニテ年賦チ以テ家屋チ現住者ニ賣渡スノ方法アリ此ノ如クスルトキハ一方ニ於テハ勞力者ノ少シク餘裕アルモノハ數年ノ後ニ一家屋ノ所有者トナルノ望アルカ故ニ務メテ儉約チ爲シ又大ニ家屋ノ保存ニ注意シ一方ニ於テハ會社ハ速ニ資本チ取戻スコトチ得テ益其事業チ擴張スルノ便アリ勿論建築會社ハ普ニ勞力者ニ適當スル家屋チ建築スルニ止マラス中等社會ニモ家屋チ供スルコトチ得ルモノトス

同盟療養法トハ勞力者同盟シテ一團結チ爲シ月ニ五錢若クハ十錢又ハ其勞銀ノ百分ノ一ト云フカ如キ小額チ醜金シ相當ノ醫師チ選ミテ每月之ニ給料チ與

へ以テ同盟中ニ疾病怪我等アルトキハ直ニ診察投薬ヲ請フコトヲ得ルモノト
 ス高價ノ藥種六ヶ敷キ手術等ヲ要スルトキハ定マリノ月給ノ外ニ療養費ヲ要
 スルコトアルヘシト雖モ又右ノ體金ヲ以テ疾病等ノ時々支拂ニ充ツルモ妨ケ
 ナカルヘシ斯ノ如クナレハ一人ノ力ヲ以テ療養シ能ハサルノ疾病ト雖モ容易
 ニ治療ヲ受クルコトヲ得ヘク數人ノ力ヲ合スト雖モ一時烏合ノ力ニテハ醫ス
 ル能ハサルノ難病モ尙ホ能ク之ヲ療治スルコトヲ得ヘシ果シテ然ラハ努力ノ
 效驗ヲ増加スルコト敢テ疑ヲ容レサルナリ

小兒養育法ハ努力者ノ改良ヲ計ル者ノ設立スル所ニシテ其努力ノ效驗ヲ増ス
 コト蓋シ擲カラズ往時ノ如ク男女妙齡ニ至レハ其意ノ如何ヲ問ハス父母ノ意
 ニ由リ強テ之ヲ結婚セシムルカ如キ時勢ニ於テハ或ハ已ムヲ得サルモノアリ
 ト雖モ此弊習ヲ脱シタル社會ニ在リテハ結婚ヲ爲スト爲サ、ルトハ唯各自ノ
 隨意ナルヲ以テ其尙ホ妻子ヲ養フノ餘力ナキニ早ク已ニ妻ヲ迎へ一家ヲ成ス
 カ如キハ其不當ナルコト固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然リト雖モ方今ノ實況ヲ見
 ルニ家長死スルトキハ妻子ハ其餘財ニ依リテ生計ヲ營マサルヲ得ス是レ蓋シ

大ニ勞力社會ノ情況ヲ變スルコトアルニアラサレハ假令萬世ヲ經ルモ之ヲ實
 地ニ望ムヘカラス故ニ兒子未タ成長セスシテ夫死スレハ妻ハ子ヲ抱キテ路頭
 ニ迷フノ不幸ニ陥ラサルヘカラス幸ニシテ裁縫洗濯等ノ術ヲ知ラハ其技ヲ以
 テ僅ニ其生ヲ送ルコトヲ得ヘシト雖モ子ヲ抱キテ此等ノ事業ヲ爲スハ甚タ困
 難ノ事ナレハ之カ爲メ遂ニ母子共ニ餓餓ヲ免レスシテ哀ヲ他人ニ請ハサルヘ
 カラサルニ至ルコトナキヲ保セス又夫ニシテ妻ニ別レ乳母ヲ雇フノ餘力ナケ
 レハ小兒ヲ抱キテ日々勞力ニ従事スルコト能ハサルヘシ又親戚朋友中ニ孩子
 ノ父母ヲ失フモノアラハ自ラ責任アルノ子ニアラスト雖モ人情自ラ前陳ノ如
 キ不幸ヲ蒙ル者ナキヲ得ス故ニ是等ノ不幸者ノ爲メ小兒養育院ヲ設ケ毎朝就
 業前ニ小兒ヲ預ケ毎夜業終ルノ後之ヲ抱キテ家ニ歸ラシメ相當ノ代價ヲ取ル
 ヲ法トス若シ男子ノ親又ハ親分タルモノニシテ費用ヲ支フルコトヲ得ハ之ヲ
 院中ニ留メ置クモ可ナリ此方法ニ據レハ子ヲ抱キテ爲シ能ハサル所ノ努力ト
 雖モ克ク之ヲ爲シ得ヘク又子ヲ背ニシテ十分ノ努力ヲ爲シ得サルモ之ヲ他ニ
 托スレハ能ク其全力ヲ盡スコトヲ得ヘシ其努力ノ效驗ヲ増スコト蓋シ僅少ニ

アラサルナリ

資金貸付ノ方法ハ種々アリト雖モ其詳細ノ如キハ銀行論ニ屬スルカ故ニ此ニハ唯其一方方法ナル保證貸ノ法ヲ論スルヲ以テ足レリトセン蓋シ保證貸トハ技藝熟達精神有爲ノ壯年輩世ニ出テントスルニ方リ資本ヲ缺キ其技能ヲ逞フスルコト能ハサルモノアレハ二人以上ノ先進者其事情ヲ銀行ニ通シ自ラ保證人トナリテ資金ヲ借ルノ便ヲ與フルモノナリ例ヘハ茲ニ大工ノ一弟子アリトセシ此者技藝ヲ學フコト數年能ク其技ニ熟シ且ツ天性勤務ノ質ヲ具ヘ將來名工トナルノ望ミアリ然ルニ名聲未タ顯ハレス資金ヲ借ラント欲スレトモ之ヲ願ル者ナク或ハ之ヲ借リ得ルモ勢非常ノ高利ヲ拂ハサルヲ得ス然ラハ則チ彼レ其師ニ優ルノ器量アリト雖モ之ヲ實地ニ施スコト能ハスシテ其勞力ノ效驗ヲ失フコト頗ル大ナルヘシ然ルニ若シ此方法ニ依リ資金ヲ借ルコトヲ得ハ資本勞力共ニ備ハリ直ニ彼カ數年學フ所ノ技能ト天稟ノ才トヲ實地ニ施スコトヲ得ヘシ是レ只彼一身ノ勞力ヲ増スノ利ニ止マラス又大ニ一般勞力ノ效驗ヲ増加スルモノト云フヘシ

前數項ニ論スルモノハ皆勞力ノ效驗ヲ増加シ勞銀基金ヲ増加シ以テ勞銀ヲ増加スルノ效力アリ假令直接ニ之ヲ増加セスト雖モ其效驗ハ之ヲ増加シタルト異ナラサルヘシ故ニ皆是レ民ヲ救ヒ世ヲ益スルノ方法ト云フヘキナリ然ルニ世々々之ヲ誤リ婦人ノ仁ニ倣ヒ或ハ貧者ニ一椀ノ飯ヲ惠ミ或ハ乞丐ニ數錢ヲ投シ以テ得色アル者少カラス是等ハ決シテ勞力ノ效驗ヲ増加スルモノニアラス却テ懶惰心ヲ獎勵スルニ過キス苟モ細民ノ改良進歩ヲ謀ラントスルモノ、爲スヘキ事ニアラサルナリ人ヲ救助セント欲セハ宜シク彼等ヲシテ獨立自活ノ道ヲ得セシメンコトヲ力ムヘシ否ラサレハ助ケント欲シテ却テ之ヲ害フニ至ルヘシ豈ニ慎マサルヘケンヤ

又茲ニ細民ノ貧窮ヲ救ハント欲シテ政府ノ權ヲ借リ富民ノ産ヲ割キテ之ヲ細民ニ與ヘント欲スルモノアリ之ヲ號シテ社會黨即チ「ソシヤリスト」ト云ヒ又彼等ノ主張スル主義ヲ社會主義即チ「ソシヤリズム」ト云フ是レ決シテ勞力ノ效驗ヲ増加スルニアラス細民救助ノ法ヲ得タルモノト云フヘカラス然ルニ人口漸ク稠密ヲ致シ細民ノ生計稍難キニ方リテハ該黨ノ說頗ル勞力ヲ得ルノ傾向ア

社會主義

リ請フ次ニ其安ヲ辯セン

勞力社會ノ生計ヲ改良セント欲セハ其數ヲ減スルカ否ヲサレハ勞銀基金ヲ增加スルノ外又他ニ方法ナキハ已ニ之ヲ論究セシカ如シ然ルニ彼ノ社會黨ノ輩ハ世運ノ進歩ニ貧富ノ懸隔漸ク甚シキヲ致スヲ見テ以テ政府ノ權力ヲ借リ富民ノ餘財ヲ割キテ之ヲ貧民ニ與ヘ以テ貧富ノ平均ヲ計ラントス其意ハ好ミスヘント雖モ其方法ニ至リテハ大ニ誤レリ故ニ世ニ寸益ナクシテ却テ勞力者ヲ害スヘシ世亂レ制度頽廢スルニ方リ亂臣賊子ノ輩詭激ノ言ヲ恣ニシ名ヲ社會主義ニ借リ以テ細民ヲ煽動スルモノアリ豈ニ懼レサルヘケンヤ抑國民ノ財ヲ蓄フルヤ逸樂ヲ後年ニ求メ餘榮ヲ子孫ニ傳ヘント欲スルニ由ル而シテ其財ヲ積ムノ難キハ前章ニ於テ論スル所ノ如シ今夫レ社會黨ノ欲スル所ニ據リ富民ノ餘財ヲ割キテ之ヲ貧民ニ分與セハ誰カ目下ノ快樂ヲ棄テ、後年ノ爲メ財ヲ積ムモノナランヤ其生産ニ從事スル者ト雖モ只自ラ消費スル所ノモノヲ生産スルヲ以テ足レリトス敢テ力ヲ盡シテ餘財ヲ積ムモノナカルヘシ偶、衆ニ擢ンテ、能ク多財ヲ生産スルノ力アルモノト雖モ直チニ其生産物ヲ消費スルノミ

ニシテ敢テ財ヲ積ミ富ヲ致スノ念ヲ存セサルヘシ一般人民ノ如キハ勞働ヲ爲スト雖モ其得タル所ハ僅ニ一家ヲ支フルニ止マリ之ヲ爲サスト雖モ亦能ク凍餒ヲ免ルヲ得ヘキヲ以テ誰カ勤勉其勞ヲ執リ後年ヲ慮ルモノアランヤ只懈惰逸樂ヲ事トシ富民ノ膏血ヲ絞リテ以テ一生ヲ過コスノ念ヲ盛ニスルニ過キサ

ルヘシ果シテ然ラハ細民中人口ノ増加ヲ抑制スルモノナク富ノ減少ト人口ノ増加ト交、相來リテ大ニ勞銀ノ歩合ヲ減少シ細民ノ艱苦更ニ數層ヲ加フルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

社會主義ノ内財産平分說ノ如キハ其不利不當ナルハ勿論決シテ其實效ヲ見ルコト能ハサルナリ今夫レ非常ノ威力ヲ用ヒテ一國一郡若クハ一村ノ財産ヲ其住民ノ間ニ平分センカ人間死生ノ變アリ嗜好ノ別アリ今日ノ平分ハ決シテ明日ノ平分ニアラズ忽チ變動懸隔ヲ來スヘシ夫レ貧富ハ苟モ人間ニ智力、腕力、健康等ノ差アル以上ハ決シテ免ル、コト能ハサル所ノ現象タリ偶、僥倖ニテ巨大ノ富ヲ得ルモノアリト雖モ是レ固ヨリ非常ノ事ニシテ決シテ人間ノ常事ヲ以テ論スヘキモノニアラス然ルニ彼ノ社會黨ノ輩ハ之ヲ悟ラス結果ニ就キテ事

ヲ論シ其原因ニ遡ルコトヲ知ラス猶ホ其形ヲ捕ヘント欲シテ其影ヲ逐フカ如キモノナリ其勞シテ功ナキヤ論ヲ俟タサルナリ今更ニ數歩ヲ譲リ彼等ノ説ヲシテ實施スルコトヲ得ヘキモノト爲スモ其世ニ益ナクシテ害アルハ既ニ論スル所ノ如シ而シテ彼等ノ平均ヲ求メント欲スルヤ常ニ強者ヲ剝キテ弱者ニ與ヘンコトナカムルヲ以テ一般ニ一國生計ノ度ヲ低落スルノ效驗アルヲ免レス是レ所謂平準降等ノ法ニシテ決シテ國家ノ進歩ヲ謀ルノ道ニアラサルナリ平均ヲ求メント欲セハ宜ク平準昇等ノ法ヲ取ルヘシ蓋シ平準昇等ノ法トハ弱者ヲ進メテ強者ニ接近セシメ以テ強弱懸隔ノ度ヲ減スルニアリ前數項ニ論スル所ノ共同法等ノ如キハ則チ平準昇等ノ法ト云フヘキモノナリ社會主義ノ如キハ平準降等ノ法ヲ取リ國家ノ進歩ヲ妨ケ再ヒ人民ヲシテ野蠻ノ域ニ陥ラシメントスルモノナリ何ソ思ハサルノ甚シキヤ

以上論スル所ノモノヲ以テ之ヲ觀レハ勞力社會ノ改良ヲ謀ルノ術ナキニアラスト雖モ又之ヲ妨クルノ法アリ其當否ヲ識別シテ道ヲ開クヤ固ヨリ多少ノ智力ヲ要スヘシ方今勞力者ノ無智無識ナル能ク之ニ應スルモノ少シ先覺ノ士能

勞銀ノ高キハ營業者ノ不利ニアラス

ク之ヲ導キ之ヲ啓クニアラスンハ焉ツ生民ヲ塗炭ニ救ヒ生産ノ擴張勞銀基金ノ増加ヲ致スコトヲ得ンヤ江湖ノ大家幸ニ力ヲ假スニ吝ナラサレハ邦家ノ隆盛期シテ待ツヘキナリ

營業所得ト勞力トハ共ニ生産分配ノ通路ニシテ勞銀高ケレハ自然營業所得ヲ減スルノ狀アリ又勞銀ハ未タ生産ヲ了セサルニ先チ營業者カ其資本ヲ以テ一時繰替エルモノタルカ故ニ勞銀ヲ以テ直チニ生産ノ費用ト看做シ其高キハ營業ノ發達ヲ障害シ營業所得ヲ減スルモノナリト思フ者多シト雖モ是レ決シテ然ラス勞銀ノ高キハ必ス之カ原因ナカルヘカラス若シ其原因ヲ詳ニセハ其歩合ノ高キト營業所得ノ多キトハ同一ノ原因ヨリ生スル所ノ結果ナルコトヲ知ルヘシ元來勞銀ノ増加ヲ致スモノハ彼ノ勞銀基金ノ増加ニアリ此基金ノ多キヲ加ヘント欲セハ各種ノ營業利益多クシテ此基金モ配當スル所ノ資本總額ヲ増加セサルヘカラス果シテ然ラハ營業ノ利益アルハ其之ニ從事スル所ノ勞力者ノ報酬ヲ増加スル原因トナルヘシ而シテ營業ニ利益アレハ營業所得ヲ増加スル固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ營業ノ利益アルハ其之ニ用フル資本勞力

ノ效驗多キニ由ル故ニ勞銀ノ高キハ即チ勞銀ノ效驗多キニ由ルモノニシテ營業者ノ不利ト云フヘカラス是レ只理論ノ以テ然リトスルノミナラス古今ノ實例以テ能ク此事ノ虛ナラサルヲ示スヘキナリ今チ距ルコト凡ソ四十年前彼ノカリフオルニヤ州及濠州ニ金坑ヲ發見スルヤ勞銀俄ニ増加シ其盛時ニ於テハ普通ノ勞力者ニシテ一日ニ五圓ノ勞銀ヲ得ルニ至レリ而シテ營業者ノ利益ヲ得タルヤ又此時ヲ以テ最トス然ルニ金坑ノ産出漸ク減シ營業者ノ利益減スルニ及ヒテ勞銀モ亦減少セリ又北米合衆國ノ西方ハ沃野千里ノ地其麥作ニ適スル天下無雙ト稱ス故ニ農夫ノ勞銀ノ高キ實ニ四海ニ冠タリ是レ其從事スル所ノ事業大ニ天利ヲ有シ勞力ノ效驗大ナルニ由ルニアラスシテ何ソヤ由是觀之勞銀ノ高キハ營業所得ノ多キト其原因チ同クシ互ニ兄弟姉妹ノ關係ヲ爲スモノナレハ其高キハ營業者ノ不利ニアラス而シテ其低キハ決シテ營業者ノ利益ニアラスシテ其所得ノ減少ニ由リ已ムチ得サルニ出ツルモノタルコトヲ知ルニ足ルヘシ

各箇勞力者ノ勞銀

勞銀ノ多少ヲ決スル所ノ原因ハ之ヲ全局ヨリ論スレハ勞銀基金ト勞力者人口

ノ多少ヲ決スル原因

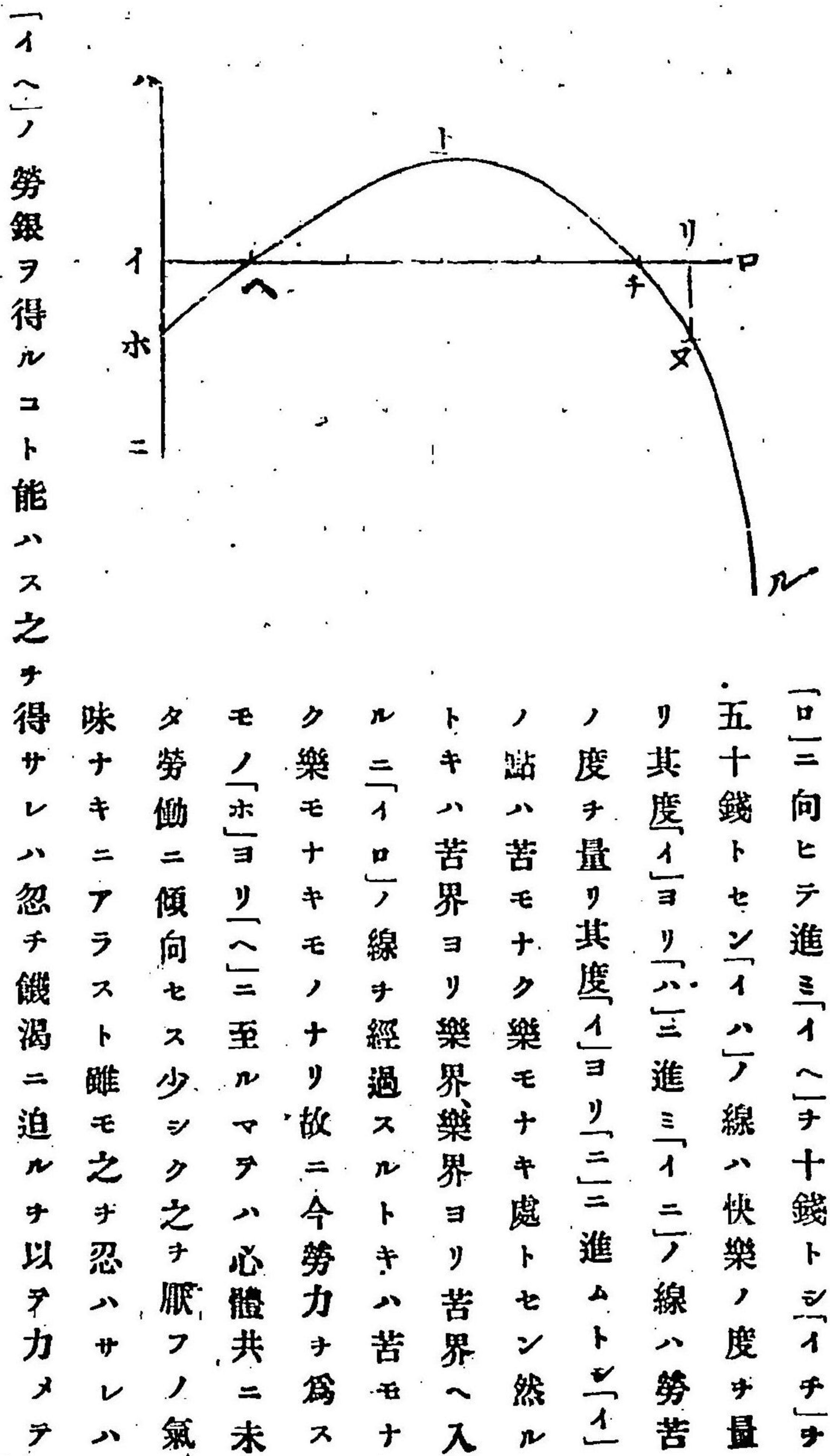
ノ關係如何トニアルハ已ニ論スル所ノ如シ今一步ヲ進メテ其局部ニ付キ勞銀ノ多少ヲ決スル原因ヲ説カン

第一 勞力ノ難易 勞力ノ難易ハ其分量ト時間トヲ以テ之ヲ算スルナリ同

一ノ勞力ト雖モ勞働ノ度ヲ重テ時間ノ數ヲ増加セハ必ス之ニ多クノ報酬ヲ與ヘサル可カラサルハ皆人ノ知ル所ナリ是レ實ニ單純ノ事實ナリト雖モ理ニ於テハ未タ此ノ如ク簡單ナラサルモノアリ蓋シ人間ニハ日用缺クヘカラサルノ需用アリ此需用ヲ充サンカ爲メニハ必ス多少ノ勞苦ヲ厭ハサルヘシ故ニ意ヲ決シテ勞働ヲ爲ストキハ其初メハ勞苦ヲ感セス却テ勞働ノ爲メ快ヲ覺ユルコトアルヘキモ其時間長キヲ加フルニ從ヒ體疲レ神倦ミ非常ノ高報ヲ得ルニアラサレハ耐忍ノ念慮ヲ生セシムルニ足ラス然レトモ勞働ノ度劇カラス時間ノ數多カラサレハ身體ノ疲勞心神ノ倦厭ナキヲ以テ敢テ高報ヲ要セサルヘシ只當初ニ於テ未タ決セサルノ意ヲ決セシメ未タ起キサルノ身體ヲ起サシムルヲ以テ足レリトス此事ニ就キテハ英人セヴオン氏曾テ一圖解ヲ製セリ請フ今事ノ解シ易カラシカ爲メ之ヲ

次ニ掲出セン

次ノ圖ニ於テ「イロ」ノ線ハ勞力ノ報酬ト其長短トナ量ルモノニシテ「イ」ヨリ



「イ」ノ勞銀ヲ得ルコト能ハス之ヲ得サレハ忽チ饑渴ニ迫ルヲ以テ力メテ

「ホ」ノ勞苦ヲ忍フヘシ然レトモ已ニ勞働ヲ始メテ半時間若クハ一時間ヲ經過セハ大ニ之ニ染ミ敢テ勞働ヲ苦トセス「ト」ニ達スルマテハ樂ヲ増シ其レヨリ「チ」ニ至ルマテハ絶ヘス之ヲ減スヘク而シテ「チ」ニ至レハ已ニ平日ノ勞銀ヲ得タルモノナレハ又他ニ求ムル所ナカルヘシ然ルニ尙ホ更ニ進ミテ勞力ニ従事スレハ即チ勞苦ノ界ニ入ラサルヲ得ス故ニ進ミテ勞苦ヲ忍ヒ僅ニ勞銀ヲ増加センヨリハ寧ロ之ヲ止メテ逸樂ヲ求ムヘシ之ヲ勞力停止ノ點トス彼レ若シ非常ノ勉強家ナレハ「リス」ノ勞苦ヲ忍ヒ「チ」ノ増報ヲ得ヘシト雖モ之ヲ起過セハ勞報相償ハス必ス他ニ非常ノ報酬ヲ得サレハ勞働ニ従事セサルヘシ

其他勞力ノ性質ニ由リテ自ラ難易ノ別アリ其度ノ強弱ニ依リ報酬ニ厚薄アルヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ

第二 危險ノ多少 勞力ノ性質ニ依リ勞力者ノ健康身體ニ危險ナルモノアリ即チ傳染病者ノ取扱其排泄物ノ運搬是等ハ次ニ論スル嫌厭ノ元素モ甚タ多シ劇藥ノ調劑等ハ皆健康ニ害アリ又岩上ノ石切り鑛山ノ坑夫等ハ他

業ニ比シテ頗ル危険ヲ冒スモノナリ之ニ反シテ農夫植木屋人足等ノ如キハ殆ト身體ノ危険アルコトナシ故ニ是等ノ間ニ於テ勞銀ニ差違アルハ實地疑フヘカヲサルコトナリ又名譽ヲ汚損スル所ノ勞力アリ是等ノ勞働ハ勞銀ノ高キヲ通例トス

第三 勞力ノ合意嫌厭 勞力ノ性質ニ依リ健康ニ害ナク名譽ヲ損セス大ニ勞力者ノ意ニ適フモノアリ花園ノ手入り小細工物ノ製造ノ如キ即チ是ナリ之ニ反シテ屠牛死豚取扱等ノ如キハ人情ノ望マサルモノナレハ勞力ノ割合ニハ高報ヲ要スヘシ

第四 永久ノ勞力一時ノ勞力 永久ニ繼續スル事業ノ定備ナレハ絶ヘス勞銀ヲ受クルノ望アルヲ以テ勞銀ハ少シク低クシテモ満足スヘシト雖モ一時ノ事業ノ爲メニ備入ル、勞力者ハ同様ノ勞力ヲ爲サシムルニモ勞銀ノ割合少シク高カラサルヲ得ス例ヘハ避暑場等ニテ一時備入ル、給仕人ノ如キハ市街ノ旅店ニテ備入ル、モノヨリハ其勞銀高キヲ通例トス

第五 勞力者天稟ノ性質 是ハ頗ル勞銀ニ關係スルモノナリ仕事ノ性質ニ由リ勞力者ノ鋭敏緻密其他之ニ類スル性質ヲ要スルモノアリ是等ハ其性質ノ爲メニ非常ノ高報ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第六 信任ノ多少 金錢ノ出納財産ノ管理等ノ如ク特ニ勞力者ニ信任ヲ置カサルヘカラサルモノアリ此等ニハ其信任ノ多少ニ由リ報酬ノ多少アルヘシ即チ銀行會社等ノ役員財産ノ管理人等ハ其勞力ノ割合ニ勞銀甚々高キモノトス

勞力者各個ノ勞銀歩合ヲ決スル原因ハ大略斯ノ如シ勞力者ノ輩ハ宜シク此理ヲ察シ甲種ノ勞力者ハ之ヲ乙種ニ比シテ割合ニ勞銀高シ是レ不公平ナリト云フカ如キ無法ヲ唱ヘテ同盟罷工等ノ事ヲ爲スヘカラス勞銀歩合ヲ決スルニハ其全局ニ於テモ亦局部ニ於テモ自ラ動カスヘカラサルノ理アリ此理ヲ究メヌ妄ニ其増減多少ヲ論スルハ是レ無法ノ說ナリ世ヲ害シ民ヲ賊フハ無法ヨリ甚シキハナシ勞銀増減ノ理ハ深ク之ヲ講究セサルヘカラサルナリ
貸付料トハ所有ノ財産ヲ他人ニ使用セシメテ受クル所ノ報酬ヲ云フ元來財産ヲ所有スルハ過去ノ勞力ト節儉トノ結果ナリ其勞力ノ困難ナル節儉ノ耐忍ヲ

貸付料ノ釋義

地代
小作料

要スルハ既ニ之ヲ説ケリ焉。此困難ト耐忍トニ報ユル所ナカルヘケンヤ而シテ現今及將來ハ此過去ノ勞力ト節儉トノ結果ニ依リ大ニ益セラル、ヲ以テ此益ノ幾分ヲ割キテ之ニ酬ユルハ蓋シ自然ノ理ナリ然ルニ其報酬タル生産ニ取ラスンハ之ヲ出タスノ道ナシ故ニ貸付料ハ分配ノ一通路トナルモノトス。貸付料中最モ吾人ノ注意ヲ要スルモノハ土地ノ貸付料即チ小作料トス何トナレハ其方法如何ニ由リテ大ニ生産ニ影響スルヲ以テナリ蓋シ小作料トハ土地ノ所有主ヨリ土地ヲ借受ケ資本勞力ヲ用ヒテ收穫ヲ得其幾分ヲ土地使用ノ報酬トシテ地主ニ支拂フモノヲ云フ小作法ニ數種アリ曰ク競争小作法曰ク年期小作法曰ク習慣小作法トス諸國ニ於テ種々ノ小作法アレトモ要スルニ此三者ノ外ニ出テサルナリ競争小作法トハ土地ヲ借受クルモノ、競争ニ任セ最モ高キ小作法ヲ拂フモノニ土地ヲ貸付ルモノヲ云ヒ年期小作法トハ五年若クハ十年ト云フカ如ク豫メ年期ヲ定メ置キ一ケ年若干ト小作料ヲ定メテ之ヲ拂フモノヲ云ヒ習慣小作法トハ收穫高ノ三分ノ一若クハ四分ノ一ト云フカ如ク習慣ニテ定リタル高キ小作料トシテ地主ニ納ムルモノヲ云フ元來世運ノ進歩スル

競争小作料

ニ從ヒ諸事習慣ニ據ルノ風ヲ脱シ競争事ヲ爲スノ俗ヲ養成スルハ勢ノ免レサル所ニシテ小作料ノ如キモ亦之ニ漏レサルナリ方今諸國ニ於テ競争小作法ノ年々發達スルノ勢アリ英國ノ如キハ概ネ皆競争ヲ以テ小作料ヲ定メ習慣小作法ハ殆ト絶ヘテ其痕跡ヲ見サルカ如キノ景況ヲ致セリ。競争小作料ハ現耕最下等地ノ生産力ト高等耕地ノ生産力トノ差違ヨリ生スルモノトス例ヘハ食品ノ需要ハ曩ニ五十一頁ニ示シタル圖式ノ「甲一」「甲二」若クハ「乙一」及「甲三」「乙二」若クハ「丙二」ノ三ヶ所ノ地面ヲ耕シテ足ルトセン然ルトキハ「甲二」若クハ「乙一」ノ小作料ハ其生産力ト「甲三」「乙二」若クハ「丙一」ノ生産力ノ差違ニシテ「甲一」ノ小作料ハ其生産力ト「甲三」「乙二」若クハ「丙一」ノ生産力トノ差違ニアリ「甲三」「乙二」若クハ「丙一」ノ如ク現耕地ノ最下等ニ位スルモノヲ耕作限度ノ土地ト云フ其土地ハ多額ノ小作料ヲ拂フコト能ハス僅ニ名目ノモノ小作料ヲ拂フニ過キス今人口増加マ食品ノ需要増加スレハ勢「甲四」「乙三」「丙二」若クハ「丁一」ノ如キ下等ノ土地ヲモ耕サ、ルヘカラサルニ至ルヘシ之ヲ耕作限度ノ降下ト云フ此時ニ至レハ曩ニハ只名目上ノ小作料ヲ拂ヒタル「甲三」「乙二」等ノ土地モ最早最下等

ニアラスシテ其土地ノ生産力ト「甲四」「乙三」等ノ如キ新最下等ノ土地ノ生産力トノ差違丈シテ小作料トシテ地主ニ納メサルヲ得サルナリ今事ノ解シ易カラシカ爲メ一等地若干ハ農業者ニアリテハ生産ノ費用ヲ差引キ正味百石ノ收穫二等地ハ正味九十石三等地ハ正味八十石四等地ハ正味七十石ヲ得ルモノトシテ方式ヲ以テ前陳ノ理由ヲ示スコト次ノ如シ

元來農業モ一營業ナレハ相當ノ營業所得ナカルヘカラス今第一ノ場合ニ於ケルカ如ク三等地ハ耕作限度ノ地ニ位シ之ヲ耕ス者ハ正味八十石ヲ得レハ相當ノ營業所得アル者トセン然ルニ二等地ヲ耕ス者ハ正味九十石ヲ得ルヲ以テ若シ小作料ヲ拂ハサレハ是レ固ヨリ非常ノ營業所得ヲ得ルモノナリ故ニ三等地ヲ耕ス某甲ハ其利ヲ見テ地主ニ請ヒ我ニ二等地ヲ貸與セハ我レ五石ノ小作料ヲ拂フヘシト云ハン又三等地ヲ耕ス乙某ハ八石丙某ハ九石丁某ハ九石九斗ヲ拂フヘシト云ハン然ラハ現ニ二等地ヲ耕シ居ル者モ二等地ヨリ逐出サレ三等地ヲ借ラサルヲ得サルニ至レハ八十石ノ正味ヨリ外ニ得ル所ナカルヘシ故ニ生産力少キ三等地ヲ借ランヨリ寧ロ十石ノ小作料ヲ出タシ舊地ニ據リテ八十

六

七

第 小 作 料	2 0	=	1 0	=	0
一	8 0	=	8 0	=	8 0
ノ	8 0	=	8 0	=	8 0
場	1 0 0	-	9 0	-	8 0
各地收穫高	2 7 0				
合	(一)	(二)	(三)		

土地等級 (一) (二) (三)

ク二百七十石ヲ以テ之ヲ養フコト能ハス更ニ七十石ヲ増加セサルヲ得ス然ルニ三等以上ノ土地ハ已ニ餘地ナケレハ四等地ヲ耕サ、ルヘカラス此四等地ヲ耕スニモ相當ノ利益ナカルヘカラサルヲ以テ其若干ヲ耕スニ正味七十石ヲ得ハ相當ノ利益アルモノトセン然ラハ三等地ト四等地トハ其生産力ニ十石ノ差違アルヲ以テ前陳ノ道理ニ由リ三等地ハ其地主ノ爲メ十石ノ小作料ヲ納メサ

レハ之ヲ借受クルコト能ハサルヘシ之
ト同一ノ理ニテ五等地ヲ耕サ、ルヲ得
サルニ至レハ四等地ハ五等地ト其生産
力ヲ異ニスル丈ケノモノヲ小作料トシ
テ支拂ハサルヲ得ス斯ノ如ク耕作限度
ノ地降下スル毎ニ其地ヨリ高等ニ位ス
ル土地ハ必ス小作料ヲ増加スルモノト
スルナリ

第	二	ノ	場	合
小	各地收穫高	土地等級		
作		(一)	1 0 0	- 7 0 = 3 0
料		(二)	9 0	- 7 0 = 2 0
		(三)	8 0	- 7 0 = 1 0
		(四)	7 0	- 7 0 = 0
			3 4 0	

已ニ論ニタルカ如ク營業所得ノ歩合ハ世運ノ進歩スルニ從ヒテ減少スヘク又
勞銀歩合ハ世運ノ進歩ト同比例ヲ以テ増加スルコト能ハスト雖モ小作料ハ則
チ然ラスシテ人口資本ノ増加其他種々ノ進歩ニ由リテ常ニ増加スルモノナリ

小作料ハ
世運ノ進
歩ト共ニ
増加ス

而シテ其増加ノ度最モ甚シキハ競争小作料ニアリト云フヘシ何トナレハ土地
ハ人口資本ノ増加ト共ニ増加スルコト能ハス其供給ニ限リアレハナリ今資本
及生産ノ景況ニ變動ナクシテ人口増加セハ食品ノ價格必ス騰貴セサルヘカラ
ス食品ノ價格騰貴セハ農業者ノ利益他業ノ利益ニ超過スルヲ以テ資本勞力ノ
之ニ向フ者多キヲ致シ忽チニシテ土地ノ競争ヲ起シ農業利益ノ他ノ營業利益
ニ超過スルノ高ハ悉皆小作料トシテ之ヲ地主ニ納メサルヲ得サルニ至ルヘシ
又他ニ變動ヲ起スコトナクシテ資本増加セハ其幾分ハ農業ニ向ヒ土地ノ需要
ヲ増加スヘク好シ其増加悉ク他業ニ向フトスルモ他業ニ於テ營業所得ノ歩合
ヲ減少スレハ農業ノミ其所得ノ歩合ヲ保ツコト能ハサルハ自然ノ勢ナルヲ以
テ地主ハ必ス小作料ノ増加ヲ請求スヘシ此時ニ當リテ農業者ハ地主ノ請求ヲ
容レスシテ他ニ其資本勞力ヲ使用スルモ地主ノ請求ニ從ヒ小作料ヲ増加スル
モ其得ル所ノ利益ハ共ニ同シカルヘキヲ以テ終ニ地主ノ請求ヲ拒ムコト能ハ
サルヘシ又地主ヨリ請求セサレハ斯ノ如キ場合ニハ自ラ競争ヲ起シテ忽チ小
作料ヲ増加セサルヲ得サルニ至ルヘシ

又人口資本ニ増加チ來サ、ルモ學術ノ進歩ニ由リ或ハ是迄ハ耕作スルコトヲ得サリシ土地ニ適スル植物ヲ見出シ或ハ新規ニ肥料ヲ發明シ或ハ簡便ナル耕作器械ヲ發明シ或ハ道路ノ開鑿改良等ニ由リ運搬ノ便チ増ス等ノ事アレハ進歩以前ニハ耕スモ利益ナカリシ土地ニシテ相當ノ利益ヲ生スルニ至ルヘク隨テ大ニ小作料ヲ増スコトヲ得ヘシ然ルニ實際ニ於テハ人口資本ノ増加各種ノ進歩改良ハ相伴フテ起ルモノナレハ小作料ハ世運ノ進歩ニ從ヒ頻リニ増加シテ殆ト其底止スル所ヲ知ラサルノ勢アリ

競爭ハ勉強チ獎勵シ世運ノ進歩ヲ助ケ世運ノ進歩ハ競爭ヲシテ益其勢チ盛ナラシメ以テ互ニ因トナリ果トナリ競爭ノ世チ利スルコト固ヨリ少カラス故ニ競爭小作法ノ如キモ資本チシテ自由ニ農事ニ向ハシメ以テ農産ノ發達チ促スノ效力アリト雖モ又其不便チキニアラス茲ニ甲農業者アリテ一區ノ地チ借受ケ大ニ資本チ放下シ其地チ改良シ其生産力チ増加セリトセン然ルトキハ其所得ハ他人ノ土地ニ超過シ大ニ利益チ得ヘシ然ルニ乙某アリ其利益チ見テ地主ニ至リ甲ノ納ムル所ノ小作料ヨリ大ナル小作料チ出シテ其地チ借ラント云ハ

競爭小作
法之不便
並之方
法之方

、地主ハ其所有地ヨリ所得ノ多キチ得ンコトヲ欲スルハ勿論ノコトナルニ由リ甲チ退ケテ乙ニ其所ヲ貸付ント欲スルハ蓋シ人情ナルヘシ果シテ然ラハ甲ハ其資本チ放下シ其利益チ他人ニ讓ルチ好マス尠クトモ其改良ノ效驗(能ク肥料ヲ施キハ三年間ハ其效力チ保ツテ通例トス然レトモ其長短ノ度ハ固ヨリ土地ノ性質ニ因リ大差アリ總テ含蓄力ノ強キ土地ハ效驗長ク其弱キモノハ短シ)チ用ヒ盡スマテハ土地チ保タンコトヲ欲シ忽チ甲乙ノ間ニ競爭チ起シ又小作料チ増加スヘシ斯ノ如クナレハ甲ハ改良ノ全利チ收ムルコト能ハス從テ其改良チ爲スノ念慮チ挫折シ却テ土地ノ精力チ盡スノ患アリ故ニ農産品ノ増加及其品位ノ改良ハ期シ難カルヘシ然リト雖モ此不便チ避クルノ方法チキニアラス例ヘハ茲ニ前記ノ某甲ハ其借地ヲ乙ニ讓ラサルチ得サル場合ニ於テハ相當ノ鑑定法チ設ケ甲ノ放下シタル資本ノ餘力丈ケノモノヲ乙ヨリ償ハシメハ甲モ聊カ資本チ失フコトナク自由ニ土地チ改良スルコトヲ得ヘク乙モ亦甲ノ改良ノ結果チ奪ハント欲シテ妄ニ競爭チ爲サ、ルヘシ地主モ亦借地人ノ資本チ以テ土地ノ生産力チ増加シタルカ爲メニ小作料チ増加セス苟モ之チ増加セン

ト欲セハ其資本ヲ償ヒ然ル後之ヲ増加スルモノトセハ借主ニ於テ聊カ躊躇セ
ス土地ヲ改良スルコトヲ得ヘシ現ニ英國ニ於テハ舊借受人ノ土地ニ放下シタ
ル資本ノ餘力尙ホ存スルモフアレハ新借受人之ヲ償フノ法アリ斯ノ如クセハ
競争小作ノ方法ヲ用フト雖モ決シテ不便ナク其害ヲ避ケ其利ヲ收ムルコトヲ
得ヘシ

法 年期小作

年期小作法トハ五年十年若クハ九十九年ト云フカ如ク長短ノ年限ヲ定メテ土
地ヲ借受ケ其間ハ一定ノ小作料ヲ納ムルモノヲ云フ此方法ニ從ヘハ年限中ハ
借受ケタル土地ヨリ逐出サル、ノ患ナク又其土地ヲ改良シテ收穫ヲ増加スル
トモ小作料ヲ増加セサルヲ以テ安ンシテ事業ニ從事シ十分ニ資本ヲ放下スル
コトヲ得ルカ故ニ是レ頗ル便利ナルカ如シト雖モ又一方ヨリ論セハ此法ニモ
自ラ不便ナキヲ得ス例ヘハ年限中農業者ニ於テ其事業ヲ怠リ大ニ收穫ヲ減シ
又ハ農産ノ價格増加ニ因リ借受人ニ於テ十分ニ土地ヲ利用セスト雖モ小作料
割合ニ低キカ爲メ實際ノ不便ヲ感セサルヲ以テ勢農業者ヲ勉メサルカ如キコト
アルモ他ノ農業者來リテ競争ヲ試ミ以テ現借受人ヲ逐出スコト能ハサルニ因

リ全局面ヨリ之ヲ論スレハ年期小作ノ方法ハ一國農産ノ發達ヲ妨ケ其供給ヲ
増加スルコト能ハサルノ不便アリ故ニ此法モ廣ク之ヲ使用スルコト能ハサル
ナリ

法 習慣小作

習慣小作法トハ收穫ノ三分ノ一若クハ四分ノ一ト云フカ如ク豫メ比例ヲ定メ
テ地主ニ小作料ヲ納ムルモノニシテ其比例ハ國々ノ慣習ニ據リテ定マルモノ
トス佛蘭西、伊太利ノ如キハ方今此方法尙ホ盛行ハル今此方法ニ據レハ農業
者大ニ資本ヲ土地ニ放下スルモ其利益ヲ地主ニ分タサルヲ得サルヲ以テ自然
資本ノ使用ヲ妨クルノ患ナシトセス而シテ豊年ニ於テモ凶歲ニ於テモ等シク
一定ノ割合ヲ地主ニ拂ハサルヲ得サルヲ以テ豊年ニ於テ五穀ノ價廉ナルトキ
ハ地主ノ收入ヲ減スルコトアリ又凶歲ニ於テハ却テ地主ノ收入ヲ増加シテ農
業者ニハ實ニ僅々タルモノヲ剩スノ不便アリ農業者若シ巨大ノ資本家ニシテ
手廣ク農業ヲ營ムモノナレハ或ハ農産物ノ騰貴ニ由リ損失ヲ免カル、コトヲ
得ヘシト雖モ唯僅少ノ地面ヲ借受ケテ自ラ耕スモノナレハ或ハ其食料ヲ剩
サ、ルノ極ニ至ルコトナキヲ保セス是レ頗ル不公平ノ結果ヲ生スルモノト謂

持地耕作法

フヘシ又此方法ハ毎年收穫ノ高ヲ定メサルヲ得サルニ由リ地主ト借受人トノ
間ニ紛議ヲ生スルノ不幸ナキヲ保セス
持地耕作法トハ農業者自ラ土地ヲ有シ自ラ之ニ資本ヲ放下シ自ラ之ニ勞力ヲ
施シテ耕作スルモノヲ云フ此場合ニ於テハ一身ニテ地主資本家勞力者ノ三資
格ヲ兼帶シ居ルカ爲メ小作料營業所得勞銀ヲ併セテ之ヲ自身一人ニ收ムルコ
トヲ得ヘシ即チ此方法ニ從ヘバ資本ヲ放下シ勞力ヲ勵ミ收益ヲ増加セハ以テ
其利益ヲ一人ニテ全收スルコトヲ得ルカ故ニ之カ爲メ頗ル土地ノ生産力ヲ増
加シ得テ其便利大ナルカ如シト雖モ此方法ニ於テハ到底大仕掛ノ農業ヲ營ム
コト能ハサルヘク隨テ新發明ノ大器械ヲ用ヒ以テ勞力ヲ省略シ生産費ヲ減少
スルコト能ハサルヘシ又自己ノ所有地中ニ沼池等アリ之ヲ放水セハ良田ヲ得
ヘク又隣地ニ川池沼澤等アリ其水ヲ引キテ我カ所有地ニ灌溉セハ良田ヲ得ル
コト甚タ容易ナリト雖モ隣地所有主ノ同意ヲ得ルニアラサレハ則チ能ハサル
カ如キコトアラン左レハ爲シ得ヘキノ改良モ得テ之ヲ爲スコト能ハサルノ不
便アリ然レトモ此不便ヲ避クルノ方法モ亦必スモ之ナキニアラス例ヘハ一

信用ノ釋義

地方ノ自作者互ニ約束ヲ爲シ其所有地ヲ合併シテ一大區域ト爲シ以テ相互ノ
所有地ヲ其持場ト定メ且ツ別ニ醜金ヲ爲シテ器械ヲ購買シ之ヲ共用セハ又以
テ大器械ヲ利用スルコト能ハサルニアラサルナリ又放水灌溉等ノ改良ヲ爲ス
ニモ互ニ協議シ其之カ爲メニ土地ノ幾分ヲ失フ者ニ向ヒ之ニ由リテ利益ヲ得
ル者ヨリ相當ノ報酬ヲ爲ス等ノ方法ヲ定メハ持地耕作ノ法ハ決シテ利ナキニ
アラサルナリ只右ノ如キ協議整ヒ難キノ患アルノミ然レトモ農業者中少シク
智力進歩セハ共同ノ便利ヲ悟ルヤ敢テ難キニアラサルヘシ然ラハ則チ持地耕
作法ヲ基礎トシテ右ノ如キ協議ヲ行フハ敢テ爲シ得サルノ業ニアラス
貸借ノ事件ニハ信用ノ關係スル所甚タ親密ナルモノニシテ殊ニ動産貸付ノ如
キハ貸主ハ全ク其所有物ヲ借主ニ交付シテ其之ヲ見ルコト能ハサル所ニ置カ
サルヲ得サルカ爲メ信用ノ關係最モ縝密ナリト云フヘシ故ニ今一步ヲ進メテ
金錢ノ貸付料即チ利子ノ事ヲ論スルニ先チ信用ノ何物タルコトヲ論究セン即
チ信用トハ人々相互ノ間ニ成立チ吾人ナシテ報酬ヲ約シ又ハ之ヲ約スルコト
ナク他人ニ属スル所ノモノヲ使用シ得セムルノ力ナリ

世ニ信用ヲ以テ直ニ資本ナリト論スルモノアリト雖モ是レ只其效驗ノ外形ヲ見テ深ク其性質ノ起因ヲ探ラサルモノト云フヘシ夫レ資本ハ過去ノ勞力ノ結果ニシテ未タ消費シ盡サス以テ將來ノ生産ヲ資クルカ爲メ用フルモノニシテ曩ニ第三十六頁ヨリ第三十八頁ニ掛ケテ掲出セシ所ノモノ、如キチ云ヒ隨テ之ヲ使用スルト雖モ他人ニ向ヒテ償還ノ義務ヲ生スルコトナシ然ルニ信用ハ人ト人トノ間ニ成立チ甲ノ信スル所ノ者乙必スシモ之ヲ信セス又甲ハ乙ヲ信スト雖モ丙ヲ信スルコト乙ノ如ク厚カラズ丁ニ至リテハ全ク信チ之ニ置カサルコトアルヘシ而シテ已ニ此信用ヲ利用シテ苟モ他人ニ属スル所ノモノヲ自己ノ使用權内ニ移ストキハ忽チ償還ノ義務ヲ生スルモノトス由是觀之信用ハ資本ヲ移轉スルノ力ニシテ決シテ資本其物ニアラス全ク之ト其性質ヲ異ニスルコトヲ知ルニ足ルヘシ請フ一例ヲ擧ケテ之ヲ辯セン

例ヘハ茲ニ一村落アリテ村中甲某ナルモノアリ斧一挺ヲ所有シ他人ハ之ヲ所有セス然ルニ此斧ヲケレハ薪ヲ伐ルニモ手ヲ以テセサルヲ得ス斯ノ如クニテハ一日勞シテ得ル所ノ薪僅ニ一束ノ上ニ出テサルヘシト雖モ甲某ハ斧ト云フ

利器ヲ所有スルカ爲メ能ク一日ニ二十束ノ薪ヲ得ヘシ隣人乙某其利ヲ見テ一日甲ニ至リ其斧ヲ借用セント請フ甲平常乙ト相知リ其正實謹慎他人ノ財産ヲ害フモノニアラサルコトヲ知ル故ニ容易ニ其請求ヲ聽シ我レ一束ノ薪ヲ要ス汝能ク之ヲ齎ラサハ我レ此斧ヲ貸與セント云フヘシ後又丙某來リテ斧ヲ借ラントス然ルニ丙ハ平常粗忽ノ名アリテ或ハ少シク斧ヲ害フノ恐ナキニアラサレハ甲ハ乙ニ貸與セシカ如ク容易ニ之ヲ貸サス汝若シ我ニ十八束ノ薪ヲ齎ラサハ我レ汝ニ之ヲ貸與セント云ハン此ニ於テ丙以爲ラク手ヲ以テ薪ヲ取レハ僅ニ一束ヲ得ルニ過キサレトモ此斧ヲ借ルトキハ二十束ヲ得ヘシ今甲ニ十八束ヲ與フルトモ尙ホ二束ヲ得ヘク然ラハ則チ運送ノ勞ヲ執ルモ尙ホ或ハ利アルヘシト果シテ此ノ如クナラハ甲丙ノ間尙ホ斧ノ貸借行ハルヘシ然レトモ其使用料ノ高低ニ至リテハ之ヲ乙ノ場合ト比スルニ固ヨリ同日ノ論ニアラサルナリ然ルニ茲ニ丁某アリ平素粗暴不信ノ名高ク面ハ惡鬼ノ如ク聲ハ割レ鐘ノ如キ者ナリ彼レ來リテ大聲ヲ發シテ斧貸スヘシ斧貸スヘシト呼ヘハ誰カ能ク之ニ斧ヲ貸スモノアラン甲ハ斷然丁ノ請求ヲ拒絕スヘシ甲若シ熟練家ナレハ

丁ニ向ヒテ面ヲ和ラケ必ス曰ハン我レ斧ヲ君ニ貸スコト甚タ容易ナリ然レトモ我レ三十束ノ薪ヲ要ス君能ク之ヲ與ヘンカ丁之ヲ聞キ二十束ヲ得ルノ力アル斧ヲ借リ三十束ノ薪ヲ甲ニ與フルハ是レ得失相償ハサルノ業ナルコトヲ悟リ大喝一聲我レ此ノ如キ斧ヲ欲セスト云フテ去ラン然ラハ甲丁ノ間信用成立タス貸借全ク行ハレサルナリ信用ノ人々相互ノ間ニ成立ツコト凡ソ斯ノ如シ今金錢ノ貸借ニ於テ斧ヲ元金トシ其使用ノ爲メ乙及丙カ甲ニ與フル所ノ薪ヲ利子トセハ債主負債主ノ關係ヲ解クコト甚タ容易ナルヘシ

信用ノ本分

信用ハ人々相互ノ間ニ成立ツモノナレハ彼ノ資本ノ如ク他人ニ依ラスシテ其所有者ハ隨意ニ之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトハ全ク其性質ヲ異ニスルヤ又多辯ヲ要セサルナリ然ラハ則チ信用ハ果シテ何ノ要用カアル曰ク信用ハ已ニ世ニ存在スル資本チ一方ヨリ他方ニ移スモノナリ即チ前項ニ説キタル斧ハ甲ニ屬スルモノナリト雖モ能ク之ヲ乙若クハ丙ノ手ニ移スチ得ルモノハ是レ實ニ信用ノ力ニ由ル又茲ニ貨幣ヲ所有スルモノアリ之ヲ他人ニ貸付ケ得ルモノハ此貨幣ヲ所有スルモノト之ヲ借ルモノトノ間ニ信用アルヲ以テナリ又國中

二

三

ノ人民各自ニ多少ノ貯蓄ヲ爲セハトテ其金員ハ彼是ニ分散シテ此處ニ十圓彼處ニ百圓ト散在スルモノタラサルヲ得ス今此輩ヲシテ之ヲ銀行ニ預ケ入レシメ銀行ハ之ヲ營業者ニ貸付ケ又ハ其手形ヲ割引スルカ如キハ公衆ト銀行銀行ト營業者トノ間ニ信用アルニ由ルモノナリ其他物品ノ貸借モ皆其貸主借主ノ間ニ信用ノ成立ツニ由ラサルハナシ信用ハ斯ノ如ク在來ノ資本チ一方ヨリ他方ニ移スチ以テ實ニ信用ノ本分トスルナリ

信用ハ斯ノ如ク在來ノ資本チ一方ヨリ他方ニ移スチ以テ能ク現在ト未來トヲ繼續スルコトヲ得ヘシ即チ一方ニ資本家アリテ貨幣若クハ物品ヲ有スト雖モ自ラ之ヲ使用シテ事業ヲ營ムコトヲ欲セス或ハ之ヲ營マント欲スルモ相當ノ智力ヲ備ヘサレハ之ヲ資本トシテ未來ノ生産ヲ資クルコト能ハサルヘク隨テ空シク庫中ニ埋没シ資本其用ヲ爲スコト能ハサルナリ然ルニ信用アレハ之ヲ他方ニ於ケル才藝兼備ノ者ニ貸付ケ大ニ未來ノ生産ヲ資クルコトヲ得ヘシ然ラハ則チ信用ハ現在ノ餘裕ヲ集メ未來ノ生産ヲ補助シ能ク現在未來ヲ繼續スルモノト云フヘキナリ

信用ノ効

信用ハ斯ノ如ク資本チ一方ヨリ他方ニ移シ又現在ト未來トヲ繼續スルヲ以テ其生産ノ効驗ヲ増加スルヤ實ニ大ナリト謂フヘシ凡ソ物ノ一方ヨリ他方ニ移ルハ投機盜奪等ノ如キ異常ノ場合ヲ除キテハ其物ノ用ヲ増加スルモノナリ例ヘハ甲カ乙ヨリ地所ヲ買フハ其地所ノ要ハ乙ニ於ケルヨリモ甲ニ於ケルノ大ナルニ由ル家屋器具等ノ賣買授受皆然ラサルハナシ故ニ賣買授受ノ容易ナルハ國家ノ生産力ヲ増加スルノ一良方便タリ今信用ハ此移轉ヲ容易ニスルモノナルニ由リ其生産力ヲ増加スルノ効驗アルコト敢テ疑テ容レサルナリ壘ニ掲出セシ斧ノ場合ニ於テモ信用ナケレハ此斧ハ甲ニ於テ毎日不斷ニ之ヲ使用スルコトナカルヘシ然ルニ信用アルカ爲メニ甲ノ使用セサルトキ乙若クハ丙ニ於テ之ヲ使用シ得ルヲ以テ大ニ其用ヲ増シ隨テ生産ヲ増加スルコトヲ得ヘシ又物品ヲ生産シ之ヲ賣却セント欲スト雖モ現金拂ヲ以テスルトキハ買手ニ其備ヘナケレハ急ニ之ヲ賣ルコト能ハサルヘシ然ルニ此買手カ卸賣商若クハ小賣商ナレハ其引取りタル物品ヲ賣捌キ然ル後其代價ヲ拂フハ容易ナルヲ以テ二ヶ月若クハ三ヶ月ノ期限ヲ定メテ代價ヲ支拂フコト、セハ賣買者ノ爲メ非

四

五

信用ノ危

常ニ便利ニシテ大ニ取引ヲ増加スルコトヲ得ヘシ又小賣商モ消費者ニ信用ヲ與ヘ通帳ノ如キモノヲ用ヒテ一ヶ月二ヶ月若クハ三ヶ月ノ間支拂ヲ延期セハ大ニ其取引ヲ便利ニスヘシ又生産者卸賣商ノ如キモノニシテ若シ直ニ現金ヲ要スルコトアレハ購買者ニ向ヒテ爲換手形ヲ振出シ或ハ購買者ヨリ約束手形ヲ徴シ銀行ニ依頼シテ之ヲ割引セハ此等ノ事ニ關スル説明ハ銀行論ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ説カス直ニ現金ヲ得ヘキヲ以テ敢テ差支ヲ生スルコトナカルヘシ信用ニ依リテ生産ノ効驗ヲ増加スルコト凡ソ此ノ如シ其發達ヲ謀ルハ則チ生産ノ増加ヲ補助スルモノニシテ其利益タル蓋シ大ナリトス信用ノ利益タル右ニ説ク所ノ如シト雖モ信用ハ素ト未來ヲ期スルモノナルヲ以テ其間負債主ニ不實ノ所爲又ハ身代限又ハ不測ノ異變ナキナ期スヘカラス故ニ其時日ノ長キニ從ヒテ危險ノ大ナルコトヲ加フヘシ故ニ信用取引ヲ爲スニハ成ルヘキ丈ケ其期限ヲ短縮シ且ツ負債主ノ性質ト資力トヲ明ニスルヲ要ス蓋シ負債主ニ於テ百萬圓ノ資力ヲ有スト雖モ其性質不實ニシテ容易ニ返済ヲ爲サル等頗ル手數ヲ要スルカ如キコトアレハ債主ノ不利ナルコト固ヨリ

論チ俟タス又其性質堅固ナルモノト雖モ囊中無一物ナレハ又之ヲ奈何トモス
ルコト能ハサルハシ嗚呼信用ニハ危險アリ又注意ヲ要スヘキモノアルコト凡
ソ斯ノ如クナリト雖モ其効用タル至重至大ノモノアルヲ以テ能ク其使用ヲ慎
ミ害ヲ避ケ以テ前陳ノ利益ヲ全收センコトヲ力ムヘシ

凡ソ人ニ信用ヲ與フルトキハ返濟ヲ爲スノ意志ト資力ノ強弱トニ由リ其厚薄
ヲ定メサルヲ得サルハ已ニ畧陳セシカ如シ而シテ斯ノ如ク唯信用ノ厚薄ヲ謀
ルノミニテ全ク抵當物ヲ徵収スルコトナシニ貸付ヲ爲スナリト一身ニ對スル信
用ト云フ又性質資力ハ十分ナラスト雖モ借ラント欲スル金高ニ對シテ相當ノ
抵當物ヲ出シ其力ヲ以テ金員ヲ借入ルハ抵當ニ對スル信用ト云フ抑第一種
ノ信用即チ一身上ニ對スル信用ハ昔日抵當未タ多カラス事業單純人々質朴ナ
リシ時ニ於テ多ク用ヒラレタルモノナリト雖モ近來ニ至リ事業益頻繁トナリ
且ツ公債證券株券等ノ如キ便利ナル抵當物入ニ其供給ヲ増加シタルヲ以テ自
ラ第二種ノ信用即チ抵當ニ對スル信用ノ使用頗ル發達セリ
利子トハ他人ニ屬スル貨幣ヲ借受ケ其報酬トシテ一日何程若クハ一ヶ月又ハ

一身上ニ
對スル信
用、抵當
ニ對スル
信用

利子ノ釋
義及其步

一年何程ト歩合ヲ定メテ支拂フモノヲ云フ而シテ其歩合ノ多少ハ貸付資本ノ
供給ト需要トニ由リテ定マルモノトス即チ往時事業未タ發達セス資本ノ供給
少キトキハ利子ノ歩合甚タ高カリシト雖モ世運進歩シ資本ノ供給増加スルニ
從ヒ利子ノ歩合漸次ニ減少セシハ事實蔽フヘカラサル所ノモノナリ又方今ト
雖モ營業萎靡シテ振ハサル時期ニ際シテハ貨幣ノ需要減シテ利子低落シ營業
活潑ノ動作ヲ呈スルトキハ貨幣ノ需要増加シテ利子ノ騰貴スルハ皆人ノ知ル
所ナリ故ニ利子ノ歩合ハ恣ニ人爲ヲ以テ之ヲ増減シ得ルモノニアラス其高キ
ハ必スシモ患トスルニ足ラス又妄ニ其低キヲ喜フヘカラス之ヲ低クセント欲
セハ宜シク其供給ノ増加ト信用ノ發達トヲ計リ以テ融通ノ道ヲ開クヘシ苟モ
之ヲ是レ爲サスシテ利子歩合ヲ減少セント欲スルモノハ岳ニ登リテ水ヲ待ツ
モノト何ソ選ハン水豈ニ高キニ就クコトヲ得ンヤ供給豊ナラサルトキハ決シ
テ其價格ヲ減スルコト能ハサルヘシ
利子歩合ハ其大体ニ於テハ貸付資本ノ需要供給ノ景況ニ由リテ定マルハ勿論
ナリト雖モ同時同場所ニ於テ資金放下ノ便否危險ノ多少ニ由リ自ラ利子歩合

同時期ニ於テ利子歩合ニ差アリト

ハ差違ヲ生スルモノトス即チ貯蓄銀行ノ預金ノ如キハ何時ニテモ元金ヲ引出スナ得ヘク危険亦少キヲ以テ利子歩合甚タ低キヲ通例トス又開明政府發行ノ公債證書ノ如キハ殆ト危険ナク元金ヲ得ント欲セハ容易ニ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘキヲ以テ利子ノ歩合甚タ低シ然ルニ無抵當ノ信用貸ノ如キハ反對ノ極端ニシテ其利子歩合ノ高キコト實ニ驚クニ堪ヘタリ又抵當物アリト雖モ土地家屋ノ如ク容易ニ賣却シ能ハサルモノナレハ利子ノ歩合高キヲ通例トス皆是レ資金放下ノ便否ト危険ノ度ノ多少トニ由リ此異同ヲ生スルモノナリ其他各事業ニ放下スル資本ノ利子歩合ノ多少ヲ決スル原因ハ營業所得ノ歩合ヲ定ムル原因ト略相似タリ然レトモ同業若クハ類似ノ事業ニ放下シタル資金ノ利子ハ決シテ永ク歩合ナ異ニスルコト能ハス若シ一時ノ原因ニ由リテ之ヲ異ニスルコトアレハ忽チ資本家ノ中ニ競争ヲ惹起シテ之カ爲メ資本ノ移轉ヲ促シ遂ニ久シカラスシテ彼是相平均スヘシ例ヘハ預金ト公債證書トノ間ニ便利ト危険トニ由リ自然ニ生スヘキ差違ヨリ多クノ差ヲ生シ預金ノ割合不當ニ高カケレハ資金ハ公債ヲ去リテ預金ニ赴クヘシ又國際ニ於テハ英佛獨ノ如ク零開明

價格ト市價ノ區別

一般價格ハ昇降ナク増減アリ

ノ度チ同ク且ツ境域ヲ接スルトキハ利子ノ歩合ニ非常ノ差違ヲ生スルコトナント雖モ洋ノ東西ニ於ケルカ如ク距離相遠ク又國ノ新舊ニ由リ經濟ノ景況ヲ異ニスルトキハ往々利子ノ歩合ニ大差アルヲ見ル然リト雖モ資本ノ移轉ハ勢力ノ如ク艱難ナラス近來漸ク平均ノ區域ヲ擴張スルノ傾向アルモノ、如シ價格トハ物品ト物品トノ交換比例ヲ云フモノニシテ市價トハ物品ト貨幣トノ交換比例ヲ云フモノナリ例ヘハ米一石ハ麥二石ニ當リ麥一石ハ甘藷十石ニ當ルト云フトキハ米一石ハ麥二石ノ價格ヲ有シ麥一石ハ甘藷十石ノ價格ヲ有スルナリ又米一石ハ金五圓麥一石ハ金貳圓五十錢甘藷一石ハ金五十錢ナリト云フトキハ右ノ三品ヲ貨幣ニテ算シタルモノニシテ即チ之ヲ市價ト云フ價格ハ斯ノ如ク物品ト物品トノ交換比例ナレハ其昇降スルハ孰レカ一方ニ於テ其價格ノ増減ヲ示サ、レハ決シテ見ルコト能ハサルノ現象ナリ例ヘハ秋稔ラス米穀其供給ヲ減スト雖モ麥作豐熟麥ノ供給大ニ増加セハ米麥二品ノ交換比例ハ前例ノ如ク一ト二ノ比例ヲ保ツコト能ハスシテ一ト三若クハ四ノ比例トナルヘシ然リト雖モ米麥ノ收穫減スルコト共ニ平年ノ一割ニ達シ又ハ増加

スルコト一割ナレハ此兩品ノ交換比例ハ例年ト異ナルコトナカルヘシト同
 様ニテ國中萬般ノ物品皆同比例ヲ以テ増減セハ其價格ハ敢テ昇降スルコトナ
 シ然レトモ右ノ如ク萬般ノ物品皆同比例ヲ以テ増減スルカ如キハ決シテ實地
 其例ヲ見ルコト能ハサルヘシ然リ而シテ米穀ノ不作ナルモ麥作ノ豐熟ヲ告ケ
 麥作ノ兇荒ナルモ甘藷ノ豐作ヲ見ルコトナシトセス隨テ年々歳々多少或物品
 ノ價格ノ昇降ヲ見ルハ蓋シ天下ノ常勢ナリ由是觀之一般ニ價格ヲ昇降スルコ
 ト能ハサルヘク其昇降スルモノハ一部分ノ物品ノ交換比例ナルヤ敢テ疑ナ容
 レサルナリ然リト雖モ世ヲ隔テ又ハ國ヲ異ニシテ之ヲ論スレハ方今ハ昔日ヨ
 リモ物産多量ニシテ交換力即チ購買力多ク甲國ハ乙國ヨリモ物産富裕ニシテ
 交換力多ク價格ノ合計増加セリト云フモ妨ケナカルヘシ又昔日ト方今或ハ乙
 國ト甲國トヲ比較シテ各其價格ノ合計多シト云フテ妨ケナク又國カ頽廢シタ
 ルカ爲メ方今ハ大ニ物産ヲ減少スルカ如キコトアレハ價格ノ合計減少セリト
 云フモ毫モ妨ケサル所ナリ
 物品ノ價格ハ一般ニ昇降スルコト能ハスト雖モ市價ハ物品ト貨幣トノ交換比

市價ノ昇
降

例ナレハ一般ニ騰貴スルコトアリ又下落スルコトアリ例ヘハ明治十二三年ノ
 頃ニハ紙幣大ニ下落シ米價ハ一石十圓以上トナリ一般ノ品物ハ之ヲ貨幣ニ比
 シテ甚タ貴カリシハ吾人ノ共ニ記憶スル所ナリ當時若シ米ノ高カリセハ各
 人其歲入ヲ以テ米ニ費ス所ノモノ割合ニ多カラサルヲ得ズ又他ノ品物ノ需要
 ハ從テ減少セサルヲ得サリシナルヘシ然ルニ當時市價ノ騰貴シタルモノハ獨
 リ米ノニ止マラス百般ノ物品ニ及ヘリ是レ紙幣多キニ過キテ其價格下落セ
 シヲ以テ市價一般ニ昇騰シタルニ由ル之ニ反シテ明治十七年ノ末頃紙幣消却
 ノ效驗漸ク顯ハレ米價ハ四五圓臺トナリ諸物品ノ價モ共ニ下落セリ是レ決シ
 テ米ノ下落ニ由リテ物品ノ下落シタルモノニアラス若シ貨幣ノ景況ニ變動ナ
 ク米ノニ其自動ノ力ヲ以テ下落シタリトセハ他物品ノ價ハ必ス騰貴セサルヲ
 得ス何トナレハ斯ノ如キ場合ニ於テハ各人同一ノ歲入ヲ以テ米ニ費ス所小額
 ニ止マルカ故ニ必ス他品ノ需要ヲ増加スヘケレハナリ然ルニ此際却テ一般物
 價ノ低落シタルハ紙幣ノ價ヲ復セシニ由ルモノナリ又金銀ノ供給急ニ増加ス
 ルトキハ大ニ市價ノ騰貴ヲ來スヘシ彼ノカリフォルニア及濠州ノ金坑發見ノ

後其盛時ニ於テハ一日勞力ノ報酬五圓ニ達シ醫師一回ノ診察料百八圓黒奴ノ料理人ノ給料一ヶ月四十圓ニ達セシコトアリト云フ蓋シ市價ノ場合ニ於テハ此ノ如ク一方ニハ貨幣ト云フ一物アリ他方ニハ一般物品ト云フ一昧ノモノアルヲ以テ彼是ト比較シテ一方ノ昇リ一方ノ降リト云フコトアルヲ得ルヤ必セリ

價格ハ其物件ノ用ノ有無ト之ヲ得ルコトノ難易トニ由リテ其多少ト有無トヲ決スヘシ夫レ人間必要缺クヘカラサル用アルモノト雖モ其之ヲ得ルコト易ク敢テ勞働ヲ要セスシテ得ヘキモノハ決シテ價格ヲ有セサルヘシ空氣日光ノ如キ即チ是ナリ此兩者ノ吾人ニ必要缺クヘカラサルモノタルコトハ多言ヲ俟タス蓋シ空氣ナクンハ萬物得テ其生ヲ保ツコト能ハス日光ナクンハ草木生長セズ動物發育セス然リト雖モ此兩者ハ造化自然ノ惠與物ニシテ人之ヲ私スル能ハス天下億兆ノ民勞セスシテ之ヲ得ヘシ故ニ之ヲ賣ラント欲スルモ買フモノナク買ハント欲スルモ其要ナキヲ以テ決シテ價格アルコトナシ又黃金ハ管ニ貨幣ヲ製造スルニ適當ナルノモノナラス能ク器具裝飾美術品ニ用フルニ適シ其

價頗ル高シ然レトモ其之ヲ得ルコト土砂瓦礫ノ如ク容易ナレハ大ニ其價格ヲ減スヘシ之ニ反シテ得ルコト甚タ難シト雖モ其用甚タ少ケレハ其價格モ亦少カルヘシ例ヘハ茲ニ一人アリ偶富岳ニ登ルニ路傍金色ノ礦物アルヲ見テ以爲ラク是レ金礦ナラン我之ヲ得ハ能ク十萬圓ノ富ヲ得ヘシト是ニ於テ重キヲ厭ハス之ヲ擔フテ岳頂ニ登リ又之ヲ降リ遂ニ之カ爲メ肩ハ挫ケンカト怪マレ足ハ折レンカト疑ハル、程ノ艱難ヲ嘗メ辛フシテ家ニ歸リ之ヲ礦物學者ニ示シタルニ何ソ測ラン是レ一塊ノ硫鐵ニシテ一錢ノ價ナキモノナリト云フコトヲ發見セントハ嗚呼其之ヲ得ルコト斯ノ如ク難シト雖モ其用少キコト硫鐵ノ如キモノナラハ其價格極メテ少カラサルヲ得サルナリ由是觀之其物用アリト雖モ得ルコト易ク又得ルコト難シト雖モ其用少キモノハ價格極メテ少シ其相當ノ價格ヲ有スルモノハ之ヲ得ルコト空氣日光ノ如ク容易ナラス其用アルコト黃金ノ如クナラサルヲ得サルナリ今貴金屬(金銀ヲ云フ)其他ノ礦物農産工品等ニ屬スルモノハ皆之ヲ得ルニ相應ノ資本勞力ヲ要シ且ツ其吾人ニ用アルヤ固ヨリ僅少ナリトセス故ニ其相當ノ價格アル固ヨリ偶然ニアラサルナリ

價格ノ多
少ヲ決ス
ル原因

物品ノ性
質ニ由リ
價格變動
ノ景況ヲ
異ニス

價格ハ物品ト物品トノ交換比例ナレハ其物ノ需要供給ノ景況ニ由リ其價格ヲ
決スルヤ論ヲ待タス故ニ人口増加シタルニ食品其他粗生品ノ供給之ニ應シテ
増加セザレハ供給需要ニ及ハスシテ之カ爲メ物品ノ價格騰貴スヘシ又人口其
他ノコトハ更ニ變動セサルニ器械ノ發明又ハ農業ノ進歩アレハ工産若クハ農
産ノ供給増加シテ之カ爲メ其價格ヲ下落セシムヘシ何トナレハ發明進歩ニ由
リ其事業ニ從事スルモノ普通ノ所得ヨリ多クノ歩合ヲ得レハ忽チ資本勞力ノ
競争專賣免許アルモノハ其期限中ハ競争ヲ免ルヘシト雖モ(チ惹起シ其生産品
ノ供給ヲ増加スヘケレハナリ

價格ノ多少ヲ定ムル原因ハ前項論スル所ノ如シト雖モ物品ノ性質ニ由リ其變
動ノ景況チ一ニセス請フ少シク之ヲ辯セン

第一 供給ニ限リアルモノ

供給ニ限リアルモノトハ故人ノ書畫英雄ノ遺物名工ノ細工物等ノ如ク現在未
來ニ於テ資本勞力ヲ費スト雖モ決シテ其供給ヲ増加スル能ハサルモノナリ此
類ニ屬スル物品ノ價格ハ人ノ嗜好ニ由リ其高低ヲ決シ其物ノ生産費等ハ敢テ

價格ヲ定ムル力チ有セサルナリ例ヘハ茲ニ應舉ノ筆ニ係ル鯉魚ノ畫アリトセ
ン神筆眞ニ迫リ實ニ水中ニ游泳スルカ如シ然レトモ之ヲ見ルモノ無風流者ナ
レハ敢テ之ヲ意ニ留メス其價格ヲ聞キ却テ愕然トシテ去ルヘシ若シ畫ニ熱心
ナルモノチシテ之ヲ見セシメハ垂涎措ク能ハス甚シキニ至リテハ身代ヲ傾ケ
テ之ヲ購ハント爲スヘシ此類ノ物品ニ於テハ同一ノ物品ニシテ其價チ異ニス
ルコト此ノ如シ而シテ世運進歩シ嗜好益高尙ニ達シ資力愈増加スルニ從ヒテ
此類ノ物品ハ益其價格ヲ増加スヘシ

第二 供給ニ限度ナシト雖モ之ヲ増加スルニハ割合ニ多クノ資本勞力ヲ要
スルモノ

農産物礦物等ハ此類ニ屬ス農産物礦物等總テ採集業ニ屬スル事業ノ生産ハ優
等ノ地已ニ十分ニ使用セラレタル後ハ非常ノ發見又ハ發明アルニアラサレハ
其供給ヲ増加スル毎ニ必ス劣等ノ地ニ依リテ之ヲ得サルヘカラス故ニ其供給
ノ増加ヲ要スレハ必ス從前ヨリ割合ニ多クノ資本勞力ヲ要セサルチ得ス其價
格ノ漸次増加スルハ數ノ免ル、コト能ハサル所ノモノタリ只其増加チシテ勢

ヲ退クスルコトヲ得セシメサル所以ノモノハ發見發明ノ功ト云フヘシ而シテ
 此類ノ物品急ニ需要ト供給ト遭遇スルコト能ハスシテ二三ノ物品久シク高價
 ナ占ムルコトアリ例ヘハ凶歲ニ際シ五穀ノ供給缺乏スルコトアレハ(輸入ノ働
 キハ姑クナキモノトシ)五穀播種ヨリ收穫マテ數月ヲ閱スルヲ以テ急ニ需要ト
 供給ト遭遇スルコト能ハス五穀ノ價ハ半歲以上ハ其生産ニ要スル費用ニ比シ
 テ非常ニ高キヲ得ヘシ只其價格下落スルハ其高キニ乘シ五穀ノ生産ヲ増加シ
 以テ其供給ヲ増加シタル後ニアリ又反對ノ場合ニ於テハ其價格殆ト生産費ヲ
 償ハサル程ニ低キコト數月ニ渉ルヘシ(輸出ノ働キハ姑クナキモノトシ)蓋シ今
 ハ則チ已ニ一年ノ供給ヲ生産タルヲ以テ急ニ之ヲ消費シ盡スコト能ハサレ
 ハナリ只其價格ヲ復スルハ供給ノ過當ヲ悟リテ生産ヲ減少シ以テ其供給ヲ減
 シタル後ニアリ礦産物亦然リ例ヘハ銅ノ需要増加スルモ素ト是レ地中ヨリ掘
 出スモノナレハ急ニ之ニ應スヘキ供給ヲ出タシ能フヤ否ヤ固ヨリ期スルコト
 能ハス又供給減スルモ鑛山ヨリ銅ヲ出タサレハ又之ヲ奈何トモスルコト能
 ハサルヘシ伐木ノ業亦然リ蓋シ社會ノ勢大ニ木材ノ需要ヲ増スト雖モ急ニ深

山ヨリ生木ヲ伐出シ以テ直ニ其需要ニ供スルコト能ハス又一旦巨多ノ供給ヲ
 備ヘタル後ハ急ニ消費シ盡スコト能ハサル木材ノ如キモノニ至リテハ需要ニ
 應スル様俄ニ供給ヲ減スルコト能ハサルヘク時トシテハ殆ト利益ナキ低價ヲ
 以テ之ヲ賣却セサルヲ得サルヘシ由是觀之第二類ニ属スル物品ハ其供給ヲ増
 サント欲セハ割合ニ多クノ資本勞力ヲ要シ一度需要供給ノ權衡ヲ失ハ之ヲ
 復スルカ爲メニハ數月ヲ要スヘク其間營業者ノ爲メ或ハ意外ノ利益アルヘク
 或ハ非常ノ損失アルヘシ而シテ其意外ノ利益ハ通例非常ノ損失ヲ生スヘキ原
 因トナルモノトス何トナレハ是レ其利益ノ因テ來ル所ヲ問ハス單ニ其多キヲ
 見テ漫然供給ヲ増加スルノ勢アレハナリ又非常ノ損失ハ意外ノ利益之ニ隨フ
 コトアルヘシ何トナレハ損失ニ徴リテ其供給ヲ減スヘケレハナリ然レトモ其
 利益ノ如キハ資力巨大ニシテ能ク其損失ニ耐ヘ同業者或ハ倒レ或ハ其業ヲ減
 縮スルモ尙ホ依然トシテ舊ノ如ク業ヲ營ムヲ得ルモノニアラサレハ固ヨリ之
 ナ得ルコト能ハス其資本薄弱ナルモノ、如キハ一敗地ニ塗レ再ヒ立ツコト能
 ハサルニ至ラン故ニ此類ノ物品ノ生産及分配ニ從事スルモノハ宜シク需要供

給ノ權衡如何ヲ鑑ミ其過不足ヲ生セサルコトニ注意セサルヘカラス

第三 資本勞力ヲ要スルコト割合ニ少クシテ限リナク供給ヲ増加シ得ルモ

工産物ハ此類ニ屬ス抑工産物ハ農産物ノ如ク其生産ニ季節ナク隨テ資本勞力ヲ増加スレハ隨意ニ其供給ヲ増加シ得ルヲ以テ或格段ナルモノ、需要増加シテ其價格ヲ増加スル勢アルトキハ忽チ之カ供給ヲ増加スルコトヲ得ヘシ而シテ多額ノ物品ヲ製造スルニハ器械ノ使用分業ノ方法ヲシテ一層容易ナラシメ監督モ亦割合ニ容易ナルヲ以テ此類ニ屬スル物品ハ需要ニ應ジテ速ニ其供給ヲ増加スルコトヲ得ヘク其増加ハ又割合ニ費用ヲ要セサルヘシ又需要減スルトキハ其生産ヲ減シテ價格ヲ維持スルコト容易ナリトス故ニ工産ニ於テハ彼ノ需要供給相應セスシテ其生産ノ費用外ニ價格ノ高低ヲ見ルコト固ヨリ久キニ堪ユヘカラス而シテ此等ノ物品ハ理化學其他學問ノ進歩ニ由リ其生産ニ要スル費用ヲ減スルヲ以テ將來益其價格ヲ減少スルノ傾向アルモノトス

由是觀之第一類ニ屬スル物品ハ市場普通ノ價格ナク只之ヲ好ムモノ、嗜好ニ

由リテ其價格ヲ減シ第二類第三類ニ屬スル物品ハ一般ノ需要供給ニ由リテ其價格ヲ決スト雖モ第二類ハ需要ト供給相應セサルコトアルモ急ニ其權衡ヲ復セス其價格久シク遙ニ生産費用以上若クハ以下ニアルコトアルヘシ而シテ其一般ノ傾向ハ世ノ進歩ニ從ヒ漸々昇進ノ勢アリ第三類ニ屬スルモノハ需要供給久シク相應セサルコトナク其價格モ生産ニ要スル費用ヲ離レテ久シク懸隔スルコトナク而シテ此等ノ物品ハ世ノ進歩ニ隨ヒ其價格ヲ増加セス就中等品以上ノモノニシテ粗生品ヲ要スルコト少ク且ツ多ク手間ト精巧トヲ要スル物品ノ如キハ却テ其價格ヲ減少スルノ傾向アリ總テ第二類第三類ニ屬スル物品ノ價格ハ一時ノ變動ハ固ヨリ需要供給ノ變更ニ由リ免ル、コト能ハスト雖モ到底其生産ノ爲メ要スル費用ヲ償ヒ之ニ相當ノ利益ヲ加ヘタル丈ケノ價格ヨリ上ニアルコト能ハス又下ニアルコト能ハサルナリ何トナレハ上ニアレハ資本勞力多ク之ニ向ヒ早晚供給ヲ増加シテ其價格ヲ減スヘク下ニアレハ資本勞力之ヲ去リ其價ヲ復スヘケレハナリ故ニ是等物品ノ價格ノ現場ノ景況ヲ以テ之ヲ論スレハ需要供給ノ景況如何ニ由リテ之ヲ決シ終局ノ效驗ヲ以テ之ヲ

分配ノ業

論スレハ其生産ノ爲メニ要スル費用ノ多少ニ由リ之ヲ決スルモノナリ
生産ヲ分配スルノ通路及分配ヲ爲スニ要用ナル信用價格ノ事ハ略之ヲ論陳セ
リ故ニ今一步ヲ進メテ分配ハ如何ナル方便ニ依リテ之ヲ爲スヤヲ論究セン抑
生産ハ消費ヲ以テ目的ト爲スカ故ニ現今ノ如ク分業日ニ盛ナルノ時運ニ際ス
レハ甲ハ自ラ消費スルカ爲メ生産ニ從事セスシテ其生産スル所ノモノヲ以テ
生活ヲ爲スヲ常トセリ故ニ生産物ノ消費者ニ達スルマテニハ之カ媒介ヲ爲ス
モノナキヲ得ス此媒介ヲ爲スモノヲ名ケテ商買ト云フ商買ヲ分チテ卸賣商小
賣商ノ二種トス卸賣商トハ生産者若クハ輸入者ヨリ一時ニ多量ノ物品ヲ買入
レ再賣ヲ爲スモノヲ云ヒ小賣商トハ卸賣商ヨリ物品ヲ買入レ之ヲ消費者ニ賣
渡スモノヲ云ヒ凡テ物品ノ消費者ニ達スルマテニハ右兩者ノ手ヲ經ルヲ常ト
ス而シテ此分配ノ業タル一地方中ハ勿論廣ク國中ノ各地及國際ニ行ハレ之ヲ
内ニシテハ地方貿易内國貿易トナリ之ヲ外ニシテハ外國貿易トナリ需要供給
ヲ媒介調理シ國中各地及國際ノ物産ヲ運轉交換シ互ニ有無相通シ長短相補ヒ
以テ生産ノ發達ヲ促シ市場活潑ノ活劇ヲ呈スルモノハ是レ分配ノ事業即チ貿

地方貿易

易ナラサルハナシ請フ之ヲ辯セン

地方貿易トハ一村一郡中工業農業其他採集事業ノ生産物ヲ互ニ交換シ又ハ生
産者ヨリ卸賣商小賣商ニ其生産物ヲ賣却シ若クハ卸賣商ヨリ小賣商ニ再賣シ
小賣商ヨリ消費者ニ其物品ヲ販賣シ或ハ生産者カ直接ニ消費者ニ其生産物品
ヲ賣捌クノ類ヲ云フナリ例ヘハ近在ノ農夫カ八百屋ニ野菜ヲ賣込ミ或ハ市ヲ
開キテ小賣商若クハ消費者ニ之ヲ賣渡シ其得ル所ノモノヲ以テ市街ヨリ衣服
器具等ノ如キ製造品ヲ購買シ去リ又ハ一地方ノ製造家カ其製造品ヲ其地ノ卸
賣商ニ賣込ミ小賣商ノ手ヲ經テ之ヲ消費者ニ分配スル等ノ如キ是レナリ此等
ノ貿易ハ實ニ僅少ナルモノ、如シト雖モ日常消費品ノ如キハ多クハ地方貿易
ノ補助ニ依リ之ヲ得ルモノナレハ其圓滑ノ動作ヲ失ヘハ多少ノ不便ナキヲ免
レス決シテ輕視スヘキモノニアラサルナリ

内國貿易

内國貿易トハ國中各地ノ物産其種類ヲ別ニシ優劣ヲ異ニスルヲ以テ東西其優
劣ヲ換ヘ南北其有無ヲ通シ以テ其生産ト消費トヲ助ケ或ハ首府其他ノ都會ニ
於テ要スルモノヲ國中ノ各地ヨリ輸送シ以テ其需要ヲ充タスモノヲ云フ例ヘ

外國貿易及其起因

ハ北海ハ漁利ニ富ムト雖モ氣候寒冷以テ五穀ヲ産スルニ便ナラス南地ハ豊饒ニシテ農利多シト雖モ漁獲少キカ故ニ北海ノ魚類ト南地ノ五穀トヲ交換シ東方ハ紡績ノ術ニ熟シ西方ハ其水質造酒ニ適ストセハ東方ノ織物ハ以テ西方ノ酒類ト交換スヘク又大國ノ首府ノ如ク數百萬ノ人口ヲ有スル都府ニ於テハ到底其近地ノ物産ノミナ以テ其人口ヲ支ヘ其需要ヲ満足セシムルコト能ハス必ス國中ノ各地ヨリ各種ノ物産ヲ輸送シ以テ都人身體口腹ノ用ニ供セサルヲ得ス之ヲ爲スモノハ總テ是レ内國貿易ノ與リテカアル所ナリ元來貿易ノ事タル其關係スル所至大至廣其起因其方策等ニ付キ頗ル玩味スヘキモノアリ而シテ方今貿易ノ隆盛ヲ極ムルノ時機ニ際シ貿易中最モ吾人ノ注意ヲ促スヘキモノハ外國貿易ナリ何トナレハ坐シテ狹小ナル内國市場ニ向ヒテ生産ヲ試ミンヨリハ寧ロ進ミテ世界萬國ノ市場ヲ窺ヒ物産ヲ最モ高價ナルノ場所ニ送致スルノ利多ケレハナリ元來貿易ノ起因其方策ノ得失ノ如キニ於テハ内外貿易トモ略其趣ヲ同クス故ニ今一躍進ミテ以テ外國貿易ノ事ニ論及セン

外國貿易トハ一國ト一國トノ間ニ其物産ヲ交換スルヲ云フ而シテ其最モ盛大

ニシテ且ツ利益アルハ東洋ト西洋トノ如ク全ク其物産ヲ異ニシ開化ノ模様ヲ一ニセサルモノ、間ニ行ハル、貿易及故國ト新國トノ間ニ行ハル、貿易ナリ而シテ歐洲諸國ト亞細亞亞米利加亞弗利加濠斯太刺利等ニアル其植民地トノ貿易モ亦同シトス抑外國貿易ノ事タル萬里ノ波濤ヲ凌キ身體未タ慣レサルノ氣候ヲ侵シ言語不通ノ不便制度文物ノ異ナルヲ厭ハス勇進以テ之ニ從事セサルヲ得ス其困難ナル固ヨリ言ヲ俟タサルナリ然ルニ其事ノ今日ニ行ハレテ益々盛大ナルヲ見ル所以ノモノハ宇内ノ大勢東西長短ヲ補ヒ南北有無ヲ通スルノ已ムヲ得サルニ出ツルモノナリ元來外國貿易ノ起因スル所以ノモノハ甲國ノ或ル物品ヲ生産スルハ乙國ヨリモ容易ナルカ將タ甲乙兩國互ニ自ラ生産シ能ハサルモノアリテ其有無ヲ交換スルニアリトハ夙ニ世人ノ熟知スル所ナリ然レトモ是レ只單純ノ原因ニシテ貿易ノ國際ニ行ハル、ハ單ニ物品生産ノ難易若クハ或ル物品ノ有無ノミニ由ルニアラスシテ生産ノ難易ニ於ケル比例ノ差違即チ甲國ニ於テハ兩品事ノ解シ易カラシカ爲メ假リニ甲乙兩國ノ際只兩品ヲ交換スルモノト見做ス尤モ幾多ノ國ト貿易ヲ爲シ幾多ノ物品ヲ交換スルモ

理ニ於テハ一ナリ共ニ乙國ヨリハ容易ニ生産シ得ヘシト雖モ一品ノ利益ハ四
倍ニ達シ一品ノ利益ハ二倍ニ止マルトセハ甲國ハ四倍ノ利益アル物品ヲ生産
シ二倍ノ利益アル物品ハ之ヲ乙國ヨリ得ルヲ以テ雙方ノ利益トスルナリ此場
合ニ於テハ兩國ノ際十分ニ貿易ヲ行フコトヲ得ヘシ請フ之ヲ辯セン

甲國 (例ヘハ日本)

- 一 若干ノ資本ト一日一人ノ勞力トヲ用ヒテ 石炭四噸ヲ生産ス
- 一 同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 生絲四貫ヲ生産ス

乙國 (例ヘハ英國)

- 一 甲國ト同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 石炭二噸ヲ生産ス
- 一 同上 生絲一貫ヲ生産ス

生産ノ景況斯ノ如クナレハ乙國ニ於テハ生絲ト石炭ノ交換比例ハ一貫ト二噸
ニシテ甲國ニ於テハ四貫ト四噸ナリ故ニ甲國ニ於テハ生絲石炭ノ生産共ニ乙
國ヨリモ容易ナルコトヲ知ルヘシ故ニ皮相論者ヲシテ之ヲ論セシメハ甲國ハ
宜シク自ラ石炭ヲ採掘スヘシト云フヘシト雖モ是レ決シテ然ラサルナリ甲國

ノ石炭生産ニ於テ乙國ニ向ヒテ有スル所ノ利益ハ二倍ニ止マルト雖モ生絲生
産ニ於テハ其利益四倍ニ達スヘシ四倍ノ利益ヲ棄テ二倍ノ利益ヲ求ムルカ如
キ豈ニ策ノ得タルモノナランヤ今甲國ノ營業者其資本勞力ヲ石炭及生絲ノ生
産ニ分チ兩品ヲ生産スルモノトセハ四貫ノ生絲ヲ以テ僅ニ四噸ノ石炭ヲ得ル
ニ過キサレヘシト雖モ石炭ノ採掘ヲ止メ其力ヲ合セ専ラ生絲ノ生産ニ從事シ
入貫ノ生絲ヲ製シ其四貫ヲ乙國ニ送レハ乙國ニ於テハ右兩品ノ交換比例一ト
二ナルヲ以テ此四貫ノ生絲ヲ以テ八噸ノ石炭ヲ得ヘシ(實際ハ運送費保險料等
ノ費用ヲ差引カサルヲ得スト雖モ之ヲ論セサルモ理ニ於テ妨ケナシ且ツ此等
ノ計算ヲ示セハ事頗ル繞密ニ涉リ混雜ヲ免レサルノ恐アルヲ以テ茲ニ之ヲ畧
ス以下之ニ做フ)果シテ然ラハ此貿易ニ依リ乙國ハ敢テ損スルコトナクシテ甲
國ハ石炭四噸ノ利益ヲ得ヘシ然レトモ實際貿易ヲ永續スルニハ相互ノ利益ヲ
ルヲ要スルニ由リ甲國ハ其輸出シタル四貫ノ生絲ニ對シ乙國ニテ六噸若クハ
七噸ノ石炭ヲ得二噸若クハ三噸ノ利益ヲ以テ満足シ乙國ハ自國ノ交換比例ニ
依レハ六噸ニ對シテハ三貫七噸ニ對シテハ三貫五百目ヲ得ルニ止マルト雖モ

甲國ト貿易スルヲ以テ四貫ヲ得ルヲ喜ヒ互ニ有益ナル盛大ノ貿易ヲ行フコトヲ得ヘシ而シテ兩國ノ利益ノ多少ハ相互ノ物品ヲ需要スル度ノ強弱ニ由リテ之ヲ決スヘシ只甲國ハ其四貫ノ生絲ヲ以テ八噸ヨリ多クノ石炭ヲ得ル能ハス乙國ハ四噸ヨリ少キ石炭ヲ以テ四貫ノ生絲ヲ購入スルコト能ハサルノミ何トナレハ此極端ニ至レハ兩國共ニ自ラ其利益少キ物品ヲ生産スヘケレハナリ由是觀之甲國ハ兩品ノ生産ニ於テ共ニ乙國ニ勝ルノ利ヲ有スト雖モ其利ノ小ナルモノヲ棄テ、大ナルモノニ就キ乙國ハ兩品ノ生産ニ於テ共ニ劣ル所アリト雖モ其最モ短ナル所ヲ棄テ、其少シク短ナル所ニ依リ生産ニ從事セハ兩國ノ利益決シテ僅少ニアラサルナリ

前項所論ノ實例

前項ニ論スル所ノモノハ甚タ親易キノ理ナリト雖モ未タ世人ノ普ク熟知セサル所ニシテ諸國ニ於テ往々單一物品ノ生産費ニ差違アルヲ見テ直ニ某業ハ興スヘシ某業ハ廢スヘシト論スルモノナキヲ得ス是レ事物ノ關係ヲ詳ニセサルヨリ出ツルモノニシテ實ニ憐ムヘキノ誤謬ト云フヘシ往日英人リカード氏ノ始メテ比較生産費ノ説ヲ出タセシトキ當時議員中有名ニシテ爾後屢宰相ノ

顯職ニ當リ名望雄辯學識ヲ以テ世ニ知ラル、英人某氏ノ如キモ尙ホ之ヲ以テ一箇ノ學者論ト爲セリ然ルニ道理ノ存スル所ハ早晚必ス其効驗ヲ示サ、ルナシ請フ之ヲ辯セン西曆千八百五十年濠洲ニ金坑ヲ發見スルヤ採金事業ノ利益甚タ高ク其盛時ニ於テハ礦夫一日ノ勞銀五圓ノ高キニ達セリ是ニ於テカ農夫ハ鋤鍬ヲ棄テ工ハ鋸鉋ヲ抛チ皆先チ爭フテ採金ノ事業ニ馳セ木材ノ如キハ遠ク之ヲ那威瑞典ヨリ輸入シ食品ノ如キモ遙ニ其供給ヲ歐米ニ仰ケリ夫レ濠洲ノ地タル多ク未開ニ屬シ樹木乏シキニアラス食品生セサルニアラス金坑ノ近隣伐採スヘキノ水アリ耕スヘキノ土壤アリ而シテ其土地ノ膏腴ナル固ヨリ歐洲地方ノ比ニアラス之ヲ米洲ニ比スルモ敢テ劣ルコトナシ然ルニ遠ク此等物品ノ供給ヲ外國ニ仰ク所以ノモノハ他ナシ採金ノ利多クシテ農工伐木等ノ事業ニ資本勞力ヲ用フルモ採金ノ業ト等シキ報酬ヲ得サレハ之ヲ爲ス者ナク若シ強ヒテ之ヲ爲セハ大ニ其生産品ノ價格ヲ増加スルニ由ラスシテ何ソヤ爾後金礦漸ク乏シキヲ告ケ採金事業ノ利他ノ事業ト比シテ大差ナキニ至リテ順次農工等ノ發達ヲ致セリ彼ノカリフオルニヤ金坑發見ノ後モ右ト同様ノ景況ヲ

示セリ論者或ハ云ハンカリフォルニア及澳洲金坑發見ノ如キハ是レ非常ノ事蹟ナレハ之ヲ以テ彼ノ生産ノ他國ヨリ容易ナルモノアリト雖モ又之ヲ他ノ物品ノ生産ニ比シテ劣ル所アレハ須ク棄テ、顧ミルヘカラストノ理由ヲ説クニ足ラスト蓋シ此金坑發見ヲ以テ非常ノ事トスルハ則チ可ナリ然レトモ前陳ノ理由ヲ説クニ何ソ事ノ非常ト通常トニ属スルヲ以テ差異ヲ生スルモノトスルコトヲ得ンヤ今日實際諸國ノ間貿易ノ行ハル、モノハ此原因ニ由ルモノ頗ル多シ讀者普通ノ適例ヲ求ント欲セハ紐育州ト西印度ノ島嶼ナルバーベドストノ貿易又北米合衆國ト英國トノ貿易等ヲ見ハ果シテ此事ノ虛ナラサルヲ知ルニ足ラン

紐育トバーベドストノ貿易ハ紐育ヨリハ重ニ麥〔バタ〕ノ類ヲバーベドスニ輸送シ該島ヨリ香料物ヲ得ルニアリ元來バーベドスノ地タル熱帶ノ島嶼ニ位シ四季常ニ青草ヲ絶タス氣候ノ温暖ナルト土地ノ豊饒ナルトニ由リ其麥ノ耕作ト牧畜ノ業ニ便利ナル復タ紐育ノ氣候寒冷水雪年ノ半ヲ理ムカ如キト同日ノ論ニアラス然レトモ尙ホ此貿易ノ此兩地方ニ行ハル、ハバーベドスノ香料生産

ノ紐育ニ勝レルコト其麥作牧畜ニ於テ勝レルヨリモ更ニ大ナルニ由ルナリ蓋シ紐育ニ於テ胡椒等ノ香料ヲ生産セント欲セハ之カ爲メニ煖室ヲ設ケ多量ノ薪炭ヲ費シ培養ニ注意セハ必スシモ之ヲ爲シ能ハサルニアラスト雖モ斯ノ如クンハ到底損益相償ハス麥作牧畜ノ如キハ寒冷ノ氣候ト雖モ固ヨリ香料生産ノ如ク不利ナラス故ニ紐育ニ於テハ不利ノ少キモノヲ取リバーベドスニ於テハ利ノ多キモノニ依リ以テ兩地ノ貿易ヲ維持スルモノナリ又北米合衆國ペシシルヴァニヤ州ノ鐵坑ノ如キハ其鐵脈ノ廣大ナルト石炭坑ニ近接スルトニ由リ其便利ナルコト萬國復タ其比ヲ見ス然レトモ合衆國西方ノ麥作南方ノ生綿耕作ハ非常ノ天利ヲ有シ(就中綿ノ如キハ合衆國ノ供給ヲ缺ケハ其價格殆ト五割ヲ増加スト云フ)其利之ヲ採鐵ノ業ニ比シテ更ニ大ナルヲ以テ英國産ノ鐵ニ巨大ノ保護稅ヲ課シ農利ヲ剝奪シテ採鐵製鐵ノ事業ヲ保護スト雖モ尙ホ綿麥ノ輸出盛ニシテ鐵類ノ輸入止マス其他萬國ノ貿易ニ於テ斯ノ如キノ例殆ト枚舉ニ違アラサルナリ由是觀之外國貿易ノ起因スル所以ノモノハ單ニ一國ト一國トノ間ニ或ル物品ノ有無又ハ其生産ノ難易ノ差違アルノミニ止マラス

前陳ノ理由ハ外國
貿易ニ存
セサル事

一國諸品ヲ生産スル難易ノ比例ト他國之ヲ生産スル難易ノ比例トノ比較ノ
差違アルニ由ルモノ多キニ居ルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ而シテ單ニ國際ニ或
ル物品ノ生産ニ難易ノ差違アルヲ見テ直チニ某業ハ興スヘシ某業ハ廢スヘシ
トスルハ深ク事物ノ關係ヲ知ラサルモノ、論ニシテ固ヨリ取ルニ足ラサルナ
リ

然レトモ一國內ニ於テ資本勞力ノ移轉容易ナル場合ニ於テハ前陳ノ理由其效
驗ヲ顯ハサス甲地方ニ於テ兩品共ニ其生産乙地ヨリ容易ナレハ資本勞力忽チ
乙地ヨリ甲地ニ移ラン例ヘハ前ニ例セシ甲國ヲ埼玉縣トシ乙國ヲ東京府トセ
ハ其生産ノ景況左ノ如シ

埼玉縣

- 一若干ノ資本ト一口一人ノ勞力トナ用ヒテ 石炭四噸
- 一同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 生絲四貫
- 東京府
- 一埼玉縣ト同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 石炭二噸

一同上

生絲一貫

石炭生絲生産ノ景況果シテ斯ノ如クナレハ東京府下ニ於テ石炭採掘ニ從事ス
ル者直ニ境ヲ接シ僅ニ數里ヲ隔ツル埼玉縣下ニ於テハ同額ノ資本勞力ヲ用ヒ
テ二倍ノ石炭ヲ採掘シ得ルノ利アルヲ見テ忽チ其資本勞力ヲ彼地ニ移シ東京
府下ノ石炭採掘ノ業ハ頓ニ廢滅ニ赴キ埼玉縣下ノモノハ益隆盛ヲ致シ東京府
ト埼玉縣トノ間ニ石炭ト生絲ト交換忽チ其跡ヲ絶ツニ至ラン國ノ内外ニ由リ
テ貿易興廢ノ景況シ異ニスル概ネ斯ノ如シ(同國中ニテ土地甚々遠隔シ資本勞
力ノ移轉困難ナレハ國際同様ノ有様ヲ生スヘシト雖モ一國中ハ先ツ資本勞力
ノ移轉容易ナルヲ以テ本文ノ如キヲ通例トス)若シ人民ニ愛國心ナルモノナク
一國ヲ舉ケテ他國ニ移住スルカ如キコトアラハ内外ノ差別頓ニ消滅スヘシト
雖モ斯ノ如キハ人世ニ望ムヘカラサルコトニシテ蓋シ萬世ヲ經ルトモ之ヲ見
ルコト難カルヘシ彼ノ英國人ハ霧中ニ住ミ和蘭人ハ海岸ニ長堤ヲ築キ海底ヨ
リ低キ地ニ住居シ露人ハ氷雪ノ中ニ住シテ他ノ一方ニハ南方亞細亞ノ群島南
米メキシコ濠洲地方等ノ如ク土地廣潤氣候温暖ノ地アリト雖モ未タ國ヲ舉ケ

國際ニ於テ兩品ノ生産難易ノ比例ニ差違ナケルハ貿易ノ事

テ之ニ移住セス尙ホ且ツ常ニ本國ノ強チ誇リ其美チ稱贊スルニアラスヤ嗚呼
 人民ノ其國ヲ愛スルコト凡ソ斯ノ如シ内外貿易ニ於テ其起因興廢ノ景況ヲ異
 ニスル又深ク怪ムニ足ラサルナリ

甲國ニ於テ兩品トモ乙國ヨリモ其生産容易ナルモ尙ホ貿易ノ行ハル、ハ前陳
 ノ如ク其貿易ノ比例相異ナルヲ要ス若シ比例異ナラス甲國ニ於テ兩品ノ生産
 同比例ヲ以テ乙國ヨリ容易ナレハ貿易ノ行ハル、蓋シ稀有ノ事ナルヘシ今甲
 乙二國ニ於テ石炭ト生絲ノ生産ニ次ノ如キ比例ヲ示スモノトシ之ヲ論セン

甲國

- 一 若干ノ資本ト二日一人ノ勞力トヲ用ヒテ 石炭四噸
- 一 同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 生絲二貫

乙國

- 一 甲國ト同額ノ資本勞力ヲ用ヒテ 石炭二噸
- 一 同上 生絲一貫

右ノ如キ場合ニ於テハ甲國ニ於ケル生絲ト石炭ノ交換比例ハ二ト四即チ一ト

二ニシテ乙國ニ於テモ一ト二ナルヲ以テ甲國カ石炭ノ生産ヲ止メ其資本勞力
 ナ生絲ノ生産ニ移シ生絲四貫ヲ生産シ其二貫ヲ乙國ニ送り石炭ト交換スルモ
 之カ爲メニ四噸以上ノ石炭ヲ得ルコト能ハス自國ニ於テモ生絲二貫ヲ有スレ
 ハ四噸ノ石炭ヲ得ヘキニ由リ何チ苦ミテカ遠ク之ヲ乙國ニ求メシヤ故ニ兩國
 ニ貿易ノ行ハル、ハ兩品生産利益ノ比例ニ差違アルヲ要ス今少許ニテモ此比
 例ヲ異ニシ例ハ甲國ニ於テ生産ノ景況生絲二貫百目ト石炭四噸ト交換スル
 カ如キ勢ヲ示セハ甲國ニ於テ石炭ノ生産ヲ止メ專ラ生絲ヲ生産シ乙國ニ於テ
 ハ生絲ノ生産ヲ止メ石炭生産ノミニ從事シ兩國互ニ此兩品ヲ交換セハ甲國ハ
 其生絲二貫百目ニ對シ四噸以上ノ石炭ヲ得乙國ハ其石炭四噸ニ對シ二貫以上
 ノ生絲ヲ得ヘク苟モ其差違輸出入ノ費用ヲ償フニ足ラハ忽チ兩國間ニ利益ア
 ル貿易ヲ生スルコトヲ得ヘシ元來本項ニ論スル所ノ如キ數品ノ生産利益比例
 ノ差違均一ナル場合ハ殆ト絶無ナルモノニシテ實地ハ多少其差違アルモノト
 ス而シテ萬國貿易ハ屢ニ陳述シタル紐育トバーベドス台衆國ト英國トノ貿易
 ノ如キモノ多シト知ルヘシ

癸ニ例セシカ如ク甲國ニ於テ其生産ノ景況石炭四噸生絲四貫ト匹敵シ乙國ニ
 於テハ石炭二噸ト生絲一貫ノ交換比例ヲ示スカ如キ場合ニ於テハ甲國ハ常ニ
 乙國ノ石炭八噸ヲ得ルニハ四貫ヨリ少シク多量ノ生絲ヲ與フルヲ以テ足レリ
 トスルニ似タリト雖モ實際ニ於テハ丙國丁國等ヨリノ競争アリテ甲國ハ其利
 ナ專ニスルコト能ハサルモノアリ例ヘハ丙國ニ於テハ甲國ト同額ノ資本勞力
 ナ用ヒ同時間ニ於テ生絲三貫半ヲ生産スルヲ得丁國ニ於テハ三貫ヲ生産スル
 ナ得ヘク而シテ兩國共ニ石炭ノ生産ニ於テハ甲國ト大差ナシトセン然ラハ則
 チ丙國ハ乙國ノ石炭八噸ニ對シテ七貫ノ生絲ヲ與フルモ(運賃保險料等ノ事ハ
 前ニ陳ヘシカ如ク姑ク茲ニ之ヲ論セス以下之ニ倣フ)強ヒテ損失ナク丁國ハ又
 之ニ對シ六貫ノ生絲ヲ與フルコトヲ得ヘシ然レトモ斯ノ如クシテハ乙國ニノ
 ミ利益アリテ丙丁兩國ニ利ナキヲ以テ乙國ノ石炭八噸ニ向ヒテ丙國ハ生絲六
 貫丁國ハ五貫ヲ與ヘテ互ニ利益ヲ分ツヲ得ヘシ果シテ然ラハ甲國ハ獨リ四貫
 以上五貫以下ノ生絲ヲ乙國ニ與ヘテ其石炭八噸ヲ得ルコト能ハスシテ必ス六
 貫以上ヲ與ヘテ丙丁等ノ競争ヲ被ラサルヲ得サルナリ斯ノ如ク甲若シ六貫以

二

三

上ヲ與ヘハ丁ハ最早之ト競争スルコト能ハスト雖モ丙ハ尙ホ六貫以上ヲ與ヘ
 テ競争ヲ試ミン果シテ然ラハ甲ハ七貫若クハ七貫以上ヲ與ヘサルヲ得ス凡此
 ノ如ク實地ニ於テハ必ス競争ナキヲ保セサルヲ以テ(我國ト清國ト絹及茶ニ於
 テ競争アルカ如シ)甲國ハ唯自國ト乙國トノ生産ノ景況ヲ比較シテ直ニ其交換
 比例ヲ斷定スルコト能ハス必ス丁寧反覆他ノ競争國ノ生産力ト自國ノ生産力
 トヲ比較セサルヲ得サルナリ若シ夫レ之ヲ計ラスシテ單ニ乙國トノ比例ノミ
 ニ是レ依リ以テ他ヲ顧ミサルトキハ他ノ競争國ニ於テ少シク生産ノ進歩スル
 アレハ忽チ失敗ヲ來タシ之ヲ挽回スルコト實ニ容易ノ業ニアラサルハ本項
 例スル所ノ丙國ノ競争ハ甲國ニ對シテ決シテ侮ルヘキニアラサルナリ又丙國
 モ其力ヲ量ラス甲國ノ實力ヲ詳ニセスシテ漫ニ競争ヲ試ミルヘカラス實地ノ
 景況若シ本項例スル所ノモノ、如クナレハ其競争ニ敗テ取ルヤ必セリ豈ニ愼
 マサルヘケンヤ
 茲ニ又注意ヲ要スヘキモノ一アリ何ンヤ即チ交換ノ比例ヲ高クシテ代用品ノ
 生産ヲ奨励セサルコト是レナリ例ヘハ甲國ハ已ニ丙國丁國等ノ競争ニ對シ全

勝ヲ占メ殆ト彼等ヲ再ビ立ツコト能ハサラシムルニ至リ獨リ乙國ノ市場ニ於テ利ヲ專ニスルノ地位ヲ得シト假定スト雖モ人間衣服裝飾ニ要スル所ノ布類豈ニ唯絹布ノミニ止マランヤ木綿麻布毛織物類皆其材トナルニ足レリ故ニ甲國ニ於テ生絲ニ向ヒテ獨リ利益ヲ壟斷セント欲シ乙國ニ利益ヲ與フルコト少ケレハ乙國ニ於テハ絹布ノ高價ナルカ爲メ木綿麻布毛織物等ニ益力ヲ加ヘテ絹ニ代用シ以テ人ニ生絲ノ需要ヲ減スヘシ果シテ然ラハ永久ニ甲國ノ利益ヲ害フヘシ故ニ甲國モ永ク其利益ヲ保タント欲セハ乙國ニモ相當ノ利益ヲ分チ彼ヲシテ永久ニ生絲ノ使用ヲ爲サシメ逐年其需要ヲ増加セシメサルヲ得ス夫レ貿易ハ相互ノ利益ニ出テサルヲ得ス而シテ賣買者ハ其利益ヲ異ニセス必ス之ヲ一ニス何トナレハ賣者ニ不利ナレハ供給減シ以テ價格騰貴スヘク買者ニ益ナケレハ以テ需要ヲ減シ價格下落スヘケレハナリ實際ニ就キ身ヲ貿易ニ委スル者少シク茲ニ注意スルコトアラハ又以テ過ナキニ庶幾カラシカ

貿易ノ事ヲ論ズレハ勢自由貿易及保護方策ノ得失ヲ論究セサルヲ得ス蓋シ自由貿易トハ貿易上ノ抑制ヲ解キ全ク之ヲ各人ノ便宜ニ委テ自由ニ外國ト貿易

自由貿易及保護方策

ナ營マシムルモノヲ云ヒ保護方策トハ外國品ニ重稅ヲ課シ内國ノ營業者ヲハ外國ノ競争ヲ免レシメ以テ自國ノ營業ヲ養成セントスルモノヲ云フ兩黨ノ説久シク結ヒテ解ケス方今尙ホ諸國ニ於テ駁論反擊恰モ其止マル所ヲ知ラサルカ如シ之カ爲メニ讀者ヲシテ殆ト厭倦ニ堪ハサラシムルモノアリ抑經濟學ノ目的ハ最少ノ勞費ヲ以テ最大ノ結果ヲ得ルニ在リ而シテ實地ノ景況ニ至リテハ千差萬別何ソ一定不變ノ方便ヲ以テ其目的ヲ全クスルヲ得ンヤ總論ニ於テ已ニ略陳セシカ如ク此兩派ノ如キハ方策ヲ以テ目的トシ偏執以テ時勢ニ應スルノ道ヲ知ラサルモノナリ要スルニ自由貿易黨ハ干涉束縛ノ弊害ヲ見テ自主放任ノ利アルヲ察シ却テ自ラ部局ト全局部局ト部局及方今ト未來トノ關係ヲ忘レ一部局ノ便宜ト目下ノ利益トヲ過慮スルノ弊ニ陥リタルモノナリ又保護方策黨ハ人爲ノ獎勵干涉時ニ或ハ有益ノ效力アルヲ見テ其之アルハ蓋シ自然ノ勢ノ當初ヨリ其間ニ存スルアリテ人爲ノ以テ之ヲ促スニ由ルモノナルヲ悟ラス其自然ニ應スルカ將タ之ニ反スルカヲ鑒別セス專ラ事ヲ人爲ニ求メ現在ヲ苦メテ將來ヲ過慮シ却テ爲メニ未來ノ進歩ヲ妨ケ一斑ノ發達ヲ跛舞シテ

全豹ノ健康ヲ害フヲ悟ラサルモノナリ兩黨ノ説ヲ爲ス其誤レル此ノ如シ何ソ
 確執互ニ相争ヒ全局ノ發達ヲ妨ケ天與ノ利益ヲ辭スルヲ要センヤ吾人ノ得ン
 ト欲スル所ノモノハ經濟ノ目的ナリ目的一度定マラハ之ヲ得ルノ方便ノ如キ
 ハ實地ノ景況ニ依リ自在ノ變通ヲ試ミサルヲ得ス何ソ一定不變ノ主義ヲ以テ
 之ヲ萬世ニ傳フルコトヲ得ン時ニ或ハ一部局ノ後ル、モノヲ助ケテ全局ノ面
 目ヲ全クセサルヲ得サルコトアリ又兵事政略等ノ爲メ少シク經濟上ノ利益ヲ
 損スルノ已ムヲ得サルモノナキヲ保セス一國ノ大勢ヲ察セス單ニ一營業ノ利
 益如何ヲ見テ以テ自由貿易ニ拘泥スルハ是レ自ラ一箇ノ黨派論タルニ過キス
 又天然ノ利益ヲ固辭シ自然ノ勢ヲ察セス常ニ保護方策ヲ唱フルカ如キハ固ヨ
 リ不可ナリ經濟民ノ術實ニ難シ豈ニ一定不變ノ主義ヲ以テ之ヲ萬世ニ推ス
 コトヲ得ンヤ

保護ヲシ
 テ其目的
 ナ全カラ
 シメント
 欲セハ全
 ク天然ノ

元來保護方策ノ目的ハ内國ニ於テ數種ノ營業ヲ起シ成ルヘキ丈ケ外國品ノ供
 給ヲ仰カサルニ在レハ(保護論者ノ認メテ緊要ナリトスル所ノ論點ハ駒井重格
 氏所譯フオセーソット氏ノ自由及保護貿易論第四編ニアリ就キテ見ルヘシ)其目

利ヲ放棄
 セサルヘ
 カラス

ナ極端ニ推シ十分ニ之ヲ達スルヲ得セシメハ遂ニ外國貿易ヲ全廢セサルヲ得
 サルニ至ルヘシ幸ニシテ保護論者中ニモ此ノ如キ極端ニ趨ルモノ甚タ少シト
 雖モ彼等ヲシテ其目的ヲ全フセシメント欲セハ事終ニ其極ニ陥ラサルヲ得サ
 ルヘシ果シテ然ラハ東西南北互ニ其物産ヲ交換シ其藝術ノ長短ヲ補フコト能
 ハス前數項ニ於テ論セシ所ノ外國貿易ノ利益ヲ收ムルコト能ハサルヘシ若シ
 保護論者ヲシテ十分ニ其目的ヲ達スルコトヲ得セシメ而シテ其期スル所ノ利
 ナ収メント欲スレハ四海ヲ通シテ其物産ヲ均一ナラシメ人口ト物産ト同様ノ
 比例ヲ保チ萬國人民ノ需要ノ性質及其智力勉強力學術等ヲシテ毫モ違フ所ナ
 カラシメサルヲ得ス然ルニ此ノ如キハ世界ノ實況ニ於テ決シテ見サル所ナリ
 其南北ニ於テ人民ノ需要ヲ異ニシ東西藝術ヲ等クセス地球上至ル所著シク物
 産ヲ異ニシテ人口ノ粗密等ニ差等アルハ又多辯ヲ要セサルナリ元來物産若ク
 ハ藝術ニ些少ノ差違アレハ交換貿易ノ利益アル固ヨリ論ヲ俟タス今宇内各國
 ニ於テ此差異アルコト已ニ著ルシ何ソ外國ニ於テ有無相通シ長短相補フノ利ヲ
 棄テ、以テ保護論者ヲシテ其目的ヲ達セシムルコトヲ要センヤ凡ソ保護方策

保護ハ之
者ニ特利
ナ受クル
被保護品
ノ粗生品
ル土生品
地土生品
益主ナ利

ハ貿易事業ヲシテ複雑ナラシメ隨テ費用ヲ要シ外國品ニ重税ヲ課スルヲ以テ
被保護品ノ價格ヲ騰貴シ頗ル消費者ニ便ナラス唯二三ノ被保護品生産者ヲシ
テ保護ナケレハ生産シ能ハサル物品ノ生産ニ從事スルヲ得セムルノ事實ア
ルノミ而シテ此等ノ被保護品生産者ト雖モ通常ノ營業所得外ノ特利ヲ得ルコ
ト能ハサルナリ請フ次項ニ於テ之ヲ論セン

保護ヲ要スル物品ハ其生産ニ天然ノ利益ヲ有セサルカ又ハ他國ニ對シ之ヲ有
スト雖モ國中ノヨリ大ナル天然ノ利益ヲ有スルモノアルカニ由ルナリ嘗テ北
米合衆國桑港近傍ノ地ニ於テ製茶ヲ試ミント欲シ茶樹ヲ培養シ漸クニシテ茶
ヲ製シ通常ノ番茶一斤ヲ三弗ノ高價ニテ賣買シ其發達ヲ獎勵セシト雖モ數年
ニシテ其業全ク廢滅セリ然ルニ世上不幸ニシテ之ニ類スル狂者ノ事業頗ル多
ク殆ト枚擧ニ遑アラヌ彼ノ合衆國製鐵事業ノ如キハ即チ好マシカラサルモノ
、一ニシテ實ニ合衆國人民ニ非常ノ損失ヲ與ヘシモノナリ我カ明治三年即チ
西曆千七百七十年頃ノ景況ヲ以テ之ヲ見レハ當時合衆國ニ於テ地鐵製造ノ爲
メニ使用セシ資本額ハ五千六百十萬弗之ニ從事セシ勞力者二萬七千五百五十

七人其勞銀千二百四十萬弗地鐵輸入税一噸ニ付九弗製造スル所ノ地鐵二百萬
噸ナリ故ニ今此資本勞力ヲ麥若クハ木綿ノ生産ニ使用シ之ヲ以テ輸入税ヲ課
セスシテ地鐵ヲ輸入シタリシナラハ二百萬噸ノ地鐵ヲ千八百萬弗丈ケ廉價ニ
テ購買スルコトヲ得タルナルヘシ又全ク製鐵ヲ止メ輸入税ヲ廢シテ地鐵ヲ輸
入セハ合衆國人民ヨリ右ノ勞力者ニ勞働セシメステ千二百四十萬弗ヲ與ヘ
製鐵業者ニ當時相應ノ營業所得ノ歩合ヲ七分ト見テ總資本額ニ對シ三百九十
二萬七千弗ヲ與フルモ尙ホ地鐵ノ廉ナルカ爲メニ百六十七萬三千弗ヲ利得ス
ヘキ割合ナリ合衆國製鐵事業保護ノ計算上ニ損失ヲ醸セシコトハ概テ右ノ如
シ而シテ鐵ノ如キハ器械器具其他造船建築等ノ材料ニ用フルコト殊ニ多ケレ
ハ之ヲシテ高價ナラシムルハ決シテ百般營業ノ發達ヲ獎勵スルノ道ニアラサ
ルナリ翻リテ合衆國西方ノ麥作南方ノ木綿ヲ見レハ其天然ノ利ヲ有スルニ由
リ鐵具其他ノ製造品カ非常ノ保護税(平均凡四割四分)ノ爲メニ高價ナルヲ以テ
大ニ其利益ヲ剝奪セラル、ニ拘ハラヌ其發達伸暢ノ勢奮然トシテ當ルヘカラ
サルモノアリ保護ヲ要スルモノ、生産ニ不便アル凡斯ノ如シ故ニ之ヲ養成セ

ント欲セハ其政略兵事等ノ理由ニ由ラサルヘカラス永遠利益ノ有無ハ固ヨリ一定ノ理ヲ以テ之ヲ推スコト能ハサルヲ以テ暫ク措キテ論セス保護ノ目下計算上ノ不利ヲ醸スハ敢テ疑ヲ容ル、ヲ要セサルナリ畢竟保護ヲ要スルノ事業ハ天然ノ利ヲ有セサルモノナリ故ニ此不利ヲ補ハント欲セハ勢非常ノ保護ヲ之ニ與ヘサルヲ得ス然リト雖モ苟モ其事業ヲシテ特占ナラシメサル以上ハ永ク之ヲシテ他營業ニ超過スルノ特利ヲ維持セシムルコト能ハサルナリ若シ夫レ之ニ特利ヲ與ヘンカ忽チ資本勞力ノ之ニ嚮フモノ多ク遂ニ供給ヲ増加シ其所得ノ歩合ヲシテ尋常一般ノ歩合マテニ低落セシムヘシ而シテ被保護品ノ粗生品ヲ産スルノ地ハ其需要ニ由リ無限ニ之ヲ増加スルコト能ハス被保護品ノ特利ニ由リ其需要ヲ増加スルニ從ヒ粗生品産地ノ貸付料ハ必ス増加セサルヲ得サルナリ果シテ然ラハ保護方策ハ其保護セント欲スル所ノ者ニ利益ヲ與フルコト能ハスシテ却テ地主ノ或者ニ利益ヲ與フルモノト云フヘシ例ヘハ綿布ノ製造ヲ獎勵セント欲シ外國ノ綿布ニ重稅ヲ課シテ之レヲ保護セハ綿布ノ價格大低稅額丈ケハ騰貴スヘシ而シテ若シ此騰貴ヲシテ國中普通ノ營業所得ヲ

二

三

超過スルノ利益アラシメハ資本勞力ノ之ニ向フモノヲ増加シ其利益ヲシテ普通ノ營業ト同一ナラシムルマテハ綿布ノ供給ヲ増加スヘシ然ラハ即チ綿布製造ハ他ノ保護ヲ受ケサル營業ニ比シテ特ニ利益アルコトナク之ニ使用スル資本勞力ハ之ヲ他業ニ用フルモ同様ノ利益ヲ得ヘシ之ヲ要スルニ只當初競争ノ起ラサル間ニ保護ヲ受ケタル二三ノ營業者ニ一時特利ヲ與フルニ過キサルナリ然ルニ綿布ノ粗生品タル生綿ヲ産スルノ地ヲ所有スル者ハ土地ノ供給ハ固ヨリ限アルモノナレハ綿布製造ノ増加ニ由リ其粗生品ノ需要ヲ増加シ大ニ其他ノ小作料ヲ増加スルヲ得ヘシ其他製鐵ノ事業ヲ保護セハ鐵山所有主ノ爲メ借區料ヲ増加スヘシ葡萄酒製造ヲ保護セハ葡萄酒園ノ借付料ヲ増加スヘシ故ニ保護ハ結局被保護者ニ特利ヲ與フルヲ得スシテ其利益ハ尋常一般ノ營業ニ異ナルコト能ハス被保護者ノ爲メニハ之ヲ受クルト受ケサルトニ由リテ毫モ其利益ニ差違アルコトナク時トシテハ保護ヲ賴ミ供給ヲ剩多ナラシメ外國ヘ投ケ賣ヲ爲サ、ルヲ得サルコトアリ合衆國製銅事業ノ如キ即チ是ナリ徒ラニ消費者ヲ苦メ既ニ富裕ヲ極ムル所ノ地主ニ特利ヲ與ヘ富ノ配當ヲシテ益其宜シ

保護ハ其
主張者ノ
論スルカ
如ク國中
營業ノ數
ヲ增加セ
ス資本勞
力使用ノ
方向ヲ決
ス

キヲ失ハシムルノ實ナキヲ得ス而シテ保護ヲ受クル所ノ物品カ生綿鐵類ノ如ク廣ク製造ノ粗生品トシテ用ヒラル、モノナレハ大ニ生産ノ費用ヲ増加シ頗ル工業ノ發達ヲ妨クルノ患ナシトセス由是觀之保護方策ハ被保護者ニ利益ヲ與ヘスシテ既ニ富裕ヲ極メ敢テ之ヲ利スルヲ要セサル所ノ地主ニ特利ヲ與フルヤ敢テ亦疑ナカルヘシ本項論スル所ハ前記ノ自由及保護貿易論ニ詳ナリ就キテ見ルヘシ

保護ハ内國ニ於テ新ニ數種ノ業ヲ起スノ利アリト論スルモノアリト雖モ必スシモ保護ヲ以テ新業ヲ起スコトヲ得ルモノト爲スヘカラス唯若シ保護ナケレハ起スコトヲ得サル或ル事業ヲ劣等ノ場合ニ於テ起スコトヲ得ルノミ即チ英國ハ麥ノ生産ニ於テ北米合衆國ニ及ハサルハ皆人ノ知ル所ナリ然リト雖モ其或ル地方即チヨークシャー州ノ如キハ麥作ニ適スルコト合衆國西方優等ノ地ニ劣ラス故ニ英國ハ方今全ク保護ヲ解放セシト雖モ此等ノ地ニハ尙ホ麥ヲ耕作シテ十分ノ利益アリ只保護ノ廢止ニ由リ西曆千八百四十七年以前ハ彼ノ穀令(外國ノ麥ニ輸入税ヲ課シ内國産ノ麥ヲ保護セシ法)ノ保護ニ依リ僅ニ耕シ得タ

ル劣等ノ地ニ麥ヲ耕作スルヲ止メシノミ又合衆國ハ西曆千八百四十六年ヨリ同千八百六十年マテノ輸入税ハ其以後ノモノ(平均四割以上)ヨリ輕ク(西曆千八百五十七年ノ法ニ據レハ平均二割二厘二毛)地鐵ノ如キモ其輸入税輕カリシト雖モ右輕税ノ時期ニ於テヒツポルグノ優等鐵坑ニ於テ鐵ノ生産ヲ廢止セシコトナシ又我國ニ於テモ生綿砂糖麥ノ生産ハ遙ニ合衆國及印度諸島ニ及ハス開港以來會テ保護税ヲ課シタルコトナシト雖モ此等ノ物品尙ホ其優等地ニ産スルハ皆人ノ知ル所ナリ凡資本勞力ヲ生産ニ用フルノ順序ハ之ヲシテ第一著ニ最モ自然ニ利益アル所ノ事業ニ向ハシメ而シテ其資本勞力ノ大ニ集マリ其利益終ニ薄少ナルニ及ヒテ利益上第二等第三等ニ位スル事業ニ從事スルモノナリ然ルニ今若シ生産ノ難易ヲ辨セス強ヒテ不便ナル物品ノ生産ヲ保護スルカ如キハ是レ自然ノ順序ヲ失ヘルモノニシテ第一等ノ財源未タ盡キス利益上優等ノ事業未タ十分ノ發達ヲ得サルニ已ニ人爲ヲ以テ第二等第三等ニ位スル營業ニ資本勞力ヲ向ケ大ニ一國ノ損失ヲ釀スニ至ルヘシ即チ合衆國ニアリテハ生綿及麥作ノ天然ノ利未タ盡キス其利益遙ニ他業ノ上ニ在ルニ方リテ已ニ工